

団体聞き取り調査結果

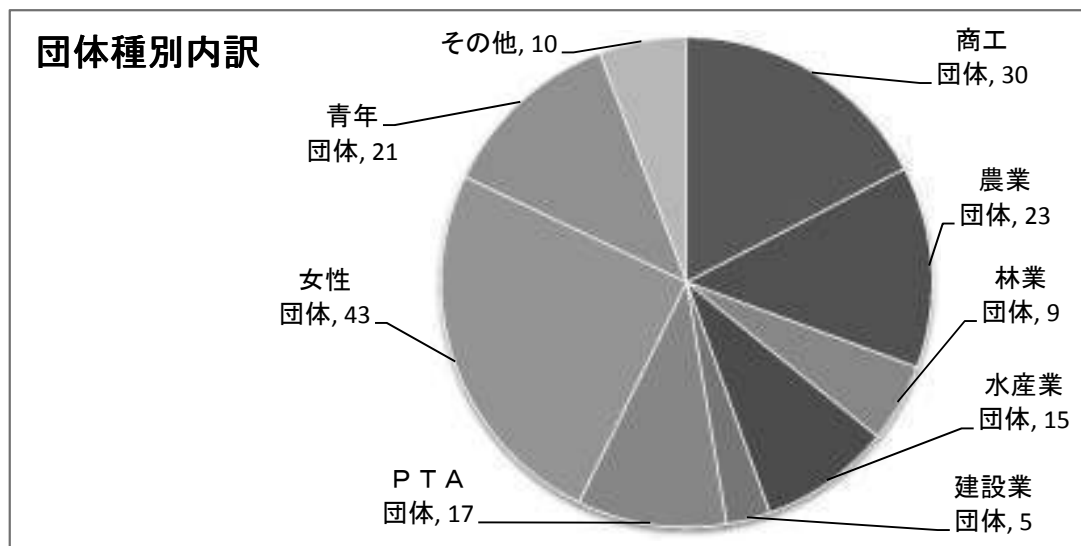
調査対象：商工会議所(商工会)、農協等、市町において意見を聴取する必要があると判断した団体(1市町5団体以上)
計173団体

団体種別内訳

	商工 団体	農業 団体	林業 団体	水産業 団体	建設業 団体	PTA 団体	女性 団体	青年 団体	その他	合計
松山市	3	2	0	0	0	1	0	0	2	8
今治市	3	1	0	0	0	1	1	1	0	7
宇和島市	3	1	0	1	1	1	4	3	0	14
八幡浜市	2	1	0	1	0	1	4	3	2	14
新居浜市	1	1	1	0	0	1	0	0	1	5
西条市	2	2	0	0	0	1	2	1	0	8
大洲市	3	1	1	2	0	1	3	0	0	11
伊予市	2	2	1	3	1	1	5	1	0	16
四国中央市	2	1	0	0	0	1	4	3	0	11
西予市	1	1	1	1	1	0	4	3	0	12
東温市	1	2	0	0	0	1	2	1	3	10
上島町	1	1	0	3	0	1	1	0	1	8
久万高原町	1	1	1	0	1	1	1	1	1	8
砥部町	1	1	1	0	0	1	2	1	0	7
内子町	1	2	1	0	0	1	5	1	0	11
伊方町	1	1	0	2	0	1	1	1	0	7
鬼北町	1	1	1	0	0	1	3	1	0	8
愛南町	1	1	1	2	1	1	1	0	0	8
合計	30	23	9	15	5	17	43	21	10	173

※「女性団体」は、各種団体女性部、婦人会等、「青年団体」は、各種団体青年部、青年会議所等としている。

※「その他」は、老人クラブ連合会、社会福祉協議会、離島振興協会、活性化協議会、連合自治会、公民館連絡協議会、文化協会、体育協会としている。



[結果概要]

	合併の効果	合併の課題
団体への影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他地域の人との交流・視野の広がり ○ 組織運営が効率化・大規模化・人員増による団体活動の維持 ○ 発言力向上・発言機会の増加 ○ 課題の共有・他地域の良い取組を手本にできる ○ 大規模なイベントの開催 ○ 自治体より先に団体が合併している場合、自治体への手続き先が一本化され事務が簡素化 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 〔市町村合併に伴った団体合併をしていない場合、活動範囲が変わらず合併の効果が実感されづらい〕 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区域が広くなり団体活動が困難に ○ 会員数の減少や不参加地域の存在 ○ 自治体と管轄区域が異なることによる弊害（手続き面・自治体との連携面）
地域への影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通網等のインフラ整備が進展 ○ 観光資源、食べ物、工業品等PR材料の増加・地域の知名度、魅力向上 ○ 周辺部でのサービス充実・活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通や医療体制の維持が困難 ○ 旧自治体単位の伝統や個性の喪失 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新自治体としてのまとまりの欠如 ○ 周辺部の衰退激化（人口減・消費減） <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> </div>
行政への影響	<ul style="list-style-type: none"> ○ 行政の効率化 ○ 職員の資質の向上 ○ 広域で統一化された効果的な施策・旧自治体の良い施策の波及 ○ 財政上諦めていた大規模な事業等の実行 ○ 補助金や行政サービスの拡充 ○ 発言力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支所機能の低下等 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・職員数の減少 ・（心理的・物理的）距離が遠くなり相談しづらい ・地域の意見が伝わりづらい ・権限がなく決定スピードが落ちた ・地域への理解が乏しい職員増 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 旧自治体の地域に合わせた施策が画一化された ○ 主力産業・作物や地域性に違いがあり、良い支援に結びつかない ○ 補助金の減額等



市町への要望
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援・雇用創出等の若者が定住するための支援策の充実・人口対策 ○ 地域ごとの特性に合わせた支援策や行政サービスの実施 ○ 交通網の整備、維持・交通料金の低減（特に同一自治体内をつなぐ交通インフラについて）

〔主な意見〕

1 団体への影響

(1) 合併の効果

○ 他地域の人との交流・視野の広がり

- ・市町村合併に伴って旧自治体単位であった商工会が合併し、いい意味での競争心が生まれ、それまで交流のなかった地域と交流が深まった。
- ・地域の片隅で、地域に根差して小規模でという視点だけでなく、新規事業を起こして収益を上げていくというような積極的な経営をする会員も出てきた。(商工団体)
- ・子供の交流も増え、競争心が芽生え、学業の向上にもつながっている。教職員の異動範囲も広がり、交流が広がった。(PTA団体)

○ 組織運営が効率化・大規模化・人員増による団体活動の維持

- ・会員数が増加したことで事業規模が拡大した。団体で取り扱う対象品目が増えたことで、販路拡大にもつながっている。(商工団体)
- ・旧市町村単位では、会員数が少なく、存続できていないと思う。
- ・市町村合併に先だって広域化を行ったものの、各地域の個性が強く、組織として求心力が弱い状況にあったが、市町村合併によって各地域の意識が変わり、求心力が高まった。(農業団体)
- ・市町村合併に併せて森林組合も合併したことにより、活動エリアが拡大し、作業の効率化(森林の団地化)が図られるようになった。(林業団体)
- ・事務所が中心市側に集約されたことにより組織運営の合理化も図られたのではないかと感じる。比較的近距離なので、地理的障壁もそれほど感じていない。(青年団体)

○ 発言力の向上、発言機会の増加

- ・合併して業務区域と行政区域がほぼ同じになり、要望がしやすくなった。合併後、県、基礎自治体、JAが同じ事務所に集まり、農政課題に対する総合的な支援体制づくりが強化された。
- ・団体合併後、市政懇談会に団体として参加できるようになるなど規模拡大により発信力が増した。
- ・支所建物内に団体事務所が入れたことで、様々な情報をお互い共有できるようになり、ワンストップでのサービスも可能となった。

○ 課題の共有・他地域の良い取組を手本にできる

- ・合併前の市町村が、それぞれ同じような課題を抱えていたため、悩みや課題を話しやすく、交流も進んだような気がする。(農業団体・女性団体)
- ・地域の美化運動等、旧自治体婦人会が中心となって取組んでいたものが、合併により、他の旧自治体地域にも広がる等、それぞれのいい部分を取り入れて新しいものができたり、メンバー同士のつながりが今まで以上に深くなったような気がする。

○ 大規模なイベントの開催

- ・行政と協力し、旧市町村時代はなかったイベントが実施できるようになった。(農業団体)
- ・PTAのチーム編成ができなかったところが、小中学校の統廃合により球技大会等に参加できるようになった。
- ・合併の結果、会員間の交流の場が広がり、各種イベント(産業まつり等)が合同で実施することができるようになる等、むしろ活動しやすくなったのではないかと感じる。(青年団体)

○ 自治体より先に団体が合併している場合、自治体への手続き先が一本化され事務が簡素化

- ・市町村合併より前により広域での団体合併をしており、合併前は、複数自治体に補助金申請をしていたが、合併してその申請先が1か所で済むようになった。(農業団体・林業団体)

(2) 合併の課題

○ 区域が広くなり団体活動が困難になった

- ・ 職員を減らされたことと、地域が広がったことで、会員に対する指導が行き届かなくなった。(商工団体)
- ・ 活動のエリアが広がったことに伴って、参加することによる負担(距離、回数)が大きくなった。
- ・ 高齢化や周辺部の公共交通の廃止により会合等への参加が困難になった。

○ 会員数の減少や不参加地域の存在

- ・ 市町村合併に併せて婦人会活動を中止や休止した地域があり、会員数の減少が大きな課題となっている。(女性団体)
- ・ 市連になって、会議の場所も遠くなり参加しづらくなったことから全地区の婦人会の参加となっていない。もともと一緒に活動していた地区の婦人会でも市連に参加するところとしないところでバラバラになってしまっている。また市連としても本来のプラス効果を発揮できていない。中心部の婦人会が一つも市連に参加していないのも問題。(女性団体)

○ 自治体と管轄区域が異なることによる弊害(手続き面・自治体との連携面)

- ・ 行政区域と農協支所等の営業区域が一致しておらず、事業補助手続等対応に困ることがある。
- ・ 行政地区と農協地区の違いがあるのは不便である。同じ自治体の住民でありながら、場所によっては農協の違いで出荷できなかったりする。
- ・ 水産業は、もともと隣の旧自治体との繋がりが強かったが、別の地域と合併し、行政地区が変わったことで、これまで通りの取引が難しくなった。

2 地域への影響

(1) 合併の効果

○ 交通網等のインフラ整備が進展

- ・ 避難路・通学路等の旧自治体ではできなかった整備ができるようになった。(女性団体)
- ・ 道路整備や地域バスの整備等が進んだ。
- ・ 無料診察バスや、有料デマンドバスの運行により、高齢者の足の確保ができています。
- ・ CATVの整備のより情報格差がなくなった。(林業団体・水産業団体)
- ・ 小中学校の統廃合が行われたが、送迎スクールバスが導入されたことにより、事故や不審者が出たという話を聞かなくなった。(PTA団体)

○ 観光資源、食べ物、工業品等PR材料の増加・地域の知名度、魅力向上

- ・ 観光資源を持つ地域と合併したことで、ブランド力が向上し、企業もメリットを感じている。商工団体としても、扱う対象品目が拡大したことで、販路拡大にもつながっている。一つの自治体となったことで、日本一の産業を持つまちとして箔が付き、その他、特産品やゆるキャラ、名物などの相乗効果で交流人口の拡大が図られており、合併の効果と捉えている。
- ・ 自治体として大規模になり、イメージが良くなった。(田舎のイメージがなくなった)(商工団体)
- ・ 共通の名物などを使って一体的な地域おこしの取組みができる。(青年団体)
- ・ 例えば歴史上の人物など、アピールできる材料が増えた。(その他団体)

○ 周辺部でのサービス向上・活性化

- ・ 中心部で活動していた保育サービスをするNPOが周辺部にも来てくれるようになった。(PTA団体)

(2) 合併の課題

○ 公共交通や医療体制の維持が困難

- ・ 医療や福祉が削られ、合併により周辺部からの人口流出は拍車がかかったと感じている。
- ・ フェリーがどんどん減便されている。総合的な医療機関や介護施設もなく、不便な生活が続いている。(水産業団体)
- ・ 旧自治体の頃はあった定期バスがなくなり、デマンドバスとなったが、使いにくく、不便となった。
- ・ 周辺部において過疎化が深刻になっており、生活の足がないため、車がないと買い物にも行けない人が増えている。バスは日に1本だけの状態となっている。(女性団体)

○ 旧自治体単位の伝統や個性の喪失

- ・ 夏祭りが1ヶ所に集約される等、地域の伝統行事がなくなりつつある。
- ・ 地域のイベントが縮小される等、市町村合併により、もともとその地域にあった個性が薄れる。
- ・ 合併前まであった祭り等の補助金がなくなり、地域の活気がなくなった。

○ 新自治体としてのまとまりの欠如

- ・ 祭りなどのイベントの一元化を進めているが、それぞれの歴史、伝統、地域の慣習が残っており、難しい問題となっている。
- ・ 地元の旧市町村を中心として考えている人がいる。将来や子どもたちのことを考え、協調、協力するために意識改革してほしい。
- ・ 新自治体としての一体感がなく、未だに旧市町村時代の感覚が残っており、中心部・周辺部で足並みが揃わない場面が多い。

○ 周辺部の衰退激化

- ・ 合併により人、モノが中心部に集まり、中心部から離れている周辺部は何もしないと益々寂れていく。そのためにも危機感を持って声を上げ、積極的にアピールしないといけないと思っている。
- ・ 介護保険料は同じなのに、民間施設の充実度により周辺部では受けられないサービスがあり、地域格差がある。
- ・ 中心部への交通アクセスが良くなったことから、中心部やさらに遠くのショッピングモールへ買い物に行く人が増えた。周辺地区で増えているのはコンビニだけ
- ・ 合併により、旧市町村の役場が支所になり、職員が中心部に集まったことで、周辺部の消費者が減り、飲食店等の廃業や移転が進んだ。
- ・ 学校、病院等の利用の便を考え、中心部に転居する者が多く、周辺部が衰退している。

3 行政への影響

(1) 合併の効果

○ 行政の効率化

- ・ 行政がスリム化し、財政面でも回復が見られた。
- ・ 人件費や無駄遣いが減った分が、住民サービスに利用されていると思われる。

○ 職員の資質の向上

- ・ 水産課職員の資質が向上し、職員が汗をかいて積極的に取り組んでいる。

○ 広域で統一化された効果的な施策・旧自治体の良い施策の波及

- ・ 合併前は、地域によって施策のばらつきがあったが、行政が合併することで、現在は効果的にタイアップできている。
- ・ 農業振興に対する考え方が統一でき、事業がやりやすくなった。
- ・ 行政の規模が大きくなったことにより、施設(特に教育施設)が充実したように感じる。
- ・ 一部の旧市町村にしかなかった補助事業が他の旧市町村でもできるようになった。

○ 財政上諦めていた大規模な事業等の実行

- ・ 旧市町村では予算の制約でできなかった工事ができるようになった。

○ 補助金や行政サービスの拡充

- ・ 旧自治体ではもらえなかった補助金がもらえるようになった。
- ・ 学校行事・教育目的で使える施設や自然等の資源が増えた。(PTA団体)
- ・ 旧自治体ではなかった子育て支援等のサービスが受けられるようになった。(女性団体・青年団体)

○ 発言力の向上

- ・ より大きな自治体として意見表明できるようになった。

(2) 合併の課題

○ 支所機能の低下等

- ・ 合併前は役場に直接言えていたことが、支所となることで、本庁に相談等をしなければならなくなった。
- ・ 支所に機能(権限)が少なく、本庁からの指示がないと動けず、また、周辺部に職員が住んでいないため、緊急時に迅速な対応ができない。
- ・ 以前はいろいろな物事の話が旧自治体内で終わっていたが、今は本庁まで行かないと話がつかない。レスポンスが悪すぎる。
- ・ 合併前に比べて漁港(市管理部分)の修繕等が迅速に対応してもらえなくなった。合併前は職員も親身になって相談に乗ってくれていたが、今は行政の立場、マニュアル通りの発言が多く、細かいところまで目が行き届かなくなっているのではないかと。支所の職員の資質も落ちているのではないかと思う。

○ 旧自治体の地域に合わせた施策が画一化された

- ・ 合併前から原材料等の現物を地域に支給して農道整備等を行う事業を実施しているが、中心部の旧自治体のやり方に合わせたため、周辺部では書類作成が煩雑となった。
- ・ 合併前は、役場で健康診断を受ける場合、事前申し込みは必要なかった。合併後は、法律なども改正され、受診項目等が増えたせいかもしれないが、事前申し込みが必要となった。最寄の支所以外でも、健康診断が受けられるようになったのは良いが、移動手段のない高齢者にとっては、デメリットのほうが大きいように思う。
- ・ 周辺部の旧自治体では、公民館に自治体職員がいて行政との連携を担っていたが、合併して中心部に合わせて公民館制が導入され、専門化が必要になるなど負担が増えた。

○ 主力産業・作物や地域性に違いがあり、良い支援に結びつかない

- ・ 旧町村で主力産業に違いがあり、農業が主の地域が中心となったことから、林業に対する補助事業が削減された。主力産業が同じ市町村と合併した方が良かったかもしれない。
- ・ 漁業中心の中心部の旧自治体は林業に対する理解がなく、漁業や農業に比べて補助や施策ができていない。森林は、林業だけでなく多面的な効果があるにもかかわらず職員及び議員に理解がない。

○ 補助金の減額等

- ・ 旧市町村の頃より補助金が少なくなり、活動を縮小せざるを得なくなった。

4 課題に対して市町に望むこと

○ 子育て支援・雇用創出等の若者が定住するための支援策の充実・人口対策

- ・ 合併前に廃止した保育所の復活や地域の高齢者に子育てを手伝ってもらう等の策を打ってほしい。
- ・ 公務員から率先して正職員を増やすなど、若者が定住するための雇用を生み出してほしい。
- ・ 空き家の活用を検討してほしい。

○ 地域ごとの特性に合わせた支援策や行政サービスの実施

- ・ 合併して全体を統一する意味も理解できるが、特産品目への支援や除雪作業等、それぞれの地域に合った政策を実行してほしい。
- ・ 各支所に権限を持たせて、もっと地域ごとに力を入れてほしい。地域のイベントや活動にも参加してもらいたい。

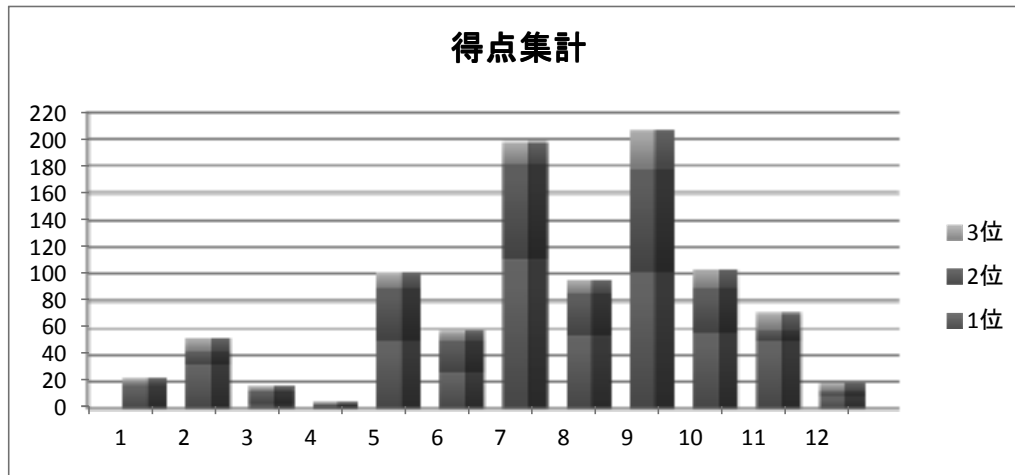
○ 交通網の整備、維持・交通料金の低減

- ・ 公共バスやデマンドタクシー等の運行を増やしてほしい。
- ・ フェリーの運航を維持してもらいたい。
- ・ 地域内の移動や外部に出かけるのに必須となる交通網・手段の価格について低減化や住民割引を導入するといった対策を打ってほしい。

5 今後市町に望むこと

※グラフは1位が3点、2位が2点、3位が1点として集計したもの(団体種別グラフも同様)

全体(173団体)		1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	職員数の削減や施設の統廃合などによる一層の行政・財政の効率化	6	0	5	11	23	9
2	支所などの機能の拡充	11	5	9	25	52	8
3	上下水道料金等の公共料金や公共施設等の使用料などを統一するなど住民負担の適正化	1	5	4	10	17	11
4	合併前の旧市町村ごとに異なる住民サービス(基準)の調整	0	2	1	3	5	12
5	住民と行政が共に協力・連携したまちづくり	17	19	12	48	101	4
6	合併市町としての一体感を生み出すための取組み	9	12	7	28	58	7
7	地域の特色、資源を活かした産業の振興	37	35	17	89	198	2
8	合併市町が掲げている重点目標(産業振興・子育て支援など)への取組み	18	16	9	43	95	5
9	地域経済の活性化による働く場の確保、雇用の創出	34	38	29	101	207	1
10	中心部だけでなく、合併市町全体でバランス良く発展するための取組み	19	16	15	50	104	3
11	その他	17	4	12	33	71	6
12	特になし	3	2	6	11	19	10



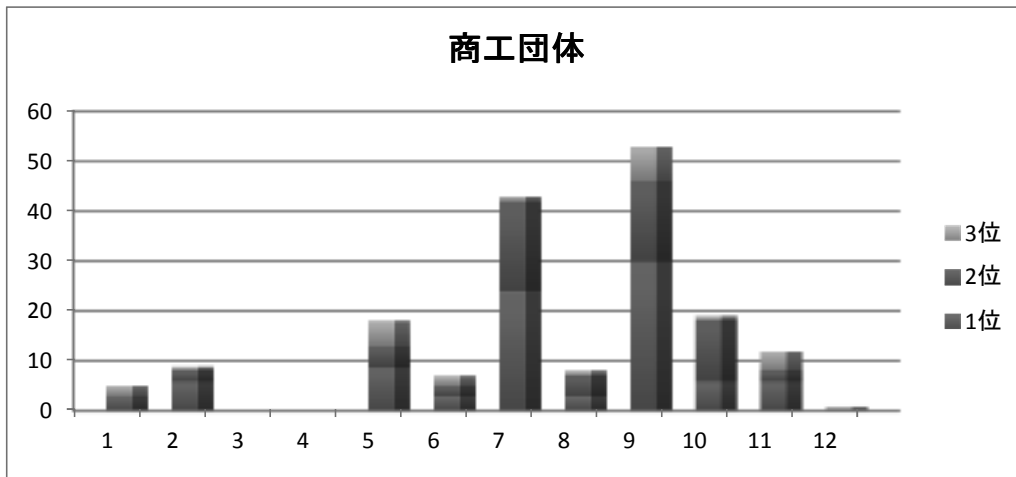
- 地域の活性化、産業振興を望む声が多いことについては団体種による差はなかった。また、合併による地域格差の広がりや地域の特徴が薄れていることに懸念があり、地域ごとの特色に合わせた行政を望む声が多い。合併以前より行政との距離が遠くなり、融通が利かなくなったという指摘もあり、住民との協働や、中心部に偏らない取り組みが求められている。
- 合併市町としての一体感を求める声は事業者生産者団体より、PTA、女性団体、青年団体から出てきており、産業振興とは別に、住民同士の交流や、新自治体として一緒になった各地域のことをよく知りたいという希望があるように考えられる。
- 合併市町の掲げる重点目標として、子育てに対する環境面・財政面の支援について多く言及され、特にPTAや女性団体からの声が多かった。全体としては少なく出てしまう親目線・家庭目線の意見をどう吸い上げるかが課題となる。
- 行革や基本的なインフラサービスについては概ね満足が得られているようである。

※その他団体種別に特徴のある意見

【商工】	会員数により職員数が決められるため、会員数の減少で、職員も減らされ、広域化した団体の管轄範囲をカバーしきれない。
【農業】	自治体より先に合併していたケースが多く、合併後は申請等の相手自治体が一つになる等、手続きが簡略化された。
【水産業】	市町村合併に合わせて合併した団体が少なく、合併の影響を比較的感じていない。
【建設業】	事業も事業者も減少。入札時の他業者との競争激化。地域の業者を利用してほしい。
【PTA】	教育現場に活用できるイベント・施設・自然等が増え、教育上良い。学校の統廃合については通学面で不安がある。

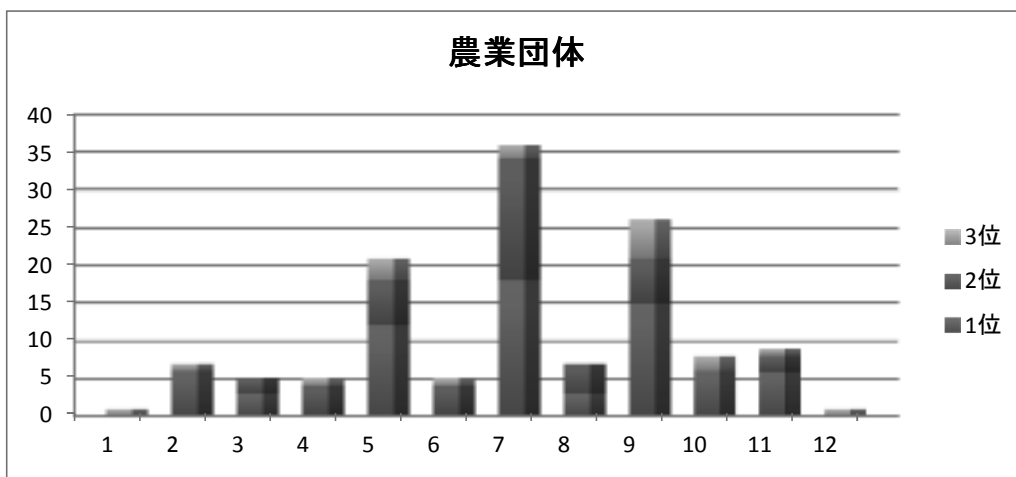
○ 商工団体(30団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	1	0	2	3	5	9
2	2	1	1	4	9	6
3	0	0	0	0	0	11
4	0	0	0	0	0	11
5	3	2	5	10	18	4
6	1	1	2	4	7	8
7	8	9	1	18	43	2
8	1	2	1	4	8	7
9	10	8	7	25	53	1
10	2	6	1	9	19	3
11	2	1	4	7	12	5
12	0	0	1	1	1	10



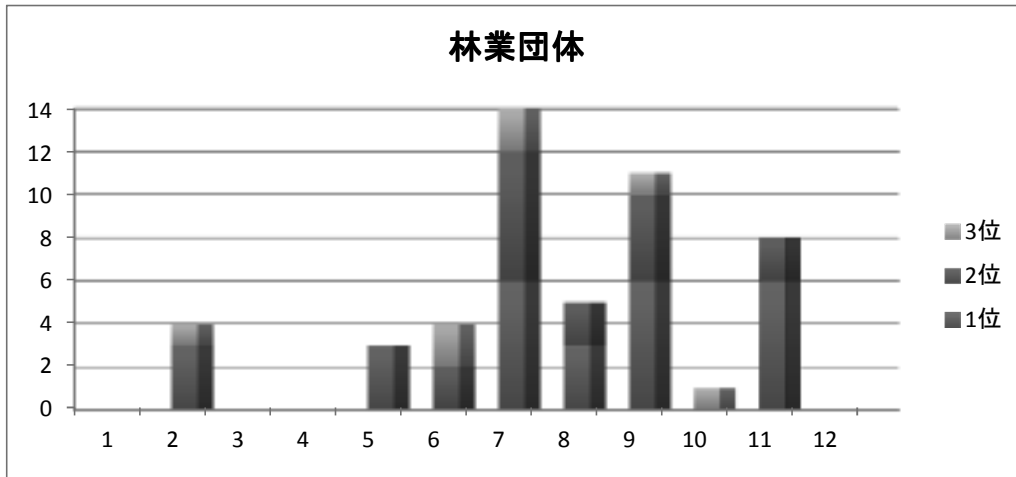
○ 農業団体(23団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	0	0	1	1	1	11
2	2	0	1	3	7	6
3	1	1	0	2	5	8
4	0	2	1	3	5	8
5	4	3	3	10	21	3
6	0	2	1	3	5	8
7	6	8	2	16	36	1
8	1	2	0	3	7	6
9	5	3	5	13	26	2
10	2	0	2	4	8	5
11	2	1	1	4	9	4
12	0	0	1	1	1	11



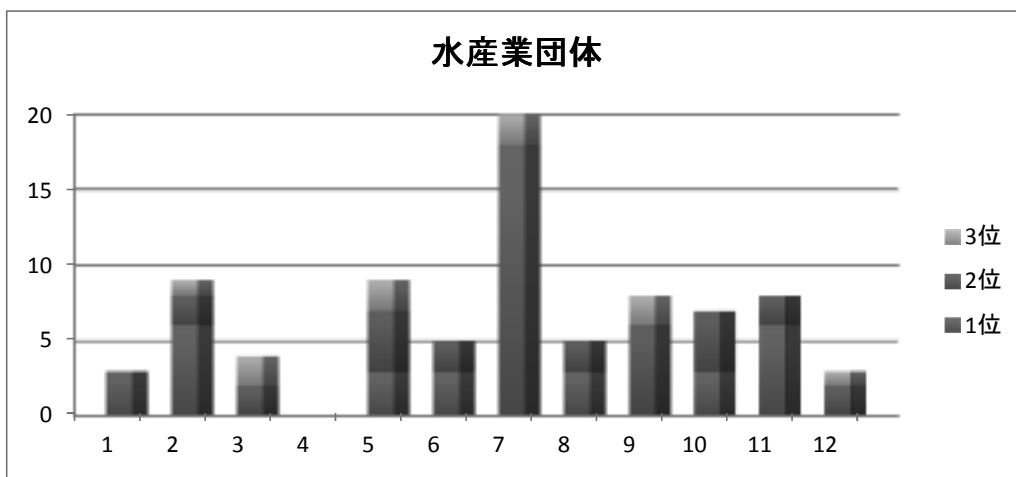
○ 林業団体(9団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	0	0	0	0	0	9
2	1	0	1	2	4	5
3	0	0	0	0	0	9
4	0	0	0	0	0	9
5	1	0	0	1	3	7
6	0	1	2	3	4	5
7	2	3	2	7	14	1
8	1	1	0	2	5	4
9	2	2	1	5	11	2
10	0	0	1	1	1	8
11	2	1	0	3	8	3
12	0	0	0	0	0	9



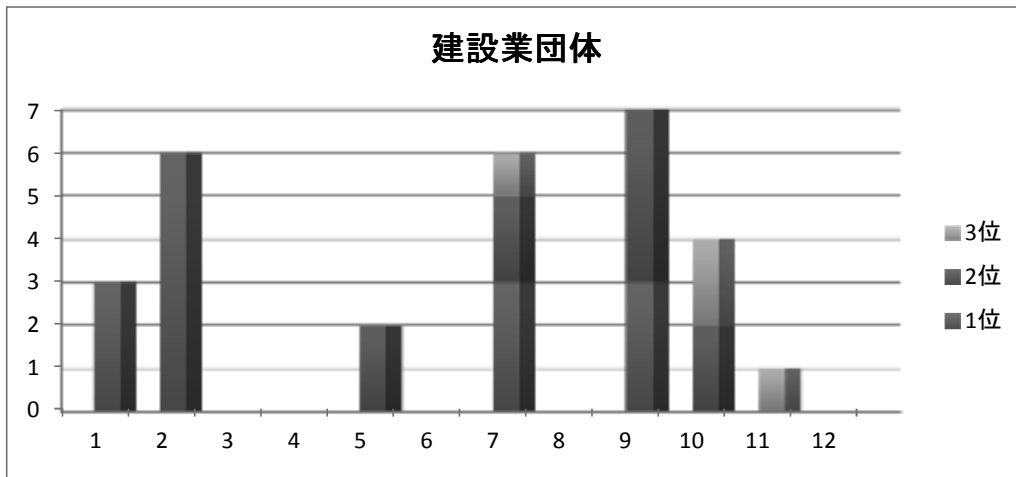
○ 水産業団体(15団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	1	0	0	1	3	10
2	2	1	1	4	9	2
3	0	1	2	3	4	9
4	0	0	0	0	0	12
5	1	2	2	5	9	2
6	1	1	0	2	5	7
7	6	0	2	8	20	1
8	1	1	0	2	5	7
9	0	3	2	5	8	4
10	1	2	0	3	7	6
11	2	1	0	3	8	4
12	0	1	1	2	3	10



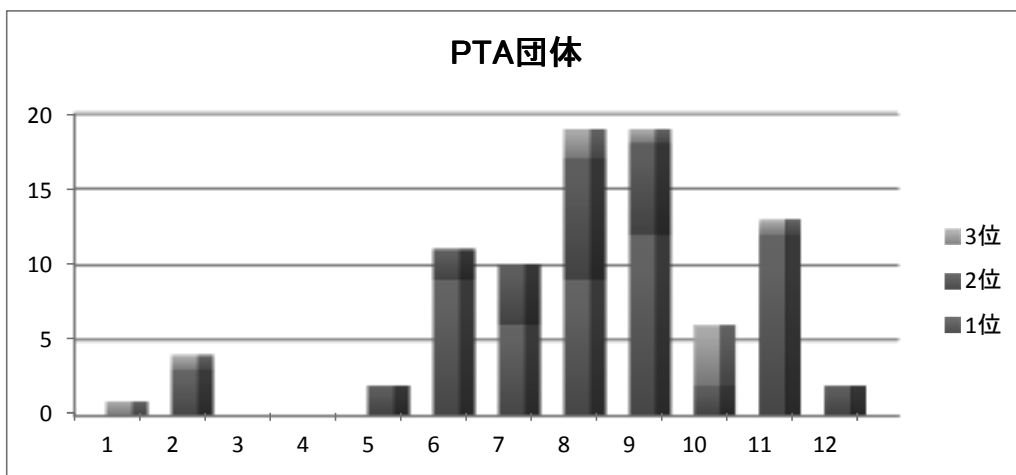
○ 建設業団体(5団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	1	0	0	1	3	5
2	2	0	0	2	6	2
3	0	0	0	0	0	8
4	0	0	0	0	0	8
5	0	1	0	1	2	6
6	0	0	0	0	0	8
7	1	1	1	3	6	2
8	0	0	0	0	0	8
9	1	2	0	3	7	1
10	0	1	2	3	4	4
11	0	0	1	1	1	7
12	0	0	0	0	0	8



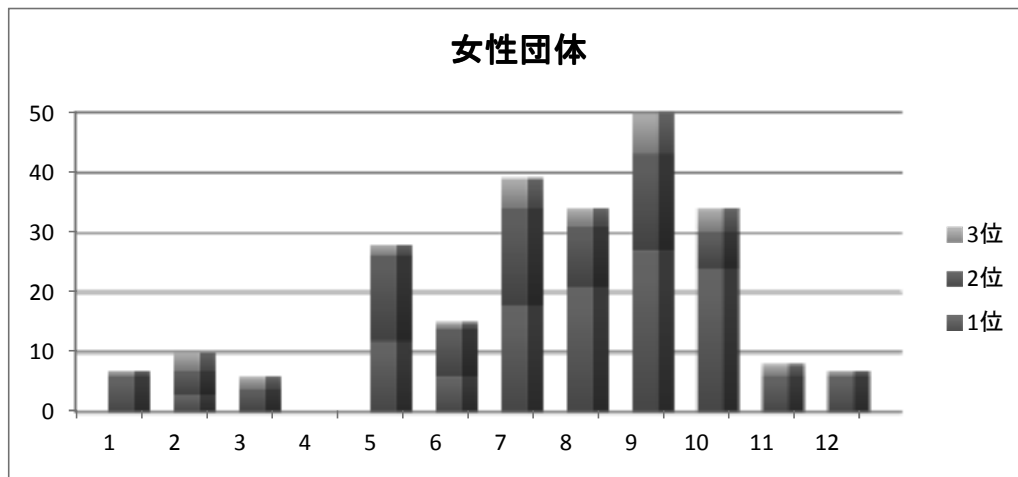
○ PTA団体(17団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	0	0	1	1	1	10
2	1	0	1	2	4	7
3	0	0	0	0	0	11
4	0	0	0	0	0	11
5	0	1	0	1	2	8
6	3	1	0	4	11	4
7	2	2	0	4	10	5
8	3	4	2	9	19	1
9	4	3	1	8	19	1
10	0	1	4	5	6	6
11	4	0	1	5	13	3
12	0	1	0	1	2	8



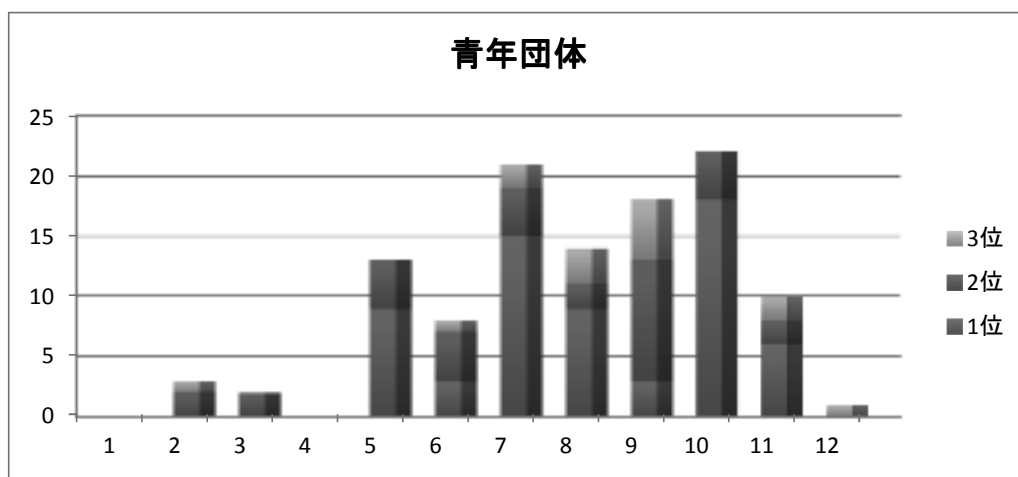
○ 女性団体(43団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	2	0	1	3	7	9
2	1	2	3	6	10	7
3	0	2	2	4	6	11
4	0	0	0	0	0	12
5	4	7	2	13	28	5
6	2	4	1	7	15	6
7	6	8	5	19	39	2
8	7	5	3	15	34	3
9	9	8	7	24	50	1
10	8	3	4	15	34	3
11	2	0	2	4	8	8
12	2	0	1	3	7	9



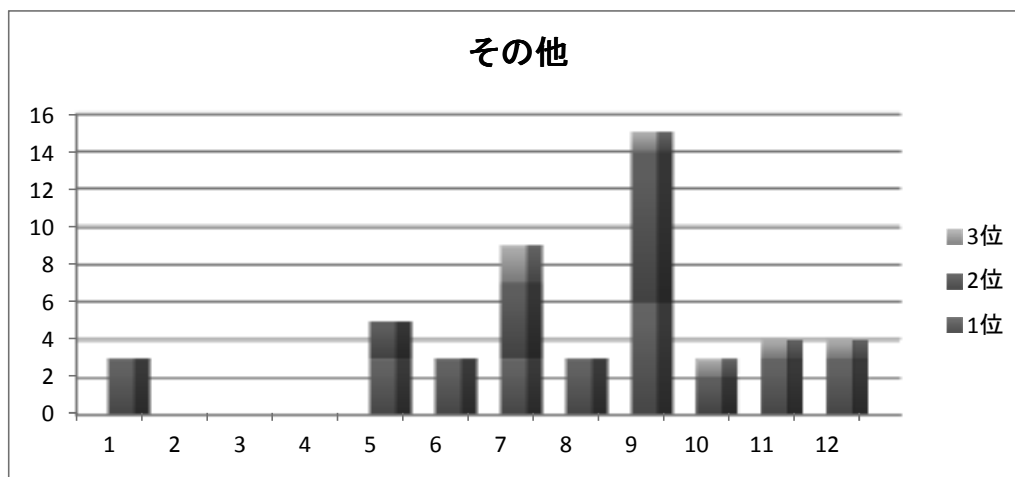
○ 青年団体(21団体)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	0	0	0	0	0	11
2	0	1	1	2	3	8
3	0	1	0	1	2	9
4	0	0	0	0	0	11
5	3	2	0	5	13	5
6	1	2	1	4	8	7
7	5	2	2	9	21	2
8	3	1	3	7	14	4
9	1	5	5	11	18	3
10	6	2	0	8	22	1
11	2	1	2	5	10	6
12	0	0	1	1	1	10



○ その他団体(10団体)
 (高齢者団体、社会福祉団体、
 まちづくり団体、
 コミュニティ団体、その他)

	1位	2位	3位	合計	得点	順位
1	1	0	0	1	3	6
2	0	0	0	0	0	10
3	0	0	0	0	0	10
4	0	0	0	0	0	10
5	1	1	0	2	5	3
6	1	0	0	1	3	6
7	1	2	2	5	9	2
8	1	0	0	1	3	6
9	2	4	1	7	15	1
10	0	1	1	2	3	6
11	1	0	1	2	4	4
12	1	0	1	2	4	4



[個票一覧]

団体	商工団体-1	商工団体-2	商工団体-3	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体として大規模になり、イメージが良くなった。(田舎のイメージがなくなった) ・合併特例債により、ある程度の事業等は行ってきたと思うが、住民には見えにくい。 ・救急艇が整備され、病院等の手配を迅速に対応してくれるようになった。 ・通院のための運賃補助が受けられるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会としては、あまり効果はない。 ・個人的には、道路の補修作業が早くなった点や、高齢者サロンの活動が活発になったという効果を感じている。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市町村の頃より補助金が少なくなり、活動を縮小せざるを得なくなった。 ・支所職員が減り、合併により人口減少も加速し、購買力が下がったことで商店の廃業等が増え、地域経済が縮小した。 ・同じ自治体内でありながら、選挙区が違う。 ・以前は旧自治体の役場で用件が済んでいたが、支所に機能(権限)が少なく、本庁からの指示がないと動けない。 ・周辺部に職員が住んでおらず、緊急時に迅速な対応ができない。 ・行政区域が広がり、隔々まで目が届かなくなった。 ・イベントへの地元住民の関心が薄れた。 ・公共工事が減り、建設業者が減ったことにより、緊急時の対応が困難となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併後補助金交付手続き等が厳格化(補助対象の範囲、詳細な書類作成等)したため、結果として商工会への補助金額が減少した。 ・合併に伴い観光協会が廃止され、観光協会主催の祭りやイベントが商工会主催となったが、商工会の職員は増員していないため、イベント準備で多忙になった。 ・中心部への交通アクセスが良くなったことから、中心部やさらに遠くのショッピングモールへ買い物に行く人が増えた。周辺地区で増えているのはコンビニだけ。 ・大きな会社は本社を中心部へ移転する動き等もあり、10年前から会員数は半減している。後継者も育っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所の職員数の減少により、その周辺の飲食店への影響が大きい。また、本所に部署が集約されたことで、支所周辺の商店の売り上げも減った。 ・支所が受付窓口になっているので、補助金申請等においてタイムラグがある。
	(3) 市町課題にむくこと	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少に対する総合的な施策を打ち出す。 ・支所で解決できることと、本所でできないことを明確にし、また、支所に権限を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併により廃止された観光協会にかかわる団体の創設を要望している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に対する助成のように、商業に対しても助成を増やしてほしい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	7 地域活性化のため、島への玄関口である港湾ビルを整備する。	7 イベント補助金など一過性な取り組みだけでなく、継続して人が来るような投資をしてほしい。例えば、周辺部の博物館に手を入れるなど。	5 公共施設の建て替えに際して、使い勝手の面から施設の配置について提案していたのに、意見が通っていない。 ・高速ICから15分と近い距離にあるため、地区の特色を生かして、魅力あるまちづくりをしてほしい。
	2位 具体的な提言	9 基幹産業である農業を活性化するため、若者・後継者への支援、有害鳥獣対策等を行う。	9 後継者の確保対策。特に、青年部の会員が減少している。	10 ・中心部のイベントだけでなく、周辺地域をもっと巻き込んで盛り上げてほしい。
	3位 具体的な提言	11 ・予算の削減だけでなく、予算を使うときは使っしてほしい。 ・商工会と市町の密な関係を作る。 ・廃校となった学校の有効活用。	11 中心部にある観光協会の分室を周辺部に設置。(旧周辺部自治体観光協会の後継となる組織)	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市町村の地名を残してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然環境を子どもの学習の場として活用してほしい。 ・地域の観光地と道の駅を結ぶ交通網を整備して、地域住民と観光客にメリットがあるようにしてもらいたい。 ・高速道路からは遠いが、海も山もあり環境がとてもしっかりな介護施設をもっとつくれたら、雇用も生まれるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の地区では、合併よりも、高速道路の開通により国道利用者が減ったことによる影響が大きい。 ・地区の商売人は、行政に頼らずぎりぎりまで我慢する傾向が強い。 ・まちづくりには「時間と熱意」が必要。 ・みかん農家の後継者は数人帰ってきているが、商店は衰退の一途であり、会員が100人程度減った。 ・授業料無料、医療費無料等、お金がかからないようにして、子育てしやすいまちにしてほしい。 ・学校校舎は木造にすべきである。 	

団体	商工団体-4	商工団体-5	商工団体-6	商工団体-7	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・合併により新たな所管エリアが加わりその地域の三セクが加入した。新規加入団体の所在地までは距離があるが、三セクは自治体が指導しているため、商工会議所として特に経営指導等を行う機会はないので問題ない。 ・合併前の旧市町村同士で歴史的に一体性があった。 ・合併特例債を活用して、文化施設や道路など駅前整備が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所も市町村の合併に2年遅れて合併し、会員数が増加したことで事業規模が拡大した。合併して良かった。 ・現在、会議所の支所を置いているが、事業のほとんどは本所で行っているため、支所の事業活動はやりづらい状況にある。将来的には、支所を閉鎖するかもしれない。 ・最大の観光地が、合併以前は複数の自治体にまたがっていたが、合併後は全て一つの自治体内に含まれることになって、アピールしやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会も合併したため、異文化を感じるとともに、切磋琢磨していい意味での競争心が芽生えている。 ・旧自治体地域ごとに団体運営の方法が違っていたので、2～3年は苦労した。 ・合併したことで新たなルール作りができ、会員のコンプライアンスが醸成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前の旧自治体同士は、人口規模も産業規模もほぼ同じくらいであり、ライバル意識が強かった。そのことがプラスとなり地域の発展に繋がってきたが、合併に当たっては(自治体でも会議所でも)住民意識の壁があり、事務所の設置場所などが問題となった。(市町村合併から6年後に商工会議所が合併) ・支所建物内に商工会議所が入れたことで、様々な情報をお互い共有できるようになり、ワンストップでのサービスも可能となった。 ・商工会議所の合併により、人件費の削減や規模の拡大のほか、情報も多く入手できるようになった。
	(2) 合併の課題		特になし(補助制度等の変更なし)	特になし(良かった点の方が多く、補助制度も変更なし。)	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどのイベントの一元化を進めているが、それぞれの歴史、伝統、地域の慣習が残っており、難しい問題となっている。 ・中心部の旧自治体には交流や勉強会を行う2つのクラブがあり、周辺部の旧自治体にも1つのクラブがあり、これを1つにしようとしたが、地域毎にそれぞれのものを残したいという思いもあって一緒に成れない。 ・競い合っていた旧自治体地域の双方に商店街があり、新自治体の中でどちらが中心市街地なのかという争いがある。
	(3) 市町に望むこと				<ul style="list-style-type: none"> ・地域振興のための各種事業を共同で実施してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	7 <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域特有の観光資源を活用したまちづくりを進めるべきで、その中核となる施設の活性化に引き続き力を入れてほしい。 	7 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策としての産業振興 ・自動車部品などの製造業の企業誘致 ・大規模農事企業の事業規模拡大 	11 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物、通院等の足の確保が重要である。 ・各種申請手続きの利便性を向上するため、早朝や土日窓口をオープンするなどの対応をしてほしい。 	6
	2位 具体的な提言	9 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺部について、販路拡大のための調査を実施すべき。 ・製造業の新規就職に関して、ミスマッチによる離職者が多いため、就業者の理解促進を図ってほしい。また、この研修を自治体の人材育成センターが行っているが、運営が厳しいので、県の補助要件を緩和してほしい。 	8 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策としての子育て支援 	7 <ul style="list-style-type: none"> ・一次産業の活性化のためには、定年退職者の活用も必要である。 ・もっと農産物のブランド化を図るべきである。 ・空き地を有効活用して施設農業などの誘致をしてほしい。 	5 <ul style="list-style-type: none"> ・合併後、日本一の産業を持つ自治体となり、市民にとっても誇りとなっている。これを活かして、研究センターとも共同して地域を活性化してほしい。商工会議所としても力を入れていきたい。
	3位 具体的な提言	5 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と共同して、地域ぐるみで子育て支援を行うべき。 	9 <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化対策としての働く場の確保 	8 <ul style="list-style-type: none"> ・女性が働く場の選択ができるよう、保育の充実など子育て支援が必要である。 	9 <ul style="list-style-type: none"> ・市内にまとまった土地がないため、近隣自治体に企業誘致で負けたり、工場を移す企業もある。工業団地建設の計画があるが、遅すぎると思う。
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が加速し、固定資産税も含めて税収が減少していくことから、今後はコンパクトシティを目指すべきであり、小中学校も統廃合を進めるべき。 ・企業の正規雇用が少ないことも問題である。 ・合併による市民生活への大きな影響はないと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つの商工会と合併できれば、行政区域と一致するため、行政と一体的な事業活動ができる。現在は、商工会との交流はほとんどない。 ・郊外型店舗が増加しているが、住居も郊外へ移っているかと言えばそうでもない。こうした点から商店街など居住地周辺の活性化も必要である。 ・郊外型店舗出店の際にテナントとして入るよう促したが、商店街の経営者は高齢で、資金面の問題もあり、意欲がない。また、若い経営者で業績を伸ばしても、銀行融資が受けられないことが多く、店舗数の増加までは発展しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併後、林道整備が進んでいない。 		

団体	商工団体-8	商工団体-9	商工団体-10	商工団体-11	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> 合併により管轄区域が拡大し、取引等の機会が増加した。 しかし、現状では力のある大きな企業の総取りとなっているため均等に機会が増加したわけではない。 旧市町村ごとに人の気質が異なっていたため、合併により交流の機会が増加したことが新たな刺激になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 経済圏が広がり、いいか悪いかわからないうが旧自治体の枠を超えて資本と人の交流が始まった。 	<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れもあるが、商工会ブランドが昔に比べて落ちた。昔は、商工会名を店舗に貼るだけで、ブランド力があつたが、今は必ずしもそうではない。 合併により組織が拡大し、会員の視野は広がったと感じている。地域の片隅で、地域に根差して小規模という視点だけでなく、新規事業を起こして収益を上げていくというような積極的な経営をする会員も出てきた。 会員間の情報交流も広がったと感じるし、客の幅も広がったと感じている。 首長が産業振興に力をいれており、様々な支援が受けられ、非常にいい関係が築けていると思う。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> 合併後10年で、100名程度会員が減った。 過疎化、高齢化により、買い物難民が増えた。 庁舎が近くにあった頃は緊密にタイアップし、行事等を行っていたが、少なくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併前は周辺部の旧自治体との取引があつたが、合併後は本所が中心部に移った関係で取引が中心部に集中している。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧自治体間で産業と文化も違うため、効果の実感はなく、少子高齢化が加速し、商工会会員も減った。 合併前は、予算化や様々な対応において小回りがきき、相談しやすかつた。 中心部がこの地域の経済の中心となり、大型店舗が増加したことで、商店街では廃業が増え、会員が減った。 職員を減らされたことと、地域が広くなったことで、会員に対する指導が行き届かなくなった。 職員数が減少したことで、各支所のイベントを商工会単独から自治体と共同で実施せざるを得なくなった。 周辺地域は働く場が減った。合併しなければもっと雇用の場があつたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 首長を中心に、産業振興に力を入れてもらうのはありがたいが、農工商全てを巻き込んだ取組みをしてほしい。 どこの中山間地域も似たような状況(過疎化等の多くの問題を抱えている)であり、特に合併したから衰退したということではないのではないかと。 合併当初は、旧自治体を意識した声をよく聞いたが、ここ5年ぐらいいは、あまり聞かなくなったように思う。 商工会に関しては、当初から、旧自治体を意識することはあまりなかったように思う。実質的に吸収合併という形だったので、良かったのではないかと。対等合併をしたようなところは、現在もあまり上手くいっていないという話を聞く。
	(3) 市町課に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> 行政の協力を得て、配送サービス、移動サービスを実施したい。 商工会、商工会議所と連携し、相互事業、相互交流を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 人口(利用者)が多いところが優先される傾向があるので、人口の少ない周辺部にも気を向けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政の基準により、地元業者が入札に参加しにくい状況にあるので、もっと競争しやすいうようにしてほしい。 企業誘致ではなく、一次産業を含む地域産業の活性化に力を入れるべき。 	
2 今後市町に望むこと	1位	9	10	7	1
	具体的な提言	働く場、雇用の場があればにぎやかになる。立地条件は整っているので、企業誘致をしてほしい。		<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致ではなく、一次産業を含む地域産業の活性化に力を入れるべき。 地理的条件を活かした農業振興に取り組むべき。 就職希望者に安定志向が強いため、行政が事業を積極的にやるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 行財政の効率化を進めて欲しい。 部署によって業務がアンバランスなものがある。 例えば、人員が足りない農家に、即時に人手を回すような措置を講じるというようなことは役所では、実際のところ難しいのかもしれないが、そのような柔軟な対応ができないものかを感じる。
	2位	10	2	10	10
具体的な提言	行政組織のほとんどが本庁に集約され、支所に空きスペースがあるので、有効活用してほしい。		<ul style="list-style-type: none"> 中心部中心型になっているので、周辺地域にも配慮し、バランス良く発展してほしい。 	農村部なら農業振興等、その地域独自の特性を伸ばすことを考えてほしい。	
3位	11	5	6	11	
具体的な提言	会員増、商工会活性化のため、大規模小売店を誘致してほしい。		<ul style="list-style-type: none"> 地域住民との触れ合い強化のため、公民館の機能の拡充を図ることで住民と行政の一体感を醸成してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 税金を上手に使っていただきたい。 国から、県からの補助金だからということではなく、たとえ補助金でも意義のあるものに税金を使っていただきたい。 このぐらいいの大金を使って、事業に失敗したらどうしようというような危機感があり感じられない。もし失敗しても書類を出せば事が済むというような意識があるのではないかと。 	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 新しい文化ホールの建設だけでなく、既存施設をもっと活用してもらいたい。 自治体の審議会の話題が偏っているので、商工会の話もしてもらいたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 県内最大級の商工会でありながら、県の基準により職員数を大きく減らされ、各支所は1人ずつである。この基準を何とかしてほしい。 販売体制等において、農協と行政の一体感が無い。 雇用しようにも地元若者がいない。 		

団体	商工団体-12	商工団体-13	商工団体-14	商工団体-15	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・広い地域でイベント等を開催することができるようになった一方で、会員数も減る中で商工会として生き残る方法を考える必要ができた。	・商工会の合併により、組織がスリム化した。 ・旧市町村の商工会のままだと会員数が少なく、存続できていないと思う。	・市町村合併に伴って商工会も合併し、規模の大きなイベントが実施できるようになった。 ・団体の所管エリアに変更がないので、変化は感じない。 ・合併のメリット、デメリット感じていない。 ・会員からも特に声を聞いていない。	
	(2) 合併の課題	・自治体合併に伴い、商工会も合併したことにより、担当職員の異動が多くなる一方で、商工会の仕事は地元に着した仕事であるため、円滑に仕事ができない職員も見受けられた。 ・当然ではあるが、合併により旧市町村単位で支給されていた補助金があるまま入ることはなく、補助金の総額は大幅に低減された。 ・職員数の減少等もあり、商工会の活動に対して、行政からのサポートは減少し、活動を縮小せざるを得なくなった。 ・行政団体の規模が大きくなったことで商工会との距離ができ、行政との関わりが薄くなったように感じる。	・商工会支所職員が減り、会員へのサービスが低下した。 ・行政の支所職員が減り、相談先が本所となり不便になった。 ・中心部に変化は感じないが、周辺部は需要が減り、少しずつ寂れたように感じる。	・逆により旧市町村単位のイベントは縮小した。 ・不便になったという声をよく聞く。(具体的には聞いていない)	
	(3) 市町課に題を対しむこと	・合併により団体が大きくなった分、行政は今後どのような形で関わってもらえるのかを明確にしていきたい。 ・若い住民や異種団体と我々、商工会とのつながりを自治体にコーディネートしていきたい。 ・スポーツ行事については旧自治体単位で開催しているものもある。こうした行事も新自治体で一体となって開催したほうが良いものについては工夫してもらいたい。			・会員数はここ数年横ばい。 ・行政からの支援も大きな変化ない。 ・旧自治体間で圏域・文化に違いを感じる。 ・他地域の商工会と具体的な連携事業はない。何か連携できればという意識はある。
2 今後市町に望むこと	1位	9	7	11	7
	具体的な提言	・活性化には若い人が必要であり、若い人が働く場所、雇用の場が必要。従来雇用の場となっていた建設業は周辺部に限らず多くが廃業し、新たな雇用の場が必要。	・特産品の開発。 ・後継者が少ないので、後継者対策・サポートをしてほしい。 ・商店街が空洞化してしまう前に、存続のための対策をしてほしい。	・県立病院の医師を確保し、医療機能を充実させてほしい。	・観光振興や、中心市街地活性化
	2位	5	9	9	8
具体的な提言	・商工会としては様々な団体との連携が重要であると考えており、その連携により大きなイベントを催していきたい。	・地元の魅力がないと若者が帰ってこない。基幹産業である農業が良くなれば、地域が活性化し、商工業も上向くので、対策してもらいたい。	・漁業の活性化につながり雇用が生まれるような施策を実施してほしい。	・人口減少問題への対応として、子育て支援の取組	
3位	6		2	9	
具体的な提言	・若い人は我々とは感覚が違う。既存のイベントに動員し、合併市町として特徴のある、今までとは違うイベントにしていることが大切。		・全ての公民館で住民票が取れるようにしてほしい。また、災害時の対応として、支所レベルではなく、公民館レベルで職員が身近にいることが重要と考える。	・労働力の確保と女性の活躍	
3 自由意見	・合併してから、住民の意識は良くなってきているように感じる。 ・いろいろな事をやろうとしても、資格がないとできない場合がある。周辺部など、地域によっては有資格者がいない場合があり、全国一律の制度では十分に対応できない。こうした規制的なものを地域の実態に合わせて少しでも緩和していかねければ、地域の現状を維持することは難しいと思う。	・合併で過疎化に歯止めがかからず、衰退している。この状況が続けば、合併はなんだったのかという評価になる。 ・今後、検証結果をいい方向に向けられるようにしてもらいたい。	・過疎化・高齢化により、会員が大幅に減少し、県連の基準により職員数も減少している。経営指導員が減少することで、益々会員が減少している。 ・本所に近接した地域の支所は廃止したいが、地元の要望により廃止できない。 ・学校がなくなったところは地域の祭りも廃れるので、地域の連帯感を造成するよう取り組んでほしい。	・仮に周辺部の商工会と合併したとすると、規模の違いから周辺部には現行の人員配置はできないと思われる。 ・県内経済団体もサイクリング振興を推進している。今後県・基礎自治体とさらに歩調を合わせていければと考えている。 ・サイクリング観光では現在は東予に経済効果があるが、これを中予・南予へ広げる必要がある。 ・個人的にも(中心部在住)、合併による行政サービス等の変化は特に感じない。	

団体	商工団体-16	商工団体-17	商工団体-18	商工団体-19	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・人口は増加したので、絶対的な効果は存在する。 ・歴史的な名所が多いので、一緒に発信できる。	・合併して自治体区域が変わり、海を持つことができた。	・市町村合併に伴って旧自治体ごとにあった商工会が合併し、いい意味での競争心が生まれ、それまで交流のなかった地域と交流が深まった。	・商工会議所も合併していないので何も変わっていない。住民サービスには満足している。
	(2) 合併の課題	・経済界が2つ(商工会と商工会議所)に分かれた状態になっている。(会員企業への経営指導などは、従前どおりであり影響はない。)	・役場が支所となり職員が減り、物品購入、飲食等の消費が減った。周辺部にまわされている課もあると思うがごく一部。 ・施設を使用する際、支所に電話しても本庁に何うので、対応が遅く、また、支所に決断できる人がいない。 ・予算が人口配分になっているようであり、合併前と比べ、少なくなったと感じる。	・合併当初は職員削減等でコスト低減が図られ、合併の効果が得られたが、時間が経つと隅々まで目が届かなくなり、行政サービスが低下してきた。 ・商工会としては、役員同士の交流は深まっているが、全体の役員数が減ったことで役員以外は「蚊帳の外」に置かれているといった声もある。 ・就労の場が中心部へ移り、周辺部の過疎化が加速している。ガソリンスタンドがない地区もある。中心部へ就労に出かけると、ガソリンもそちらの方が安いので、益々地元を利用しなくなる。 ・合併時に「分散型のまちづくり」を掲げていたが、実行できていない。	
	(3) 市町課に題望を対しむこと	・商工会と商工会議所の協調関係が難しいので、自治体が間に入って調整してほしい。 ・旧市町村ごとのお祭りなどの行事が理解されていない。 ・役所の機能が分かれた(建設部関係は、周辺部にある)ため、不便になった面がある。 ・合併のメリットは、合理化であり十分合理化がなされているのか。合理化できる部分は、もっと合理化すべき。		・自治体として、合併時の計画を検証すべきである。	
2 今後市町に望むこと	1位	5	9	9	9
	具体的提言	・旧市町村がお互いに理解の進むイベントをしてほしい。	・企業立地していない土地があるので、企業を誘致してほしい。	・人材育成、雇用創出が必要。このため、商工会の独自事業で「創業支援セミナー」を実施しており、域外からも参加者を受け入れ、周辺部で起業してくれる人を養成している。 ・「中小零細企業振興基本条例」(仮称)を制定し、中小零細企業が活発に活動できるようにしてほしい。(行っている自治体もある)	・埋立地の活用も含めて工業団地の整備を行い、思い切った企業誘致に乗り出すべきである。 ・例えば、近隣自治体の大規模商業施設で就労している単身赴任者に当地域に居住してもらえよう、住居対策にも取り組むべきである。
	2位	7	7	7	7
具体的提言	・2つの経済団体が存在することを住民に理解してもらえるようにしてほしい。	・特色を生かして農林水産業を振興し、特産品のPRをしてほしい。 ・雇用が確保できる大規模施設(水族館)を作してほしい。 ・もっと漁業者、海を活用してほしい。	・6次産業化など、一次産業を生かした産業振興が重要である。	・地域の特色を生かして産業振興を図ってほしい。全国でやっているようなことをやっても駄目である。例えば、電車の利便性が高い点を生かして、何らかの施設や企業の誘致ができないか。	
3位	9	5	5		
具体的提言	・高齢者が楽しめるシルバータウンを作り、雇用の創出、総人口の増加を図っていくことを考えてはどうか。	・支所の人とやりとりしているが、支所の人々が地元出身でないとなりが希薄になる。職員の意識を変え、愛着を持ってもらいたい。	・これまでは住民に参加を呼び掛けるタイプの施策が多いが、住民自らが発案して、それに行政が支援する形を作っていくべきである。自治会が中心となっている近隣自治体もある。		
3 自由意見	・自治体としてこれから何をやっていくのが明確なビジョンを示してほしい。	・観光パンフレットに、中心部のことしか書かれていない。 ・中心部には、合併してやったという意識があると思う。 ・新自治体の入札で、周辺部の業者はほとんど落札できていないと思う。 ・周辺部の通学路等の整備ができていない等、周辺部への対応が手薄である。 ・行政は意見を出してくれと言うが、行政に意見はないのか。意見をださなければ何もしないのか。 ・審議会等で意見を集約しても利用されておらず、結果が表に出てこない。	・過疎化・少子化で廃校となった周辺部の高校の建物を有効活用したい。 ・商工会として、低炭素社会実現に向け、支所に電気自動車の充電器を整備しており、軽トラの電気自動車のカーシェアリングを実施している。自治体もビジョンを持って、積極的に施策に取り組むべきである。次期総合計画の策定に当たって、住民の意見を聞いているが、施策の柱やコンセプトを提示せずに意見を聞いても方向性が固まらないのではないか。まずは、行政が方向性を示してから意見を聞くべきと考える。	・会員の顔ぶれは10年前とほとんど変わっておらず、若い人が加入していない。 ・当地域における主力企業は、本社機能を関東へ移してしまっており、工場のみとなっている。 ・少子化対策として、団体が婚活に取り組むこととしている。 ・商工会の建物の耐震化を検討中。 ・6次産業化に取り組む会員がいる。取引先は、東京のレストランを予定している。	

団体	商工団体-20	商工団体-21	商工団体-22	商工団体-23	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・全体としては、観光資源を持つ地域と一緒になったことで、ブランド力が向上し、企業もメリットを感じている。商工団体としても、扱う対象品目が拡大したことで、販路拡大にもつながっている。 ・一つの自治体となったことで、日本一の産業を持つまちとして箔が付き、その他、特産品やゆるキャラ、名物などの相乗効果で交流人口の拡大が図られており、合併の効果と捉えている。 ・自治体内の他の商工団体との交流も深まっており、連携して事業を行う機会が増えた。	・旧市町村ごとの特長を活かすことにより、新自治体としてのバランスが取れ、将来に向けて楽しみなまちづくりを進めることができる。	・市町村合併に伴い商工会が合併したことで、会員数が倍増し、情報交換等交流が深まった。	
	(2) 合併の課題	・住民はサービス低下を感じ、企業も不便を感じているということを感じるが、具体的にはわからない。企業は、予算削減等があるのかもしれない。 ・中心部では合併前より水道料金が高くなり、企業が打撃を受けている。 ・新自治体としての一体感を出すために、祭りを統一するということも考えられるが、これは難しい。やはり、地域の祭りも大事。中心部で行っている花火大会へ、周辺部から参加を呼び掛けているが参加者は少ない。	・地元の旧市町村を中心として考えている人がいる。将来や子どもたちのことを考え、協調、協力するために意識改革してほしい。 ・大型店の出店により、会員数が減少している。	・合併により、周辺部の市町職員が中心部に集まり、周辺部の消費者が減り、飲食店等の廃業や移転が進んだ。 ・合併後、中心部には人は集まったが、大型店、コンビニ等の出店により、地元の店の経営が困難となった。	・会員数に応じて職員数が決められており、経営指導員が減少したことで、きめ細かな指導が行き届かなくなっている。 ・職員数の削減により、自治体から補助金をもらっても事業の執行ができない状況である。
	(3) 市町課に課題にむくこと	・現存のフェリー航路の維持をお願いしたい。 ・一部の住民は顔見知りが減ったことによりサービスが低下したと感じているようである。細かなサービスによる支所機能の強化を望む。 ・高速道路・橋の通行料金の低減。	・元気な人が弱者を支えるまちづくりを進める。	・現在も購買客を増やすような取組みをしてもらっているが、中心部だけでなく、新市町全体をまわってもらえるような取組みをしてほしい。 ・空き店舗が増え、迷惑となっている。移転支援等の有効活用や商業振興策をしてほしい。	・自治体に商工関係専門の課がなく、商業振興を図る態勢が弱いため、組織体制をしっかりと整備し、商工団体と緊密に連携してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	8 ・港の再開発事業や大規模商業施設跡地の活用等により、中心市街地の活性化に取り組んでほしい。統合により未使用となった廃校を取り壊し、イベント広場として活用したり、バリアフリーのマンションや中核施設を整備してほしい。 ・中心部におけるまち歩きや、サイクリングにより、観光振興を図ってほしい。	5 ・住民の理解と協力、そして時代の変化の意識改革が必要。	7 新市町のオリジナルで、他ではマネできない地域の特徴である山を活かした取組をしてほしい。	9 ・雇用の場を確保し、人口を増やす取組を行ってほしい。
	2位 具体的な提言	7 ・地域の特色を生かした産業振興 ・観光資源である温泉を、サイクリング等と絡めるなどして活性化してほしい。 ・周辺自治体と連携して観光振興を図るべき。	6 ・旧市町村それぞれの特長を活かす住民の努力、協力、協調により、新市町のまちづくりが進む。	9 地域で使えるプレミアム商品券(市町負担20%)で、商工業の活性化を図ってほしい。	7 ・人口が少ないの産業振興の方法を考えないといけない。
	3位 具体的な提言	9 ・企業や大学などの誘致をして、外から人を呼び込んでほしい。	9 ・働く若者を呼び込むための住宅整備	5	10 ・中心部だけでなく周辺部の振興をしてもらいたい。 ・中心部の住民は、自分たちが中心であり、周辺部への配慮は乏しい。
3 自由意見	・島嶼部はフェリー航路が廃止になり不便になっている。 ・公会堂やスポーツ施設など、中心部のインフラ整備は十分できているので、これらをソフト事業でつなぐ効果的に活用していきたい。 ・国体競技が行われることを生かして経済効果が出るようにしたい。	・新市町を将来どんなまちにしたいか見えてこない。目標を掲げれば、議員の反対も少なくなると思うので示してほしい。議員が協力すれば、もっとまちが良くなる。 ・産業、農業、観光の充実による人口増加を目指してほしい。 ・観光事業を拡充し、観光客を楽しませる受け入れ体制を整備し、気に入ってもらって住んでもらうまで繋げて欲しい。 ・大型バスが何台も停まれるような駐車場やイベント会場を整備してほしい。 ・旧市町村それぞれの特長を活かしたまちづくりをすすめてほしい。	・人口が少なくなると商工業は成り立たず、周辺部がさびれる。 ・合併していなかったら、周辺部の市町村は成り立たなかったかもしれない。合併したことで、延命できていると思う。 ・大きな雇用できる事業者がないので、若者が少なく、その結果、企業誘致も進まない。	・地域イベントに行政の職員が関与しておらず、商工会だけでは手一杯である。 ・周辺部の会員数の減少が顕著である。 ・幹線道路が整備されたことで、地域内で買い物をしなくなった。 ・周辺部の人口減少が著しい。	

団体	商工団体-24	商工団体-25	商工団体-26	商工団体-27	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併の効果、メリットは全く感じられない。	・商工会の合併は市町村合併より小さな規模にとどまった。組織が大きくなりすぎず、地域の結びつきが強くなったと感じる。女性部や青年部も小さい組織で人が出しやすく、今後活性化が望まれる。 ・地域ごとに会員の業種が異なるため、異業種の交流、結びつきがメリットとなっている。	・合併により事業者の加入が増加した。 ・新自治体の事業を実施する過程で、周辺部の商工会との交流ができ、連携関係が生まれた。	・合併前は、第一次産業が中心であったため漁協が優先されていたが、合併により、商工業の立場が上がった。
	(2) 合併の課題	・市町村合併により支所の職員数が減少した。その結果、支所周辺の小売店などが減少し、会員減につながった。 ・支所の職員が少なくなったことにより、地域の世話をする人間がいなくなり、商工会がその肩代わりをしている。 ・団体への補助金が減らされ、職員の新規採用が難しくなっており、定年延長などで対応している。	・団体の合併に伴い職員が削減され、商工会としての機能を維持することが難しくなった。 ・支所に権限がなく、物事が決まるのに時間がかかる。職員も少なくなり、雰囲気は暗く感じる。	・新自治体からの商工会議所及び商工会に対する補助金は、合併前の旧市町村からの補助額を踏襲しているため、同じ自治体内の商工団体にも拘わらず計算の根拠が異なっており、不公平感がある。	・合併以前からあるものを無くさないようにする必要がある。 ・合併後中心部にあらゆるものが集まる反面、周辺部からなくなるものも多く、相乗効果的に地域の衰退が進んでいくのではないかと懸念がある。
	(3) 市町村課に望むこと	・これ以上補助金を減らさないでほしい。職員をこれ以上減員することはできない。	・これ以上補助金を減らさないでほしい。職員をこれ以上減員することはできない。 ・商工会の経営指導員と自治体の若手職員で情報交換をしたり、交流する場を設けてほしい。	・同じ自治体内の商工団体で取扱いが異なる現状を改善してほしい。 ・商工業に対する自治体の支援をお願いする。(農業、水産業に比べて少ない)	・望むことは随時言っている。
2 今後市町村に望むこと	1位	9	2	9	2
	具体的な提言	・人口減少が著しい。女性も含めて雇用の場がなく、高齢化が進んでいる。	・支所にある程度の決定権限をおろしてほしい。支所の職員はもっと地域の行事に積極的に参加し、地域との交流を深める努力をしてほしい。		
	2位	11	10	7	9
	具体的な提言	・会員数の減少、高齢化が進んでおり、イベントなどの運営だけでなく、通常業務にも支障が出ている。これ以上の補助金カット、職員の定数削減はやめてほしい。	・合併後は一部地域だけのことを考えることが難しくなっているので、周辺部の旧自治体独自の取組などが行えない。中心部だけでなく、周辺部のバランスも考慮した都市計画を立ててほしい。	・農産物のブランド化について、企業ごとの取組みで終わらせるのではなく、自治体として取り組んでブランドを確立するとともに、トップセールス等により売り込んでいく。	・周辺地域の消費が落ち込んでいるため、一次産業(水産業)に力を入れてもらいたい。それにより、結果として商工業も潤う。
3位	12	9	1		
具体的な提言		・産業だけでなく、自然や温泉を活用して誘客に努めてはどうか。サイクリストを誘客できる産業を創出できないか。観光資源等が多少有名にはなったが、さらに付加価値を付けて発信していくべきである。	・指定管理者制度の利用を増やす等、更なる民間の活用を行う。		
3 自由意見	・市町村合併の検証を行うのが遅い。合併して2、3年で検証すべきだった。 ・海外での商談会も予定している。積極的に活動していこうと思っているので県や自治体にも支援してほしい。	・市町村合併により、行政の施設、施策の整理、統合が進んでいる。一律に整理統合するのではなく、地域住民と十分に話し合ってから決めてほしい。 ・合併協議会は終結するが、地域住民の声を吸い上げる制度は継続してほしい。 ・市町村職員も削減され手が回らないのであれば、県職員も協力、応援してほしい。	・これからは「選択と集中」を意識した行政運営が必要である。 ・人口減少社会にあわせた都市デザインを考えなければならない。	・議会議員をもっと減らすべき。	

団体	商工団体-28	商工団体-29	商工団体-30	農業団体-1		
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・行政がスリム化した。 ・財政面では、黄色信号が灯っていた公債費率が正常に戻った。	・周辺部はインフラ整備が進み、便利になった。	・合併相手である旧市町村の地区は別の農協の管内だが、農作物の出荷等について意見交換を行った。農家は、作物に自信を持っているが、値段の付け方がわからない等の課題がある。しかし、発展の可能性はあるため、長い目でつながっていきたいと考えている。		
	(2) 合併の課題	・合併により周辺部の人口減少・商工業の衰退が加速したように感じる。合併前は役場の会合や行事、役場職員の消費により地元商工業者は一定の利益を確保できていたが、合併後、支所となったことに伴い、会合や行事は減少し、職員数も減少したことにより、地元商工業者は経営が厳しくなった。	・行政の効率化とは表裏一体で、周辺部は衰退した。特に飲食店への影響が大きく、後継者が決まっていなくても多い。また、過疎化が加速している周辺部もあるが、中心部の通勤圏内にある周辺部はそこまで人口も減少していない。 ・行政に対しては、合併当初、顔見知りの職員が少なくなり、不便を感じた。(最近徐々に慣れてきた。)	・市町村合併により商工会も合併したが、会員数に応じて事務局職員の人数が決まっており、会員数の減少に伴い職員も減り、経営指導員の活動範囲が広がったことで、サービスが低下している。 ・商工会の支所を廃止したいが、地元の要望もあり廃止できない。 ・周辺部は高齢化が進んでおり、会員の減少が著しい。(商店の減少)		
	(3) 市町課題に望むこと	・特になし。(合併後、商工会に対する補助金の減額もあったが、自治体の財政状況を考えると、やむを得ないと思う。)		・周辺部の買い物難民対策を検討しているが、行政と協働して実施したい。 ・地域商品券発行事業等の地域での消費を促進する取り組みを今後も継続してほしい。		
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	10	9	5	・農家所得が増え、次世代が意欲を持って取り組めるような農業にしてほしい。 ・遊休農地が多いので、これを解消するよう努めてほしい。	
	2位 具体的な提言	9	7	10	6	・周辺部にもポテンシャルがあるため、交流人口の拡大を図るなどもっと活性化策を講じてほしい。
	3位 具体的な提言		1	7	7	・高冷地の気候を生かした農業や作物を導入してほしい。
	具体的な提言		・一層の効率を図るよりは、5年・10年の長期スパンの中で、必要に応じて検討してほしい。			
3 自由意見	・地域としての存続を考えると、合併しないほうがよかったのではないかと感じる。役場が地域経済を支えているような規模の小さい自治体は、デメリットのほうが大きかったのではないかと。 ・行政が費用対効果を強調しすぎると、活動は中心部に集約され、周辺部の活動はなくなってしまふ。	・現在、同一自治体内に複数の商工会が存在しているが、商工会の合併には反対である。商工会は事務処理も担っているため、その地域に指導員がいなくなることは避けるべきだと思っている。 ・循環バスの利用者は多く、近隣自治体と比べても充実しているが、もっと周辺部まで行き渡るようなルートにしてもらいたい。 ・若い人達との意見交換の場を作してほしい。	・行政からの委託によりデマンドタクシー事業を実施しており、この事業費で2名の職員を雇い、商工会の一般事務も行うことができるので助かっている。 ・レンタサイクル向けのサイクリングマップを整備すべき。(自治体で作成予定) ・トンネルが狭く、霧が発生して見通しが悪い道路があるため、改良あるいは新道の整備を望む。 ・農村・漁村民宿等を活用した体験学習事業をもっと実施すべき。	・現首長は住民との懇談会を頻繁に行っており、住民の意見や要望は十分に聞いていると思う。 ・組合員が高齢化し、後継者がいないため、正組合員は減少している。 ・農業を含めて、働く場の確保が重要であるため、農協としてもパートが多いが職員数は増加させている。 ・旧自治体単位で農協の支所があるのが望ましいが、信用事業を継続させていくためには、職員数の要件を満たさないといけないので、支所の統合はやむを得ない。		

団体	農業団体-2	農業団体-3	農業団体-4	農業団体-5	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> 合併前は、複数自治体に補助金申請をしていたが、合併してその申請先が1か所済むようになった。 農業基盤整備が進んだ。 農業振興に対する考え方が統一でき、事業がやりやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 利子補給等の補助事業について、合併前は旧自治体単位で別々に提出していた書類が合併後統一されたので、書類作成が簡略化できた。 どの支所でも住民票などを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> より大きな自治体として意見が出せるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併前は、地域によって施策のばらつきがあったが、行政が合併することで、現在は効果的にタイアップできている。 合併して業務区域と行政区域がほぼ同じになったので、要望がしやすくなった。 合併後、県、市町、農協が同じ事務所に集まり、農政課題に対する総合的な支援体制づくりが強化された。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> 特になし(補助制度等の変更なし) 	<ul style="list-style-type: none"> 農協としてのデメリットは感じていない。指定金融機関を外れてしまったことぐらいではないか。 合併して広範囲になったことで地域の要望が伝わりにくくなった。 合併前より敬老会等の補助金が少なくなった。 合併前から原材料等の現物を地域に支給して農道整備等を行う事業を実施しているが、中心部の旧自治体のやり方に合わせたため、周辺部では書類作成が煩雑となった。 地域のイベントが縮小されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政区域と農協支所等の営業区域が一致していないため、事業補助手続等対応に困ることがある。 以前はいろいろな物事の話が旧自治体内で終わっていたが、今は本庁まで行かないと話がつかない。レスポンスが悪すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧市町村時代に重点的に行っていた施策がなくなった。 昔は長年同じ職員が窓口だったが、広域化し、窓口職員がよく変わり、組合員から疎遠になったとの声がある。
	(3) 市町に望むこと			<ul style="list-style-type: none"> 地域事務所にある程度の人員及び権限を持たせてもらいたい。時間的、距離的な問題を解決する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政には、本組合の主力農産物を重点的に支援いただいているので、より一層取り組みを進めてもらいたい。
2 今後市町に望むこと	1位	9	7	2	5
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> 農家所得の向上のため、大規模農事企業で取り組んでいるような加工場の誘致を望む。カットフルーツの需要もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働力が足りていないので、作業支援事業があればよい。 農業機械の更新にはかなりのお金がかかる。スポット的な補助事業があればよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域事務所への人員増(増やすべき人員は増やさないといけない) 	<ul style="list-style-type: none"> 人口が減ると、事業展開が困難となり、また、後継者不足の問題等があるので、今後市町には人口減少を食い止める施策を望んでいる。
	2位	7	5	3	7
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> 後継者の育成のためには、生産者価格が安定し、所得が安定しないと育たない。米の価格が、他の生産物や嗜好品と比較して安すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺部は高齢化がかなり進んでおり、移動手段がなく、食料を買うことが難しくなっている。移動販売車など実施したいが、単独では難しいので一部でも補助があればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道料金は高い方の料金に合わせるのではなく、できれば低い方に合わせてもらいたい。 	
3位		9	5	1	
具体的な提言		<ul style="list-style-type: none"> 病院、老人ホーム、介護施設を誘致してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベント等を行う場合には、住民と行政が連携して取り組む必要があるため、今以上に公民館の充実をお願いする。 		
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 支所機能の充実はやってくれている。合併したのだから、効率化を図るため、ある程度の機能縮小はやむを得ない。細かいところはやる必要はない。 地域格差についての指摘をよく耳にするが、具体的には何も無いと思う。 空き家や耕作放棄地が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活用できていない埋立地に、人が集まる施設を誘致してはどうか。県の施設でもできればよいのだが。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービス(ごみ収集等)の低下が進んでいる地域では、特にお年寄りにしわ寄せがいつているので、今以上のフォローをお願いする。 農協では、農協合併後に改めて地域重視の流れがおこり、過疎地域等への人員配置が見直されてきているのだが、今後、自治体がどの方向(一層の減少又は人員増への見直し)に進むのか、非常に気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併に先行して農協が合併し、続いて行政が合併したので、合併に伴う行政区域の変更には違和感はなく、抵抗は少なかったと思う。 行政は、職員の削減等効率化を図っており、合併の効果は現れていると思う。 市町には、高齢化、離農による耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害、後継者不足の問題等に取り組んでもらいたい。 	

団体	農業団体-6	農業団体-7	農業団体-8	農業団体-9	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果		<ul style="list-style-type: none"> 行政と協力し、旧市町村時代はなかったイベントが実施できるようになった。 雇用促進会議の委員等に就任し、行政との関係が密接となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併より前より広域での農協合併をしており、支所としては市町村合併後、生産者への補助金等事務の対象が複数自治体地域を抱えていたのが1団体になり、事務が軽減された。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> 中心部の旧自治体は、法人化や後継者の育成等様々な施策に取り組んでいたことから、その延長上にあるが、周辺部では中山間地域でありながらその対策がなされていないところがある。 同一自治体内でありながら、生産作物や農協エリアの違いで農業施策が異なっている。 合併前から旧自治体単位で農業振興のための基金を持っているが、支所の職員の異動により有耶無耶になってしまうのではないかと危惧している。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政に先行して農協は合併したが、同市内に2つの農協となった。 旧市町村の頃は首長と会うことも多かったが、合併後は会う機会が減り、また、行政との関係が希薄となった。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体内に農協が複数あり紛らわしい。 旧市町村の頃は本庁が遠くなったとの不満がある。 周辺部からは本庁が遠くなったとの不満がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業資金助成に係る優遇利率の適用において、最も高い利率に合わせる事ができなかったため、利率が低くなった地域の生産者から苦情が出た。
	(3) 市町に望むこと		<ul style="list-style-type: none"> 行政と連携し、相談窓口を設置し、耕作放棄地の管理、土地の有効利用等を促進したい。 		
2 今後市町に望むこと	1位	7	5	5	2
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消をもっと進めてほしい。 観光振興の中で、農協施設も活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政と連携し、耕作放棄地の管理を行う。 農道が狭く、大型機械が通れず、作業効率が悪くなるため、農道を拡張する。 	<ul style="list-style-type: none"> 農協が何をしているかを農家以外の人に知ってもらいイベント等を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 支所の空きスペースを企業誘致や地域コミュニティの場として活用すべき。
	2位	9	9	7	5
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> 後継者の育成にもっと力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業(工場)誘致 企業をアピールする場の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 一部の地域でしか販売していない商品の販路拡大を支援してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の生活の安全確保と行政の効率化を進めるためには、集落単位での集団移転を検討すべき
3位		11	10	9	
具体的な提言		<ul style="list-style-type: none"> 職員数を増やすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺部にはスーパー等が少なく、また、買い物に行くためのバスの本数が少ないため、交通網を整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の立地条件に合う企業を誘致する企業誘致創設課を設置してはどうか。 農協も住民減少に応じて支所の統廃合を検討する時期にきている。 	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 二車線道路の整備を継続してほしい。 少子化対策や鳥獣対策は、取組みを加速させないといけない。自治体職員も危機感を持ってすぐに取り掛かれないと手遅れになる。 過疎対策として集団移転の検討も必要である。 人口減少問題に対しては、地域を指導できる人材を育成しないとイケない。 赤字の購買店舗がたくさんあるが、組合員のためぎりぎりまで継続するので、行政にも力を貸してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 道が暗い箇所があるので、街灯を整備してほしい。 空き家の管理・対策をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農者のため、現行の補助金を維持・拡大してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 過疎・高齢化により地域独自の伝統や文化が衰退していくことが懸念されるため、住民と協働してビデオなどに記録し後世に伝承する取組みを考えてはどうか。 	

団体	農業団体-10	農業団体-11	農業団体-12	農業団体-13	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・事務が簡素化された。	・旧自治体間で制度が異なっていた補助金等の申請が一本化され手続きが楽になった。 ・合併後は農業担当課が独立し(以前は水産関係と併設)本庁一本化され、農協職員や県の普及員も加わった支援センターも立ち上げ、特産品目への補助金制度創設等、農業への支援体制が強化された。(※現在、県の普及員は離脱)	・合併前と比べて所管エリアの市町村数が半減し、行政への各種手続等の事務作業が減少し、合理化が図られた。	
	(2) 合併の課題	・合併後も農業関係の助成は手厚くしてもらっており、合併したことによる事業活動への大きな影響はない。しかし、行政区域と支所・出張所の営業区域が異なるため、支所と出張所で助成制度に差異があり、対応に苦慮することがある。 ・支所に産業課の機能がないため、事業の関係はすべて本所と話をしなければならぬので、多少不便になった。合併前は、防除等のお知らせなど、防災無線の使用について融通をきかせることができた。	・夏祭りが1ヶ所に集約される等、地域の伝統行事がなくなりつつある。 ・市町村合併により、もともとその地域にあった個性が薄れる。 ・市町村合併まで、農協は周辺自治体の指定金融機関であったが、合併により、元々指定金融機関になっていなかった自治体と合併した地域において指定金融機関から外れた。 ・市町村合併により首長が地域の行事に参加することが難しくなった。	・一次的な支所の対応(初動)は早いですが、決裁権が本庁にあるものについては決定までに時間がかかる。(以前は、支所(旧自治体)で完結。) ・合併直後は役場職員が地元以外に配置されることが多かったため、合併前と同様の対応ができず住民から不満があった。(地元出身の特定職員へ相談が集中。なお、現在は地元への配置もあり、ほぼ解消している) ・学校、病院等の利用の便を考え、中心部に転居する者が多く、周辺部が衰退している。	・合併前であれば1自治体1農協であったため、行政と農協が密接に連携していたが、そのような深く入りこんだやり取りができなくなった。 ・地域活性化の面では、周辺部が衰退したと感じる。
	(3) 市町課題に望むこと	・農協は、合併自治体の指定金融機関に入っているため、一部に元々指定金融機関があった自治体を抱えて合併した隣の自治体も検討してほしい。			・特になし。合併自治体ではトップセールスなど農業施策が手厚い。
2 今後市町に望むこと	1位	11	10	9	7
	具体的提言	・農地と生活環境の保全・改善に力を入れてほしい。 ・域内に働く場所がないので、域外へ通勤することを前提に、家賃を安くして若者の移住促進を行う。また、通勤の障害となる峠の凍結対策をしてほしい。中心部へ通勤するためには、4WDと冬タイヤが必要となる。	・中心部から離れた所では、人口流出が懸念されるので、何らかの方策を検討してほしい。	・農業従事者の確保をしてほしい。 ・新卒者等の雇用の場を確保してほしい。(大企業の撤退が打撃になっている。)	・農林水産業の振興(1次産業で生計立てれるよう)、農業後継者の育成、鳥獣被害対策
	2位		4	7	5
具体的提言				・過疎地では農協の店舗が重要なインフラ(ライフライン)を担っており、そういった意味での農協組織への行政・住民の協力	
	3位		9	4	9
具体的提言		・地方で、就職口と言えば、役場・農協・銀行・商工会等しかない。地元出身の長男・長女等は優先的に、こういったところに就職できる方策を検討してほしい。また、松山市内に集中している施設を県の周辺地域に持ってくる等して、就職口を増やしてほしい。			・雇用の場ができれば、地域を守っていただける。(農家の廃園が多い。)
3 自由意見	・高齢化・過疎化により地域が衰退しているため、後継者や移住者の確保に力を入れてほしい。このまま過疎化が進めば、農協(出張所)の撤退もあり得る。		・国道沿いの雑草が放置されているため、見通しが悪く危険を感じる。通学路については父兄ボランティアで対応する方法もあり、地区活動を通じて機運を盛り上げていく必要があるのではないかと。	・日頃から行政の担当者とは意見交換等できている。 ・周辺部住民でも、一般のサラリーマンには合併による不利益はないと思う。 ・一般論として、小さい組織でも、切磋琢磨して競い合うことで生き残れる。 ・農協も経営が厳しいため支所の統廃合を進めているが、店舗やガソリンスタンドは過疎地域のライフラインを担っているため継続要望が強く、なるべく残している。金融店舗は統合を進めている。 ・周辺部在住だが、中心部でも戸籍等がとれるようになり便利になった。 ・公営汽船が民間になったのも合併の効果。	

団体	農業団体-14	農業団体-15	農業団体-16	農業団体-17	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併前と所管エリアが変わらないため、合併の影響はない。	・農協が市町村より先に合併しており、今回の合併によって変化はない。	・市町村合併以前から農協は合併していたため、合併前は各市町村にそれぞれ説明や補助金の申請をしなければならなかったが、合併により窓口が一本化された。 ・合併前より人の交流が盛んになった。合併前の市町村が、それぞれ同じような課題を抱えていたため、悩みや課題を話しやすく、交流も進んだような気がする。	・組織として、大きなメリット、デメリットは感じない。自治体の政策や農協に対する対応も偏りや不満は感じない。
	(2) 合併の課題	・合併前と所管エリアが変わらないため、合併の影響はない。	・一番大きな支店のあった自治体が合併して別の自治体(別の農協のエリアが多い)となったので、やり難い。 ・旧自治体では、指定金融機関となっていたが、新自治体では外れた為、金融営業面では下がった。	・合併前は、役場に相談に行っても、相談がしやすく、組織が小さかったためか、対応も早かった。現在は、手順を踏まなければならない、時間がかかるように感じる。	・組織として、大きなメリット、デメリットは感じない。市町の政策や農協に対する対応も偏りや不満は感じない。
	(3) 市町課題にむくこと	・特になし。合併自治体はブランドをつくってトップセールスもするなど、よくやっていたにしている。	・みかんは、価格が安定しないことがあり、高級みかんブランドの産地といえども後継者不足の問題があるので、支援してほしい。 ・収穫期のアルバイト募集や新規就農者への支援にも取り組んでいるが、都会(東京など)での求人や人的支援、農業体験を含めた新規就農者の確保に支援してほしい。 ・農業を観光資源に活用してもらいたい。	・交通網の整備により、人の流れがスムーズになり、交流が盛んになるなど良い面が多かった。さらに一体感が生まれるよう現在交通網の整備が不十分な周辺部との接続を行ってほしい。 ・旧市町村でバランスを取りつつよく言われるが、すべてにバランスを取りながら発展していくことは難しいと思う。旧市町村の意識をなくし、新市町全体としての発展を考えてほしい。	
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	3 ・各種料金については統一すべきである。(簡易水道がまだ統一されていない)	8 ・子どもの保育所の確保や、女性・高齢者の雇用の確保を考えてほしい。	7 ・基幹産業である農業に力を入れて欲しい。 ・地域にある試験所について、農協も協力するので、活用方法を検討して欲しい。	9 県と協力し、地域の主力作物の奨励品種の開発、改良を積極的に行い、農業を活性化させ、後継者不足、耕作放棄地の解消などを図ってほしい。
	2位 具体的な提言	4 ・サービス基準は吸収合併した中心部に全て合わせるべき。農協合併でも旧組織の手法を各地域で残していたため混乱が続いた例がある。農協では、当初から中心部農協の方式に統一している。	6 ・日本一の柑橘産地をもっとPRしてほしい。	8 ・歴史的な資源で地元の間も知らないものが多い。そういったものを活用して、基本理念である「住民が元気なまち」を実現して欲しい。	7 地方の祭りを利用して、地域間交流を図ったり、地域の連帯感を醸成できるのでは。まだ知られていない観光資源もあるようなので、積極的に活用、PRして地域活性化につなげてほしい。
	3位 具体的な提言	5 自治体が農林水産まつりを年1回実施しているが、住民ももっと協力しないとイケない。	7 ・段々畑を観光資源に活用してほしい。	5 ・現在地区ごとの行政懇談会が開催されている。小規模の地区単位で開催されており、住民の意見を行政に反映してもらっていると思う。現在のまま継続してほしい。	12
3 自由意見	・財源があるので、ゴミ、道路、介護など、きちんと対応している。 ・近隣自治体も団体の管内だが、そちらは一次産業に特化して力を入れており、更なる合併は不要だと思う。 ・過疎地域の店舗・ガソリンスタンド等のライフラインは残したいが、金融店舗は採算が取れず統合予定である。 ・合併し周辺部の行政サービスが悪くなったとの声を聴くが、そもそも行政サービスを求めすぎている。 ・小規模・財政の弱い自治体は今後も合併の余地はあるが、自主的に行わないとうまくいかないと思う。 ・農協は団体ごとに、主力作物の棲み分けができており、更なる合併は不要。	・当農協は、ほぼ特定作物専業である。また、高級ブランドとして、東京市場に特化している。野菜などが多ければ、学校給食に食育教育として提供できる部分もあるかもしれないが、そういったことは難しい。	・道端に落ちていくゴミを拾う人が少ない。きれいなまちづくりのために、住民の意識啓発をするような事業(条例の制定、ゴミ拾い運動など)を実施してほしい。 ・市町の財政状況が分かりにくい。複式簿記(貸借対照表やバランスシートなど)的な説明をするとか、一般の人にもわかりやすいようにしてほしい。財政が、安心できるものなのか、危機感を持って臨まないといけないのか、きちんと住民に理解させたいので、協力を求めるべきである。	・現首長は、公民館単位で懇談会を開くなど、住民と行政の協力、連携を図るための取り組みを行っており、評価できる。 ・農協と自治体が協力して、地物野菜などの販売促進も積極的に行ってもらっていると認識しており、感謝している。 ・自治体、農協、民間企業が連携して加工センターを立ち上げることとしているが、将来的展望について不安を感じる面もあるので、農協内部でもよく検討し、自治体とも協議していきたい。	

団体	農業団体-18	農業団体-19	農業団体-20	農業団体-21	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・農協のエリアとしては隣の自治体も含まれるが、合併によって、補助金申請や相談、連絡等において効率化された。 ・納税等の支払先が減少し、業務が省力化できた。 ・良し悪しはあるが、対応、サービス、行事などがある程度均一化された。 ・死亡診断書の手続きや納税証明書の取得等、本庁以外でも取扱いできるようになり便利になった。 ・介護保険関連の申請のほとんどが本庁でできるので、ケアマネージャーの業務が効率化された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前までは、他の農協と接触することはほとんどなかったが、新自治体内に複数の農協があることで、情報交換をするようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農協は市町村合併に先だって広域化を行ったものの、広域化後も各地域の個性が強く、組織として求心力が弱い状況にあったが、市町村合併によって各地域の意識が変わり、求心力が高まった。 ・市町村数の減少により、自治体を相手とする事務の量が減った。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支所の窓口の職員が減って、つながりが減るとともに、行動力が落ちたと感じる。農協もそうだが、きめ細かなサービスが低下した。しかし、農協は、決裁権限を支所に可能な限り下ろすなどしてスピードを重視している。 ・地域農業の振興、農地の保全、有害鳥獣対策について、合併前は地域の特性に応じて効果的に対応してもらっていたが、合併後は画一的になった。 ・農協女性部や青壮年部等の地域貢献団体へのかかわりが少なくなってきた。 ・介護保険料は同じなのに、民間施設の充実度により周辺部では受けられないサービスがあり、地域格差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体主催の会議に複数の農協が出席することがあるが、農協によってやり方が異なる場合があり、調整に時間を要することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農協の信用事業(金融業務)の資金繰りに関して市町村の指定金融機関となる(公金を預かる)ことが大変重要であったが、合併後は指定金融機関となるのが難しくなり、信用事業の資金繰りが厳しくなった。 ・合併当時の構想が実現されていない部分も多い。 ・特に周辺部で行政サービスが隔々まで行き届かなくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生活圏は中心部であるため、行政地区と農協地区の違いがあるのはいろいろと不便である。(同じ自治体の住民でありながら、場所によっては農協の違いで出荷できなかったりする) ・助成金等でカットになったものがある。
	(3) 市町課に題に対して	<ul style="list-style-type: none"> ・農協女性部等への活動支援(人的、金銭的)をしてほしい。 ・介護保険の民間サービスが少ないエリアは、行政のサービスを充実させてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援など、定住人口の減少対策を行ってほしい。 ・地域の一体感と帰属意識を醸成するような施策を行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業関係の手続きは大半は分庁でできるため、特に不便ではない。 ・合併で職員数が減少したことにより地域の細やかな意見が反映されにくくなった。
2 今後市町に望むこと	1位	10	9	11	9
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物弱者等の対策のため、市営の交通機関を充実させてほしい。 ・共働きが多くなっているため、学校行事を増やすとともに、放課後など参加しやすい時間帯に実施してほしい。 ・保育所や学童保育を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の選果機を導入することにより、雇用の増が図られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口の減少対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所の減少に伴い、若い人が自治体の外に出て行っているため、新たな雇用を創出する必要がある。
	2位	7	7	11	7
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前に取り組んでいた行事等を再検討し、地域の特色や資源を活かした取組・産業振興をしてほしい。 ・地域の夏祭りや農業体験等のイベントを農協と連携してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興のために、農業生産資材の購入価格を下げてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併の積極的な意義付け 	<ul style="list-style-type: none"> ・素通りされることが多いため少しでも地域に足を止めて、お金を落としてもらえようにするべきである
3位	2			6	
具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が減少したことで閑散とした印象を受けるため、コンパクトな事務所にして相談しやすい環境にしてほしい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・各行事への積極的な参加(特に若い人)。
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・大手企業の誘致など、雇用の確保にも力を入れてほしい。 ・農業基盤の整備に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員の生活維持のため、食料品等の配達に力を入れている。 ・周辺部の住民は、以前は松山市へ買い物に出る人が多かったが、合併後は新自治体の中心部に出かけるが多くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各自自治体が存続するためには、必ずしも団体の規模を大きくすることが必要ではなかったのではないかと。 ・市町村合併により、風土までが中心部と統一されているように感じる。 		

団体	農業団体-22	農業団体-23	林業団体-1	林業団体-2	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新自治体は山間部から海岸線まで広くあり、合併するまで、それぞれ農業のやり方が異なっていたが、合併したことにより農業政策が画一的になったと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部では合併前に比べ補助事業が充実した。考えられる範囲ではあらゆる補助を受けられている。 ・個人的には、旧自治体間の交流が深まったと感じる。 ・中心部の旧自治体で実施していた地域活動に対する助成制度(基金)が合併後周辺部でも実施され、助かっている。 ・無料の診察バスや、有料のデマンドバスの運行により、高齢者の足の確保ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に併せて森林組合も合併したことにより、活動エリアが拡大し、作業の効率化(森林の団地化)が図られるようになった。 ・活動が低調であった旧組合の地域では、森林組合が合併したことにより、森林整備が進むようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林組合の広域合併が市町村合併に先立って計画されていたが、諸事情により一部の合併が遅れていたところ、市町村合併が行われたため、各行政との連携の面から、当初の計画通りに組合も合併することができた。 ・市町村合併前は、1つの行政単位の1つの森林組合が存在する時期があり、今よりも行政との結びつきが強かった。 ・森林組合の管内の自治体数が合併により減少し、担当窓口が少なくなることで事務処理が簡素化された。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・合併するまで、そこで手続きが完了していたものが、できなくなった(スピード感がなくなり、余計に時間がかかるようになった。) ・農業政策についても、それまで支所とやりとりをしていたことが、本庁とやりとりすることがほとんどになった。 ・市町村合併以前は細かく手当てしてもらっていた部分が行き届かなくなった。 ・以前は農協が指定金融機関だったが、市町村合併により別の銀行へ移行し、公金の取り扱いが減少した。 ・支所では、働く職員数が減っているのので、周辺の飲食業に打撃を与えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部では予算配分のウェイトが下がった。 ・個人的には、総合支所方式となり、職員数が大幅に減少したことで、行政との距離が遠く感じられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧自治体毎にで主力産業の違いがあり、農業が主力である地域が中心となったことから、林業に対する補助事業が削減された。主力産業が同じ市町村と合併した方が良かったかもしれない。 ・支所に産業課の機能がないため、事業の関係はすべて本所と話をしなければならぬので、多少不便になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域に個別に存在した政策が、合併により継続されなくなった。 ・椎茸生産者への補助金がカットされた。 ・合併による工事の発注減により、積雪時の除雪が行き届かなくなった。
	(3) 市町村課に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・選果施設の更新に際して、補助してほしい(現在では、補助金の総枠も減ったので、そこまで補助されなくなった。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前の自治体ではハード面を重視して施策を実施してきたが、これからは先を見通した農政、例えば後継者の育成等に力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が主力である旧自治体内の農道は幅員が狭く、木材搬出のための車両が通らないので、林道整備のみならず農道の拡幅工事をしてほしい。 ・林業が衰退すれば、さらに森林組合の合併を求められることになるが、これ以上組合員との距離が遠くなることは避けたいので、林業振興を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併して、全体を統一化・平準化することも理解できるが、それぞれの地域に合った政策をお願いしたい(特産品目生産者への補助金復活、除雪作業等)。
2 今後市町村に望むこと	1位	7	7	8	
	具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> ・旧市町村単位でそれぞれ得意な農作物があるため、統一したブランド化は難しいが、新自治体としての特色を出せるブランドを作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の育成に力を入れてほしい。 ・「ターン者」に無償でみかん農地を貸与できるよう、みかんの木の伐採をする前に仲介してほしい。 ・農業体験から移住へ結びつける施策を実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在でも取り組んでいるが、更なる林業振興のため、国産材の需要を喚起する施策を実施すべき。 	
	2位	9	8	9	7
具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> ・農協が、原料を供給するので、隣で加工等できて商品化できるライン又は施設を作ってほしい(6次産業化)。それが雇用の創出にもつながる。 				
3位	10	9	10	2	
具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域の買い物難民に対する支援(デマンドタクシー等)をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一次産業を生かした観光産業を育成して、雇用を生み出してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部は働く場所があまりないので、通勤することを前提に公営住宅等の家賃を減額するなどして、定住を促進してほしい。(空き部屋が多い状況) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単純にマンパワーを増やすということではなく、それぞれの機能に応じた拡充を希望する。 	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策、耕作放棄地対策を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎化・高齢化により現状維持が困難な状況にあり、共選の合併も考えなければならぬ。新規就農者は年1人程度。 ・農協合併の効果としては、周辺部の農作物を新自治体ブランドで出荷できることとなり、単価が上昇した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域産材をもっと活用できる体制を作ってもらいたい。 	

団体	林業団体-3	林業団体-4	林業団体-5	林業団体-6	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・森林組合としては特にならない。 ・地域の声を聴いてくれるようになった。 ・理事者が地域のために積極的になっている。 ・CATVの整備により情報格差がなくなった。 ・あえて言えば合併をしてよかった。	・市町村合併により管轄区域が広がり、森林資源も増加し、組合としても活動しやすい。	・合併したことにより、一か所の手続きで済むようになった。	・市町村合併に伴い森林組合も合併し、事業規模・種別の拡大により経営基盤が強化された。 ・補助の申請先が1つの自治体になったことで、事務の効率化が図られた。
	(2) 合併の課題	・漁業中心の中心部の旧自治体は林業に対する理解がなく、漁業や農業に比べて補助や施策ができていない。森林は、林業だけでなく多面的な効果があるにもかかわらず職員及び議員に理解がない。 ・首長をはじめ、地域のことを考える職員が増えるのはいいが、一方で地域の声の聴き過ぎている。(過剰対応があるのではないか) ・旧自治体毎の体質が抜けていない。(職員の対応にバラつきがある)	・管轄区域が2自治体にまたがる状況は改善されず、所在する自治体によって対応が異なる。 ・管轄区域が増えたことにより、中心部にある本部からの移動範囲がより広範囲になった。 ・本部から離れた地域において組合員数の低下がみられる。	・合併により本庁が支所となり、不便となった。 ・森林組合の合併後、区域の一部が他市町となり、分裂することとなったが、出資金を返さないといけなくなり、多額の出費となった。 ・昔は赤字を補填してくれていた。	・事業種別が大きく異なる組合が合併したことで、お互いの業務について理解が出来ず、職員間の意思疎通が十分に図れておらず、特に高齢の職員は人事異動ができない。
	(3) 市町課に題にむくこと	・森林林業を理解し、予算を増額してほしい。 ・森林林業の担当課には、積極的に取り組んでもらいたい。(県森林局からも町へ指導をしてほしい。)	・管轄する隣接自治体との公平感を保った山林行政の推進。	・組合は自立すべきであり、行政に頼り切ってはいけないが、赤字を補助してほしい。	
2 今後市町に望むこと	1位	11	11	7	2
	具体的な提言	・支所の機能を縮小してほしい。 ・特に土木関係においては、各支所の事業担当をなくして本庁で一本化し、担当地区を決めるべき。農林業や水産業の一部ではそのようにしている。	・山林においても国土調査を実施し、境界整理を進めてほしい。 ・山林の資源(木材・水)を確保するための施策を推進してほしい。	・モデル住宅を整備・充実させてほしい。	・支所では顔見知りが減ったことで、意思の疎通が十分にできなくなったと感じているため、住民とのコミュニケーションを充実させてほしい。
	2位	8	7		6
具体的な提言	・目標を実現するため積極的に動いてほしい。	・地元産材を使うようなシステムを整備してほしい。(育てる林業から使う林業への転換)また、施工の際は地元工務店を使ってほしい。(地元産材の流通促進)		・地域毎には盛り上がっているが、自治体全域を挙げての新たなイベント(運動会など)を実施して、一体感を醸成してほしい。	
3位	6	9		7	
具体的な提言	・理事者が、人事異動や事業において旧自治体単位で考慮し、遠慮しすぎている。	・林業・農業従事者の労働力不足を解消するような取組を進めてほしい。		・農林業の活性化を図ってほしい。	
3 自由意見	・一部のものだけの意見を聴くということがないように補助事業等において各団体を公平にみてもらいたい。	・組合としては、管轄する2自治体の合併が理想と考えており、行政が統一した見解のもと支援してほしい。 ・鹿害対策に取り組んでほしい。	・行政が合併した方が、組合としてはよかったと思う。 ・旧市町村の役場の一部を安く借り、組合の支所としている。	・合併して寂れたという声をよく聞くが、合併してもしなくても過疎化は変わらないと思う。 ・周辺地域への幹線整備について、2車線道路の方針を見直さなかったことから、全線開通までに長期間を要したが、途中で1.5車線化に変更してもらえばもっと早く便利になっていた。 ・周辺部においても伝統文化を継承するよう努めなければならない。	

団体	林業団体-7	林業団体-8	林業団体-9	水産業団体-1	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> 一つの旧自治体が行っていた伐採に対する林家助成を、合併後、合併自治体全域に拡大してもらったことで、他の旧自治体地域の林家が積極的に間伐等を行えるようになり、それに伴って森林組合も経営が安定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併により活動できるエリアが拡大した。 補助金等が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし(支所をなくすぐらいの方が、合併の効果があったのではないかとこの意見があった。) 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> 合併当初は、本庁の職員の林業に対する理解が乏しかったが、人事交流が進み、周辺部の旧自治体職員も本課に配属されるようになって徐々に事業が活発になってきた。 合併しても何もいいことはないという声が多い。地域事務所に対して、住民から要望や質問をしてもすぐに返事が返ってこないことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧自治体単位の派閥等が合併後も残っていたため、活動に支障をきたしていた。現在は解消済み。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併前にはもらえていた補助金が減少した。 広域になって、行政サービスが低下した。 合併による工事の発注減により、林道の維持修繕が行き届かなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> メリットがよくわからない 合併後、上から目線でものを言う職員が多くなり、要望等に対しても対応が悪くなった。 水産関係の積極的な指導が全般的に少なくなった。 窓口の事務そのものは変わっていないが、地元以外の職員が増えて、地域に対する意識が薄くなった。
	(3) 市町課に望むこと		<ul style="list-style-type: none"> 支所にも最低限の人員は残してもらいたい。 特に、林業系の職員を充実させてもらいたい。(すぐに異動させるのではなくある程度長く担当してもらいたい) 	<ul style="list-style-type: none"> 林道の管理(維持修繕)に関しては、できる限りの支援を望む。バイク事故が発生したこともあり、また道幅が狭い箇所には救急車が通行できない等の弊害がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 血の通ったきめ細かな対応をしてほしい。 漁協が行うイベントへの助成を復活させてほしい。平成19年以降、補助金の見直しにより段階的に減らされてきた。
2 今後市町に望むこと	1位	5	9	9	7
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ある周辺部地域では、森林組合は農協よりも住民との関係が深いのが、行政と住民がもっと連携して地域を活性化するべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体は大きくなったが雇用の場は増えていない。外に人が出ていくのを食い止める必要がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 一次産業の販売体制の強化を図ってほしい。 支所に水産課を設けてはどうか。
	2位	9	7	11	9
	具体的な提言			<ul style="list-style-type: none"> 現在、報道等で空き家の問題がしばしば取り上げられているが、移住者の受け入れに活用できないか。また、空き家を安い家賃で賃貸する等検討をすれば、都市部への通勤も可能であるし、若者の流出に少しでも歯止めがかかれるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 水産加工・販売会社の誘致による雇用の創出
3位	7		6	5	
具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> 林業の新興 				<ul style="list-style-type: none"> まちの生活環境の美化を図ってほしい。廃屋・空き家も多く、今後もっと増えていく。
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 合併により、周辺部の旧自治体職員が中心部に住居移転するなど、過疎化が加速しており、空き家や更地が増えている。 		<ul style="list-style-type: none"> 後継者が不足しているため、後継者の養成に関して、行政にも協力してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 議員定数の減により、相談する人がいなくなり、漁業振興の施策に関する声が届きにくくなった。議員定数の減はメリットを感じない。 職員数を削減するばかりでなく、民間団体の業務に携わらせるべきである。例えば、漁業者の青年団体では、事務局から自治体職員が撤退したことで、事務を行う者がおらず、青年漁業者の集まりや水産祭りへの出展がなくなった。 	

団体	水産業団体-2	水産業団体-3	水産業団体-4	水産業団体-5
1 合併の影響について	(1) 合併の効果 ・漁協自体が合併していないため、特に影響なし。	・漁協自体が合併していないので、特になし。	・旧自治体より、合併自治体の水産課職員の質がよかった。 (他の旧自治体職員がよく動いてくれる。) ・旧自治体地域同士との交流ができた。 ・窓口の住民サービスが良くなった。	・水産課職員の資質が向上し、職員が汗をかいて積極的に取り組んでいる。 ・人件費や無駄遣いが減った分が、住民サービスに利用されていると思われる。 ・当漁協においては、特産のブランド化など、してもらい過ぎではないかと思うくらい支援してもらっている。
	(2) 合併の課題 ・同じ自治体内にある漁協であるにもかかわらず、漁業関係施設の整備に偏りが生まれている。	・以前は支所で仕事は済んでいたが、今は本庁まで行かないと何もできなくなった。 ・合併が直接の原因という訳ではないが、組合員数の減少、高齢化が進んでいる。	・やむを得ないと思うが、補助金の額が減少した。 ・若者が中心部に出て行っている。 ・地域から出る議員がいなくなり、要望が伝えにくく、行政を身近に感じなくなった。 ・支所は近いが、本庁に行くことが多い。 ・住民票等の取得について、車を利用できる人は問題ないが、利用できない高齢者等は不便になっている。(公民館で取得できるが時間がかかる。) ・人口減少により、費用対効果が期待できず、公共事業も減少している。 ・過疎化が加速したように思う。	・特に旧町村において、漂着ゴミの処分や簡易なけがれ等への対応が遅くなり、住民サービスが低下したと思われる。
	(3) 市町課に望むこと ・それぞれが共同で施設が使用できるように、自治体域全体の産業振興と捉えて漁業施策に取り組んでもらいたい。	・地域事務所及び支所への人員配置をもう少し考えてもらいたい。	・合併前に廃止した保育所を復活し、若者が地域に残って子育てができるようにしていただきたい。(現行の小学校も統合しないでほしい。) ・元気な高齢者がたくさんいるので、様々な場面で高齢者を活用すべきである。特に、子育ての協力をしてもらってはどうか。(現在も小学校の釣り大会等には老人会が参加をしている。) ・金額はかかるが、子育て世代用の公営住宅をつくり子育ての支援をしてはどうか。(空き家が多くなっているため、それらの一戸建てを利用してもよいのではないか。)	・特になし(財政状況が厳しいため、やむを得ない部分あり)
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言 ・第一次産業中心にトップセールスで販路拡大してほしい。 ・漁業は小魚が多く県外への販路は難しいので、付近の県内へのルートづくりも大切。 ・有名な民間業者のある地域の印象が強い加工食品について、行政が中心となって加工施設を建設するなど、自治体全体の名産として売り出す。	2 ・もう少し地域事務所等の権限を増やし、人員を増やす。 ・地域住民の利便性を考えて、各種証明書等の発行が土日でも地域事務所や各支所でするようにしてもらいたい。	8 ・産業振興に力をいれていただきたい。特に水産業をお願いしたい。(水産業が発展することで自治体全体への相乗効果もあるのではないか。) ・補助金の増加(漁港の整備が遅れているので)	7 ・水産業の振興 ・食材のPRができる「道の駅」の移転を含む新施設の建設(埋め立て地を利用) ・今ある食材に付加価値をつける。
	2位 具体的な提言 ・人口減少の解決策としては外からの移住が有効策だと思うので、移住してきた人へ特典を与えるような施策を考える。	5 ・地域活性化のための新しいイベントに、もう少し助成をお願いしたい。すべてのイベント助成の均一化が必要。	10 ・地域の特徴を生かして、各地域がパランスよく発展するよう配慮してほしい。 ・権力者がいる地区だけが良くなるということはやめてほしい。	9 ・地元海産物を活用した回転寿司屋の誘致し、雇用を確保してほしい。漁協で経営できればよいが、現段階では難しい。 ・費用が掛かるが地元の魚をアピールする水族館の建設
	3位 具体的な提言	3 ・水道料金などを統一するのは良いが、やはり高すぎる。もう少し値下げを行う必要がある。	2	5 ・住民が自発的に動かなければならない。住民が動くことで、基礎自治体や県をまきこんでいけば地域が活性化する。(動かずに行政のせいにするのは間違っている)
	3 自由意見	・組合の課題や要望を聞く機会を年1回でも設けて欲しい。 ・自治体内の漁協の将来的な合併に向けての取り組みと一体的なハード整備への支援をお願いしたい。 ・大規模商業施設で地元食材使い、地域を感じられる商品を作ってもらいたい。 ・資源保全のため漁獲量制限は大切だが、複数の漁協がある中、単独で対策しても効果が無いので、一体的に行えるような調整が必要。	・地域活性化の方策として、廃小学校を活動の中心施設として利用する。 ・役所のどの部署に相談に行ったらいいかわからない(変わった名前:未来づくり戦略室、ブランド推進課など)、もっと相手の身になって話をしてもらいたい。 ・周辺地域の者としては、新庁舎の建設場所をもう少し考えてもらいたかった。(車で行く時に便利な所) ・高齢者にとって周辺地域は、交通の便が悪いので、何か改善策が必要。 ・自治体内の漁協同士の連携等は、行政が合併したからどうこうということは何も無い。以前と同じ。	・少子高齢化対策のため、子育て支援を充実し、人口減少に歯止めをかけてほしい。 ・若者の定住促進を進めるべき。 ・一次産業の発展のためには、消費増加が必要。 ・業者ごとに商品の質が違うため、エサやり等の基準を作成し、業者の底上げが必要。 ・現在の道の駅は、トイレが全て和式である等、全体的に清潔感が足りない。

団体	水産業団体-6	水産業団体-7	水産業団体-8	水産業団体-9
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・要望先が新自治体に一本化され、要望しやすくなった。		・合併の効果は現時点ではなし。(自治体が大きくなり、知名度はアップした。)
	(2) 合併の課題	・合併前に比べて漁港の修繕等が迅速に対応してもらえなくなった。合併前は職員も親身になって相談に乗ってくれていたが、今は行政の立場、マニュアル通りの発言が多く、細かいところまで目が行き届かなくなっているのではないかと。支所の職員の資質も落ちているのではないかと思う。 ・補助事業が少なくなっているように思う。	・合併前に比べ、補助金がカットされた。 ・観光事業の予算が三分の一になった。 ・予算が少なくなったため、要望が通りにくくなった。	・合併したことにより、地域のことをわからない人が担当になることがあり、基礎的な知識(共通認識)がないため、なかなか状況が伝わらず理解されない。それに伴い、手間が増え、対応に時間がかかるようになった。 ・水産業は、もともと隣りの旧自治体との繋がりが強かったが、別の地域と合併し、行政地区が変わったことで、これまで通りの取引が難しくなった。
	(3) 市町課に題にむくこと	・基礎自治体が管理する部分である漁港の街灯等の修繕を迅速にしてほしい。 ・建物や施設等の改築に係る手厚い補助を望む。現在6割が持ち出しになっている。	・うまく観光PRできていないので、地元食材を使った食文化として積極的にPRしてほしい。	・中心部にあるような道の駅や産直市を周辺部にも作り、地域活性化につなげてほしい。 ・水産業に力を入れ、水産物を取るだけでなく、加工、販売まで行い、特産品として売り出す策を実施してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	11	1	7
	具体的な提言	・燃料費の高騰で漁業経営が逼迫しているため、補助を手厚くしてほしい。 ・船の修繕等のために低金利の貸付け制度がほしい。 ・魚の消費が減っているため、大きなイベントを開催し魚食普及をしてほしい。 ・自治体全体でのイベントがないので、漁業祭と農業祭などのイベントを開催してはどうか。	まだ職員が多いので、支所に機能・職員を移して、もっと削減すべき。	広い漁業権を活用し、6次産業化に取り組む。
	2位		3	9
	具体的な提言			・加工場がないので、加工場を整備し、6次産業化する。 ・地元の高校と協働して商品を考える。
3位		7		3
具体的な提言		今ある観光資源を多様な方向からPRしてまちづくりに活かす。		
3 自由意見		・合併して良かったという意見は少ないが、合併していなかったら、もっと悪くなっていたかもしれない。 ・合併で最も影響を受けたのは、農協だと思う。 ・公共料金等の統一は、各地域特色があり、また、高いサービスに合わせないといけないので難しいと思う。 ・宿泊施設が少ないので、千人規模で宿泊できる施設を作ってほしい。 ・もっと住民の意見を聞き、集約し、活用する目標を決めて事業を実施してほしい。	・合併してよかったと思う人はいないと思う。どうして合併したのかという意見がある。 ・中心部にはバスが動いているが、周辺部に高齢者が使いやすいバスがない。 ・当地域に病院はなく、また、介護施設は2箇所できたが、まだ少ない。	・農業等の他業種に比べて漁業者に対する行政支援が少ない。

団体	水産業団体-10	水産業団体-11	水産業団体-12	水産業団体-13	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・ケーブルテレビの視聴が可能になった。 ・役所の本所は中心部になったが、産業振興課(水産関係)は支所にあるため、団体の活動上は、不便は感じない。	・団体の活動においても、個人的な生活面においても、合併の効果は感じられない。漁協の合併が進んでいないので、余計にそう思うのかもしれない。	・市町や県には、漁業政策でよくしてもらっているが、合併したため良かったと感じることはない。	・特になし(市町村合併と同時期に組織が広域化しており、合併前後の変化が図りづらいとのこと。)
	(2) 合併の課題	・合併後は組織が大きくなったためか、重要なことは本所にお伺いを立てないと決定されない。物事が決まるのに時間がかかるようになった。 ・合併とは直接関係ないかもしれないが、フェリーがどんどん減便されている。総合的な医療機関や介護施設もなく、不便な生活が続いている。	・効果と同様、課題も感じない。	・この地域では人口が合併後、半分に減少している。合併しなくても人口は減っただろうが、地域に商店もなく、特に高齢者にとって生活が不便になったと感じる。	
	(3) 市町課に 対して	・支所にもう少し権限を下ろして欲しい。意思決定がもう少しスムーズになればよい。 ・周辺部をつなぐ交通網が早く完成してほしい。 ・地区懇談会に参加する人が多いということは、それだけ行政に対して要望がある人が多いということ。その人たちの意見を少しでも組み上げてほしい。	・現在の漁業政策については、県、市町とも不満はない。	・高齢者対策を充実してほしい。高齢化率も高く、離島という不便な生活環境の中で、高齢者が生活するのは大変である。	
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	2 ・支所の機能を充実し、物事の決定がスムーズとなるようにしてほしい。	6 ・まだまだ旧市町村の意識が抜けない。合併市町として融合できるような施策に取り組んで欲しい。意識改革はなかなか難しいようだ。	11 ・生活が、現状よりよくなるとは思えない。近隣の都市に行っても住んでいる場所を恥ずかしくて言えない。何とかしてほしいと思う反面、どうにもならないとあきらめることも多い。	7
	2位 具体的な提言	10 ・旧市町村それぞれ文化が異なるので、すべて平等にというのは難しいが、それぞれの地域特性を考えながら、発展できるような取り組みを考えてほしい。	11 ・同じような施設(交流館や交流センターといった集会所的な施設など)を旧市町村全てに設置しており、無駄ではないかを感じる。地域のバランスを考えているのかもしれないが、合併したのだから重複するような施設の建設は避けるべきである。	12	8
	3位 具体的な提言	9 ・若い世代、子育て世代が地域に定着できるような、雇用の創出に取り組んでほしい。	12		9
3 自由意見	・交通網の整備により、合併した地域が結ばれることに大きな意義があったと思う。交通網が整っていないと、合併しても住民の意識が旧市町村単位のまま、まとまりにくいのではないと思う。	・合併して行政の効率化を追求しすぎると、行政サービスが低下する恐れがあるので、気を付けて欲しい。		・管轄内の市町間で漁業振興に対する取り組みに温度差があるため、市町に対する要望の際は苦労が多い。市町が同じ目線で漁業振興に取り組んでほしい。 ・漁業においても後継者不足が深刻であり、雇用創出・子育て支援等の人口減少対策が重要であると考えている。	

団体	水産業団体-14	水産業団体-15	建設業団体-1	建設業団体-2	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・漁港・漁場整備の補助金が増額された。			
	(2) 合併の課題	・支所職員の減少等により、周辺部は衰退した。 ・合併前は旧役場、議会があったため、地元の声が届きやすかったが、合併後、議員の減少等により、地元の声が届きにくくなった。 ・漁協が市町村合併よりも広域で合併したため、活動範囲が複数の市町村にまたがり、要望先が複数となった。 ・合併後も旧自治体単位の行事が多く、一体感のある行事がない。 ・一部地域が重点的に整備され、周辺市町村が切り捨てられた。	・公共事業量の低下により、建設会社が約三分の一に減少し、支部の会員数も減少してしまった。建設事業以外の林業及び農業の事業に参入し、認定事業体として認定を受けている。幸い、森林組合の発注量が全国でもトップクラスであるため、林業で何とか経営を維持している。 ・建設課職員の出身地の比率が中心部1:周辺部9くらいと偏りが顕著に見える。 ・学校統廃合の結果、遠距離通学を余儀なくされた。交通網の未整備により1時間以上通学バスに乗車するといった支障がある。	・旧自治体内では入札に係る順位が上位であったが、合併したため順位が下がり、多くの工事で入札に参加できなくなった業者が出た。 ・予算規模の縮小により事業量が減少し、雇用規模も縮小せざるを得なくなった。 ・県との災害協定において、廃業等により事業者が減少したことで、受け持ち区域が拡大し、負担が増えた。 ・大規模災害時に、社員の多くは消防団に加入しているため、どちらを優先すべきか決めかねている。	
	(3) 市町課題に望むこと	・整備が進んでいない地域の道路整備をしてほしい。 ・漁業に対する支援を強化してほしい。	・工事の入札に関しても区域割りを無くした一元化を求めている。 ・国道の工事でも外部業者が入っているため、地域の業者の利用を国土交通省に要望している。	・利益の出る防災面の公共事業を増やしてほしい。	
2 今後市町に望むこと	1位	10	5	7	9
	具体的な提言	・子どもの関係で、近隣自治体に引越す人が多いので、地元に残るような支援(住居補助)をしてほしい。 ・農業には多くの補助があるが、漁業にはない。基幹産業である漁業を支援してほしい。 ・重要なポイントに絞って予算を使ってほしい。	・旧自治体単位での行事のみでなく、新自治体全体での行事をしてほしい。		・雇用の場の確保 ・企業誘致(具体的な業種等にはなし)
	2位		6	9	7
	具体的な提言			・後継者不足の解消 ・建設業、林業を続けるために、雇用の確保が重要。若者を雇用するためにはイメージも大切なので作業員ではなく会社員と表現するなど、イメージアップを図ることが必要。 ・総合的な事業を実施できる会社経営への協力。	・一次産業を活性化すれば公共事業も拡大するので、一次産業を振興してほしい。
3位		7	10	11	
具体的な提言	・六次産業の施設を整備してほしい。 ・県には異なる漁法で漁場が競合しているため、調整をしてほしい。			・高速道路の整備が観光客を誘致するためには必要不可欠である。 ・県立病院の医師の確保	
3 自由意見		・サイクリング振興は、大型トラックの通行の邪魔になるため、反対である。 ・柑橘の販売に対しては手厚いが、水産物の効果的な販売ができていない。 ・地球温暖化等による海水温の上昇など、環境の変化が漁業(魚の生態)に与える影響を調査して、漁民に情報提供してほしい。 ・貝類の漁獲が大幅に減少しているため、その原因も究明してほしい。 ・さざえやあわびなど、規格外(小さい)品が出回っているため、調査して取り締まると同時に、違反業者に対する罰則が軽すぎるので強化してほしい。(大分県は厳しい) ・高騰する油代への助成がほしい。	・職員の週休日が土日というのは理解できるが、例えば土曜日は各職員が地元の危険箇所などを見て回るなど、地元の為に使ってほしい。災害時の対応に関しても責任論だけではなく、住民の生命を最優先に行動することは言うまでもないが、利便性も考慮した臨機応変な対応を心掛けてほしい。	・廃校を活用して、グループホームを整備してほしい。雇用も生まれる。 ・街中へ出るための公共交通機関を整備してほしい。 ・農地法を改正し、農地5反以上保有していなくても、農地が購入できるようにしてほしい。 ・共有地は相続人が不明(たどり着かない)な場合が多く、公共工事の阻害要因となっているので、強制収用できるようにするなど何とかしてほしい。	

団体	建設業団体-3	建設業団体-4	建設業団体-5	PTA団体-1	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・行政経費の節減は推察される。	・合併時においては、公共投資が減少する一方で、会員数が増加し、団体としての勢いを感じたが、合併して仕事が増えるわけでもなく、また、公共工事の減少の影響を受け、その後会員数も減少した。	・地域が広がったことにより、活動範囲や交流が広がった。 ・旧市町村ではもらえなかった補助金がもらえるようになった。 ・学校の選択肢が増えた。 ・旧市町村の前向きな部分、良い面を見習っている。 ・教職員の異動範囲が広がり、交流が広がった。	
	(2) 合併の課題	・支所機能の低下(権限縮小)等の要因により、周辺部の住民の意見が行政に反映されにくくなり、隅々まで十分な行政サービスが行き渡らなくなった。 ・公共工事の減少により、建設業は経営が厳しくなった。これにより、特に周辺部で雇用の機会が減少し、定住人口の流出に拍車をかけている。	・本庁と支所との繋がりが分かりにくい ・支所に権限がないことが増え、手続はほとんどが本庁で行わないといけなくなり、中心地から離れている業者が不利になっているため、支所機能の強化が求められる。 ・仕事が減り、若い人がいなくなり、人口が減少するとさらに仕事が減る、という負のスパイラルに陥っているため、まずは若い人が働ける環境を作ることが必要。	・合併前に比べて周辺部の工事が減ってきている。合併前は各自治体が予算を持っていたが、合併後は予算がつかなくなった。 ・周辺部は建設業者が減っているため、大雪や災害の対応ができなくなってきている。	・合併後数年間は、学校数が増えたことによる事務やルールの変更・増加によるとまどいがあった。 ・支所に教育委員会がなくなり、本庁で手続きすることとなった。 ・合併により、旧市町村独自でよかつたものが無くなった可能性がある。 ・旧市町村の頃にあった行事(OB、OGが出身の幼稚園・保育園を訪問する行事)が無くなった。 ・人の出入りが激しくなり、地域と学校のつながりが希薄になった。
	(3) 市町課に望むこと	・支所の機能を強化してほしい。	・本庁は支所の集合体であって欲しい。本庁にすべてを集約するのではなく、各支所の機能を充実させてほしい。 ・県内他市町と比較しても、社会資本設備が遅れていることから、防災・減災対策のための基盤整備を含めた継続的な社会資本設備予算の確保と適正な利潤が得られる具体的なシステムの策定を検討してほしい。		・本庁だけでしかできない手続きを支所でできるようにしてほしい。 ・子どもとの交流、学校との交流を積極的にしていかなければならない。 ・旧自治体で設けていた、ストレスを聞く機会、取り除く取組みを行う。
2 今後市町に望むこと	1位	2	2	1	2
	具体的な提言		・支所単独で判断できる枠の拡大	・建設部門はだぶついているのではないか。	・支所のできることを拡充し、また、支所のでしかできないことを行う。
	2位	9	5	10	6
	具体的な提言		・一部の地域だけ発展するのではなく、全体で協力していくべき	・予算がないという理由で地元の要望がとれない。現状で周辺部の人口が減ってきているのだから、バランスの良く発展していないのだと思う。	・旧市町間の人事交流が進むような取組みを行う。 ・集客施設を周辺部に作り、人の行き来を活発にする。
3位	10	7			
具体的な提言		・伝統文化、自然の保護、調査			
3 自由意見			・若い人が発言できる機会を設けるべきである。 ・雇用を創設するといっても実際そうになっていない。具体的な施策を示してほしい。	・合併後、学校の統廃合が行われたが、合併により拍車がかかったとしたら残念なこと。	

団体	PTA団体-2	PTA団体-3	PTA団体-4	PTA団体-5		
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模公共工事により、交通手段が確保され、周辺部の活性化を図ることができる。一方で、小中学校の統廃合につながるがやむを得ない。 ・PTAのチーム編成ができなかったところが、小中学校の統廃合により球技大会等に参加できるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併により連合会も合併し、他地域との交流が増え、情報交換が頻繁に行われるようになった。 ・子供の交流も増え、競争心が芽生え、学業の向上にもつながっている。 ・予算規模が拡大したことで、例えば研修会の講師へ支払う謝金が多く確保できるため、より質の高い講師を呼べるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併併せてPTA連絡協議会も合併したことにより、参加する行事等の範囲が拡大し、交流の幅も広がり、人の繋がりもできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校のPTAにより構成されているため、合併により構成員が増え、活動資金も増加した。 ・構成員が増えたため、様々な地域のいろいろな人と交流ができるようになり、多様な意見が聞けて面白いと感じている。 ・会議をする場所を、自治体内各地域の持ち回りにしており、いろいろな地域に行くことにより、新たな交流や発見が生じる。 ・他の地域の人を地元と呼ぶことで、自分の地元を多くの人に知ってもらえる機会が増えた。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センターの統廃合により、給食がおいしくなくなった。例えば、近くに調理場があれば出来立ての温かい物が提供できたが、今はある程度の温かさの物しか提供できない。 ・学校の統廃合により、地域の運動会もなくなった。また、若い親の家庭が引越して、その地域は益々疲弊している。 ・学校に対する予算が減っており、暗幕やトイレの改修費用がない。トイレは、現在ほとんど家庭で様式を使用しているのに対して、学校は未だに和式のみである。小学1年生で、トイレに行けなくて泣き出す者もいる。 ・教師の異動サイクルが早くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧地区間の摩擦もあり、意見がまとまりにくくなった。 ・活動に当たって、多くの体育施設を利用することはできるが、申請書の様式が統一されていないため、それぞれ作成しなければならず面倒である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のエリアが広がったことに伴って、参加することによる負担(距離、回数)が大きくなった。 ・合併により周辺部では、人が減って子供の数も減少したため、学校活動及びPTA活動にも少なからず影響が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併により人、モノが中心部に集まり、中心部から離れている周辺部は何もしないといふ風になっていく。そのためにも危機感を持って声を上げ、積極的にアピールしないとダメだと思っている。 ・小学生、中学生の親としては、登下校時の安全面が不安である。小中学校の統廃合により、通学距離が長くなっているが、通学バスは減少しており、また、暗くなるのが早い冬期などは子どもの安全面から親が送迎しているが、その負担は大きい。それ以上に、送迎ができない家庭の子どもの安全面が心配である。 	
	(3) 市町課題にむくこと	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の維持・修繕に対する予算を増額してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の申請書様式を統一してほしい。 ・PTA大会を行う場所として、総合文化会館は駐車場が狭いので苦情が多いため、駐車場が確保できる文化会館で実施しているが、他にも大会を開催できる場所がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は地域活動を行ううえで中心となる場所なので、廃校等にはせず、できるだけ存続させて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生、生徒の安全面、利便性を考慮した政策を進めて欲しい。(通学路の安全性確保、バス停の整備、バス路線の運行継続など) ・地元の医師、病院の確保をして欲しい。周辺部では産婦人科、小児科が激減した地域もある。近隣自治体まで通院している人も多い。県外に通院する場合、就学前児童の医療費は無料にはなるが、とりあえず立て替え払いをして、事後請求をすることとなり、医療費が高額な場合、負担感が大きく、手続きも面倒である。 	
2 今後市町に望むこと	1位	9	6	8	11	
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・急激に児童数が減っており、一次産業の振興のみでは厳しい。例えば、水産大学の誘致をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併後、自治体全体を対象としたイベントは実施しているが、周知不足なのか全地域から参加しているとは思えないので、もっと一体感を醸成できる事業に取り組んでほしい。各地域で行っている文化祭は合併前のままである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供に係る医療費負担の軽減を進めて欲しい。 ・学校以外での取り組み(学童保育や放課後の活動等)の事業充実と、それらを行うための人材確保及び情報提供をお願いする。 ・給食費負担の軽減と給食への地域食材の調達を進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心身障害(児)者、特に発達障害(児)者等への対応を手厚くしてほしい。 ・近隣自治体に特別支援学校があるが、当地域から通学する児童や保護者の負担が大きい。 ・障害者に対する就労支援を行うとともに、雇用側へも積極的な障害者雇用を働きかけて欲しい。 	
	2位	7	8	5	12	
具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援のため、現在中学生まで入院は無料であるが、通院も無料にしてほしい。 ・少子化対策のため、婚活イベントを実施してほしい。(当自治体では未実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・10、20年後は子供が減少し、地域がどうなっているか保護者も心配なので、住民と行政が連携した活性化の取り組みをお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場の確保が住民の定住につながり、そして子供の増加へとつながると思うので、行政において働く場所、企業等の誘致に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。行政はよく頑張っているという印象が強い。(行政関係者と話すことも多く、内面の大変さを聞いている。) 		
3位	10	10	9			
具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺地域に、人が集う公共施設を整備してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併当初、周辺部は吸収合併の意識が強かったこともあり、バランスよく発展させてほしい。 ・上下水道の料金が未だに統一できていないので、統一すべきである。不公平感がある。 				
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代の子育てに力を入れてほしい。 ・周辺部の児童数の減少が著しいため、いずれ中心部を含めて校区割の見直しをすべきである。 ・通学路でもある集落の境に街灯のないところがあるため、行政にも対策を講じてほしい。街灯の維持管理は自治会でやっているが、人家のない地域まで街灯を設置すると維持費負担が重くなるため、自治会もそこまでやろうとしない。 ・支所機能に不便は感じていない。 ・小学校の児童委員の配置について、格差が生じている。 ・県内市町で観光振興に力を入れているところが多いが、本自治体も観光振興に力を入れてほしい。 				<ul style="list-style-type: none"> ・合併した各地域で行われている行事等の情報等を共有したいので、行政は情報の提供をお願いしたい。 ・それぞれの地域が連携することによって、より良い地域になると思うので、行政が中心となって連携を進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のPTA連合会の人と話をすると、合併して団体(行政エリア)が大きくなりすぎると、地域性の違いも大きくなり、意見をまとめるのにも大変であると聞いている。 ・当自治体は、以前から同一圏域として、おおきくゆるやかな地域のつながり、まとまりがあったので、まだやりやすかったのかもしれない。 ・現在のPTA連合会の人と人のつながりを大切にして、ネットワークの構築や地域のリーダー養成、今後の大きな課題となっている地域防災力の強化を図っていきたい。

団体	PTA団体-6	PTA団体-7	PTA団体-8	PTA団体-9	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果		<ul style="list-style-type: none"> ・中心部の旧自治体にあるNPO法人の職員が周辺部まで来てくださり、保育所に通う年齢以下のお子さんの面倒を見てくれている。 ・旧市町村単位の小学校間で交流ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区域が広がることにより、他地域のPTAとの交流が広がった。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部からは本庁が遠くなったとの不満がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併以降、中学校の統廃合が進み、校区となる地域が広がり、人との繋がりが薄れている。 ・中心部以外では、合併を機に学校の統廃合が進むと予測して、子供のために隣の自治体に転出した住民もいる。(自治体内中心部では中途半端) ・通学用の駅から家までの距離も、山間部という事でかなりあり、送迎が必要不可欠となっていることから、共働きすることが困難な状況となっている。 ・合併により役場の組織は大きくなったが、職員の削減により地域への人的支援が減り、地域活動にも影響をきたしていると考ええる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校を統合することにより、従来よりも規模の大きい中学校となったため、生徒の細かな部分まで先生方の目が届かない面もある。合併がなければ、中学校の統合は考えられなかった。 ・医療や福祉が削られ、合併により周辺部からの人口流出は拍車がかかったと感じている。 ・児童クラブの職員には資格が必要となっているが、周辺部ではそのような資格に拘っていなかった。中心部と合併して、中心部のルールに引っ張られることにより周辺部では対応に苦慮していることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲が広範囲となったことにより、総会・役員会等の会議開催が困難となった。また、顔見知りが少なくなり、活発な議論ができなくなった。 ・支所職員の減少により、サービスが低下したと感じる。 ・教育委員会との距離が遠くなり、声が届きにくくなった。
	(3) 市町に望むこと		<ul style="list-style-type: none"> ・若者が過ごしやすいまちづくりを目指してもらえれば、高齢化・少子化の悪化にも少しは歯止めがかかるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在もある旧自治体単位での小学校の交流をもっと拡充してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会とPTAの連携を密にしてほしい。 ・PTAから市町に直接要望できる機会を作ってほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	11	9	6	11
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間部の小学校、保育園の維持のため、少子化対策、定住促進施策の充実。 ・安全確保のため、歩道の幅員拡張等による通学路、自転車道の整備。 ・街灯の増設、防犯カメラの設置等防犯対策。 ・企業誘致等による就業場所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進 ・職員数を増やす等して、地域の特色を活かせるような知恵を出してもらいたい。(高齢者の生き甲斐等を支援する形で雇用を生めないか。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併した自治体の良さや特色を自治体外の人は勿論、住民もよく知らない。旧自治体ごとの良いところをもっと住民に知ってもらおうべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町に直接意見を言える場を作る。
	2位		10	8	
	具体的な提言			<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について、医療費は小学校6年生まで無料となっているが、可能ならば、無料となる年齢の更なる引き上げをお願いしたい。 	
3位		2	10		
具体的な提言		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んだことで支所にすら行けない住民がいる。地域の集会所へ職員が外向くなどして意見を伝えられる場を設けてほしい。 ・支所に面識のない職員が多く高齢者が入りづらくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部でも一部の路線バスがなくなるなど、公共交通機関がなくなっている場所もある。非常に難しい課題だが、バンスよく活性化を図ってもらいたい。 		
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・合併に伴う校区の変更や統合はなく、団体事務も変わらないため、合併の影響はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、公民館運営への自治体職員の協力をお願いしたい。地域で引き受けるにも高齢者ばかりで、仕方なく役職を引き受けたとしても、ワープロ等事務的なことが不慣れな人に対しては、役割用務が精神的に重くのしかかっている状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校は1クラスに40名の生徒がおり、きめ細かな対応が必要な場合もあることから、学校の教員数はこれ以上、減らさないと欲しい。 ・学校の教員については、中学校では支援員登録制度を始めており、更なる制度の拡充・充実を図ってもらいたい。 		

団体	PTA団体-10	PTA団体-11	PTA団体-12	PTA団体-13	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・他地域との交流が広がった。	・小中学校の統廃合が行われたが、送迎のスクールバスが導入されたことにより、事故や不審者等の話を聞かなくなった。	・合併して海を持つことができた。 ・特産品が増えた。	・周辺部では小中学生が少なく、全体としての会の構成員や体制には特に影響なし。 ・自然豊かな周辺部との合併により地域資源が広がった。 ・周辺部での様々なイベント(田植え、雪合戦)を通じて地域を越えた子どもたちの交流の機会や自然に親しむ機会が増えた。中心部の子どもたちにとっては、自然に親しめるイベントが増えた。 ・周辺部の住民も中心部のイベントに参加しやすくなった。
	(2) 合併の課題	・会議等を開催する際に、移動距離が長く、不便になった。(支所から本所まで車で30分程度、バスは1日5、6便程度。) ・少子高齢化が進んでいる。	・学校の統廃合前は、PTA役員の集まる機会が多くコミュニケーションがとれていたが、統廃合後は、細かいコミュニケーションがとれなくなってきた。 ・連合会における会長・副会長の集まりも年1回しかない。 ・予算が少なくイベントができない。	・エリアが拡大したことにより、身近な活動から遠ざかり、活動への参加が少なくなった。(PTA活動をやらない人が多くなった。) ・区域が広がることにより、PTA活動をやらない人が多くなった。 ・入札参加資格者が増え、仕事を取りづらくなった。 ・学校の統廃合により、教員が余っていると思う。	・会合等は中心部で行うため、周辺部に居住している役員に負担をかけている。(こうした状況下においても、周辺部の役員はよく参加してくれている。)
	(3) 市町課題に 対して	・若者(子育て世代)が住むような施策や少子化対策をしてほしい。	・各学校のPTA役員のコミュニケーションがとれるように、もう少し予算を増額してほしい。 ・連合会における会長・副会長の集まりを年1回以上実施できるよう予算をつけてほしい。		・地理的な条件の悪い周辺部や離島から参加する役員への交通費負担。 ・中心部と同じサービスを受けられるような環境整備や支援。
2 今後市町に望むこと	1位	8	9	7	6
	具体的な提言	・職場に子どもを預けるスペースを設置するための企業支援、子どもが病気になった際の医療費免除等、子どもを育てるためのよりよいまちづくりをしてほしい。	・観光産業の活性化により働く場を増やし、若者の定住につなげる。(帰ってきたいという若者がいるが働く場所がない。)	・海、山の特産物を活かして産業の振興を図る。 ・集客能力を持っている素材はたくさんあると思うので、ゆるキャラやマスコミを活用し、工夫して積極的にPRする。	・子供たちが親と一緒に参加・交流できるイベントを継続的に実施してほしい。
	2位		7	9	8
具体的な提言		・自然を生かした観光業など、一次産業と観光を結び付けて産業の振興を図ってほしい。 ・四国が1つになってアウトドアをアピールしてほしい。(ハワイでできるアウトドアスポーツはほとんど四国でもできる。)	・出店したいというニーズはあると思うので、企業撤退により活用されていない大きな土地を小分割し、活用してほしい。	・周辺部の豊かな自然を活かした子育て施策を実施してほしい。	
3位		8	1	10	
具体的な提言		・地域の特色を売りにして、住みやすい、子育てしやすいまちづくりをしてほしい。		・人的交流を実現できるような既存施設を活用したイベントを実施してほしい。	
3 自由意見	・PTA連合会として、メリット、デメリットはあまり感じない。	・少子化により、ソフトボール等のチーム編成ができなくなっている。 ・図書館(公民館等)には図書室がないので、住民も利用し、観光スポットにもなるような図書館を建設してみてもどうか。(例:九州の武雄市図書館) ・自然を活かした地域の観光資源をうまくアピールしてほしい。	・中心部は合併による変化はあまりないと思う。	・中心部と地理的条件の悪い周辺部や離島との間に不公平感が生まれないように配慮してほしい。	

団体	PTA団体-14	PTA団体-15	PTA団体-16	PTA団体-17	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・他地域の人たちと交流がしやすくなった。交通インフラの整備が進んだ影響も大きいと思うが、中学校の統合などで、子どもたちは、旧市町村単位ではなく新市町という意識が強くなっている。修学旅行など、複数の小学校で合同で行う行事もある。 ・他地域にイベントごとで行く機会が増えたと思う。他地域の文化に触れることができ、より地域の理解が深まったように思う。	・合併前の各市町村のPTAの活動内容を知ることができ、自校のPTA活動の参考となった。	・学校間の交流の機会が増えた。 ・学校行事で使用できる施設が増え、便利になった。	・合併後、旧自治体単位のPTA同士が情報交換をするようになり、PTA活動の視野が広がった。 ・教育現場で活用できる資源(施設・自然等)が増えた。
	(2) 合併の課題	・団体での活動においても、生活面でも、合併により生じた課題を感じることはない。	・会員が会議に参加する際の交通費を一部会費から負担しているが、交通費がかさみ、その分活動費が減ってしまう。		・旧自治体の意見を摺り合せて決定される新自治体の政策が、住民に受け入れられない場合がある。 (新自治体の政策として、自校で給食を作っていた学校もセンター方式に移行されることとなったが、自校方式を維持してほしいとの声が根強い。) ・(効果が課題か分からないが)合併により学校の統廃合という選択肢が生まれ、統廃合が進んだと感じる。
	(3) 市町課題に 対して	・団体での活動においても、生活面でも、合併により生じた課題を感じることはない。	・自治体内の移動に必須となる道路の通行料を軽減してほしい。 ・各団体へ支給する補助金を一律減らすのではなく、活発に活動している団体には、適正に支給してほしい。 ・小学校が来春統合されるが、教員の配置を手厚くしてほしい。		・自治体との意見交換の場である教育懇談会を維持してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	8	7	11	9
	具体的な提言	・島内に小、中、高校(高等専門学校)があり、教育の島としてアピールできるのではないかと。離島という環境の中で、勉強やスポーツに専念できることから、スポーツや勉強の合宿、漁村留学などの事業を実施できないか。	・イベント等で訪れた観光客に対し、地域の特性をPRし、リピーターになってもらい、この地域に住んでみようかと思ってもらえるような取り組みをしてほしい。	・未就学児童を抱える親同士の交流の機会が少なく、特に転勤が多い住民は交流が難しい現状にある。 ・児童クラブの受入時間を拡大してほしい。	
	2位	9	9		8
具体的な提言	・雇用はあるが、パートや福祉関係などが主である。若い世代が定着できるような将来性のある雇用を創出してほしい。	・人口減少は深刻な問題である。企業が減ってきており、働く場の確保をしてほしい。			
3位	11	8			
具体的な提言	・独自性のある住民サービスを実施してほしい。離島としてのハンデを克服するような、環境にやさしいまちづくりに対して支援してほしい。(例:ソーラーパネルや電気自動車の購入の際の助成など)	・子供の医療費無料の期間が短い。子育てがしやすく、教育に関する取り組みを充実してほしい。			
3 自由意見	・交通インフラの整備により、新自治体内がつながることは、住民の意識づけのためにも大変意義が大きい。ただし、島と本土を橋でつなぐことはしない方がいい。「離島」としての「売り」がなくなってしまうから。	・転居してきた人に対し、生活全般のアドバイスができるような機関、組織をつくってはどうか。 ・住民、特に子どもたちがコンサートなど、文化、芸術に触れる機会を多く作ってほしい。			・PTA全体の問題として、役員のなり手不足が深刻である。

団体	女性団体-1	女性団体-2	女性団体-3	女性団体-4	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・行事での協力等により、他地域との交流が広がった。	・漁協自体が合併していないため、イベント等も個別で対応し、情報交換等もありないので、特に影響なし。	・市町村が合併し他地域が加わったことにより、交流範囲が広がり、広範囲での人の繋がりができた。	・漁協自体が合併していないので、特になし。
	(2) 合併の課題	・本所が遠く、支所地域の人は不便に感じていると思う。 ・補助金は会員数に比例するが、会員が減り続け、活動が困難となっている。		・市町村合併に併せて婦人会活動を中止や休止した地域があり、会員数の減少が大きな課題となっている。 ・活動のエリアが広がったことに伴って参加する行事等が多くなり、役員等にとっては負担が大きくなった。 ・合併前から活動していた地区のリーダーが合併後に辞めると、それに合わせて会員が辞めてしまい、活動自体ができなくなった地区がある。	
	(3) 市町課題に望むこと	・補助金が少なく、活動ができないので、補助金を拡充してほしい。	・農村漁村の団体の一員で行政と関係があるのみで、特に望むこともなし。	・婦人会への若い人の入会等について、行政も広報誌に掲載する等も協力をお願いする。 ・できれば活動費補助をもう少しお願いしたい。 ・婦人会が行っている活動(国道脇への花植え、廃油石鹸の製作・販売、プールへのEM菌の投入等)をもっとPRしてもらいたい。	
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	11 ・市町職員やその家族に入会してもらい、ノウハウを手に入れ、活動の幅を広げたい。 ・婦人会存続のための支援をしてほしい。 ・引退後帰ってくる人が多いので、若い人が地元で働けるような場がほしい。 ・危険な場所等を住民にも周知し、安全・安心なまちづくりを進めてほしい。	9 ・働く場所を作らないと若者が減り、結局は子供も減るので、若者が働ける企業を誘致する。	5 ・地域を活性化するために、婦人会としても頑張って活動しているので、行政ももっと連携協力をお願いする。 ・婦人会としても協力は惜しまないので、行政ももっと各種団体と話してもらいたい。	8 ・放課後児童クラブは平日しか行われていないので、できれば土、日曜日もお願いしたい。
	2位 具体的な提言		7 ・海産物資源が減少しており、それだけでPRするのは難しいので、海浜公園等を活用した人を呼べる地域振興施策を考えてみる。	3 ・公共料金(特に下水道料金)をもう少し安くしてもらいたい。	5 ・公共施設を開放してもらい何か別の活動ができれば、人の繋がりがもでき、新しい地域づくり活動にも繋がる。
	3位 具体的な提言		3 ・下水道料金が高いので、もっと安く見直しする。		
3 自由意見	・合併に関係なく、負担は大きくなっていると感じる。 ・合併してなくても、少子高齢化は進んだと思う。		・合併を機に婦人会が無くなった地区での会員の勧誘を模索しているので、行政も力を貸してもらいたい。 ・以前、女性団体の協議会があったのだが、自然消滅的に解散し、女性団体同士の連携もできなくなった。それぞれの団体も縮小傾向にあることから、こういった団体があると今後のまちづくり等にも役立つと思うので、再度の立ち上げをお願いしたい。	・選挙関係で、期日前投票が合併前は近所できていたが、合併後は少し距離のあるところまで行かないとできなくなった。時間の制限がある漁師や高齢者が多い地区なので、できれば近所できるように改善してほしい。 ・行政は合併したが、個人的には昔と同じで、旧自治体地区それぞれがバラバラという印象がある。 ・当漁協は他地域の漁協と比べて夫婦で漁に出る割合が高く、また最近はお勤めに出る奥さんも多くなってきたので、女性部の活動自体も難しくなってきた。	

団体	女性団体-5	女性団体-6	女性団体-7	女性団体-8	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が広くなり、県ともつながることができ、依然より多くの情報に触れられるようになった。他の婦人会がどのような活動をしているのか、同じ様な悩みを抱えていることなどを知ることができた。 ・今までは全く別のまちであったが、関心のなかった地域との交流・出会いなどができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併を機に旧自治体単位だった婦人会から連合婦人会を立ち上げた。 ・地域間交流を行うようになった。(持ち回りで交流会を開催) ・行政の懇談会に団体として参加できるようになった。(合併前はなし) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体合併後に商工会も合併した。 ・周辺部側には効果があったと考える人もいるかもしれないが、中心部側はそれほど感じていないのではないかと。 ・事務所が中心部側1箇所となったことで、周辺部側の会員にとっては、移動距離が長くなり、不便になったという声は聞いている。 ・一時期、周辺部側に商工会議所の支所を置いていたこともあったが、現在は本所1箇所のみとなっている。 	
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・支所に地域のことが分からない職員が多いため、地域おこし協力隊3名に頼っているのが現状である。しかし、その協力隊も任期が3年となっている。 ・合併後行政の課名が頻りに変わるので覚えられず、イベントの参加依頼がいろいろな課から個別に来るので、対応が大変である。 ・周辺部において過疎化が深刻になっており、生活の足がないため、車がないと買い物に行けない人が増えている。バスは日に1本だけの状態となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連合婦人会になって、会議の場所も遠くなり参加しづらくなったことから全地区の婦人会の参加となっていない。もともと一緒に活動していた地区の婦人会でも連合婦人会に参加するところとしている。また、連合婦人会としても本来のプラス効果を発揮できていない。中心部の婦人会が一つも参加していないのも問題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部で年10数回会合を開催するため、参加が遠くなるということで、連合会に参加していない婦人会があることや、同様の理由で役員のなり手が非常に少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併当初と比べ、旧自治体間の会員の垣根は、低くなったと思う。 ・当初は、特に周辺部の会員同士のグループ意識が非常に強く苦労したが、様々な活動を合同で行うようになったことで、融和されてきたような気がする。 ・女性部としての大きな活動である祭りへの出店では、特に地域の区別なく、会員皆に声掛けをするようにしている。合併してから10年を経過したので、なるべく旧自治体単位の古い考え方をなくしていきたいと考えている。 ・副会長は、当初は旧自治体ごとに1名ずつ出していたが、ここ数年は、特に地区分けをしていない。
	(3) 市町課に課題をむきこして	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊の任期満了後について、現在、自治体の事業で辛うじて就労が継続できているが、永住を希望する方には永住できるような仕組みを考えてほしい。 ・新規採用職員は一度支所で勤務し、地域のことを理解して本庁で勤務してほしい。 ・公共バスの本数を増やしてほしい。また、デマンドタクシーを中心部まで広げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和60年代には公民館単位で婦人会のリーダー研修があったが、合併後はなくなってしまった。若い者が減っていき、婦人会の人数も減っていく中で、後継者となるリーダーも育っていない。今後のリーダーを育てる対策を打ってほしい。 ・自治体の担当課長から、連合婦人会のサポートを全面的に自治体がすることに懐疑的な発言があった。県連や県とつながりを持つために、自治体のサポートや県での研修費の助成などは必要と思われる。 ・連合会に参加していない婦人に自治体の方から呼びかけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会合出席のための車の手配をしてほしい。また、一部地域のみマイクロバスの貸出が有料であるため無料にしてほしい。 	
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・第三セクター(道の駅)が資金不足なので、活性化に向け力を入れてほしい。特にトイレの整備やエアコンの取り換え等をお願いしたい。 ・6次産業化の進め方が分からないので、補助制度等を教えてほしい。 ・名産の販促等において、自らの営業力には限界があるので、トップセールスをどんどんしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ある支所はレンタルオフィス等に利用している。一方、空き部屋が多いにもかかわらず、障害者団体が借りようとしたが賃貸料が高過ぎて断念したような支所もあった。セキュリティや部屋面積の問題で貸出に向かない面もあるかもしれないが、その点を改装するなどして支所を有効活用できないか。 	10 ・バランスよく発展	1 ・職員数をもう少し減らしてほしい。
	2位 具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の20～30代の女性がパート等で働くことのできる場を作るべきである。そのため、しらす等の加工事業の事業(雇用)を拡大したいが、自分達の発想力には限界があるので、アドバイザー(経営等)を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併の結果、本所から遠くなってしまった地域にとっては一体感がほしい。 	7 ・産業の振興	5 ・商工会と自治体の連携が図られていない。行事に関しても市役所の協力が十分に得られないことが多い。それぞれが、別々に活動しているような状況である。
	3位 具体的な提言		10	2 ・各支所の職員が減少したことにより、その周辺の飲食店の多くは閉店したため、支所の職員をもっと増やしてほしい。IT化により、逆に支所に勤務していても本所の事務ができるのではないかと。	
	自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は老朽化しているので、施設整備を行ってほしい。 ・今後、介護施設がもっと必要になってくるのではないかと。 ・タウンミーティングをもっと小規模で実施してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区の文化会館などを積極的に活用してほしい。 ・イベントを共同で行えたらまとまりが出てくるのではないかと。 ・ある地区では婚活イベントを行っており、毎年1～2組くらいはマッチングできているが、女性が少ないのでイベントを行うのも難しい。 ・健康保険料が高くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から活動助成金をもらっているが、各校区の婦人会の活動が活発であるため、各校区への配分を最大限行わざるをえず、連合会役員の手当がほとんどないので、予算を増額してほしい。 ・周辺部の住民から見れば、従来より高い水道料金に統一されてしまった。 ・雇用の確保のための企業誘致 ・合併前から同様であるが、自治体の女性職員が婦人会に加入してくれない。 ・周辺部で運営しているデマンドタクシーは、年齢制限もなく、通勤に使用できるのでありがたい。逆に心苦しく年齢制限をしてもいいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動資金も会員も徐々に減ってきている。設立当初のメンバーが高齢となったため、やめる人が出てきているのが要因である。また、若い方に会員に入ってもらいたくない。特になし。

団体	女性団体-9	女性団体-10	女性団体-11	女性団体-12	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前は、異なる自治体と合併した地域を含めて連合婦人会であった。合併直後は、旧自治体単位の婦人会は存続し、連合婦人会として活動していたが、その後、新自治体単位で名実ともに一緒になった。 ・合併前は廃棄物処理につき、旧自治体の婦人会を中心にルールを決めて徹底させていた。合併後、ルールを無理に統一せず、それぞれの良い部分を取り入れて新しいルールを作った。 ・地域の美化運動等、ある地域で婦人会を中心にしていた取組みが、合併後、他地域にも広がる等、各地域の良い部分を取り入れ、会員のつながりが深くなったような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に伴い翌年に旧自治体単位であった商工会が合併したことで、女性部の会員数が増加し、知り合いが増えたほか、他地域の魅力的な資源を認識できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心部の女性団体としては、合併により、周辺部の女性団体とも活動を通じて交流を図ることができて良かったと感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に併せて商工会も合併し、それまで積極的に交流することはなかったが、5～6年間はイベント等の運営で相互に応援し合った。しかし、現在は、距離があることや役員の高齢化もあり交流は途絶えてしまっている。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部の会員は車を運転できる人が少なく、中心部で行う会合に出席できず、会員をやめてしまうこともあった。 ・合併前の周辺部では、婦人会を中心に、自治体に代わり検診の通知送付等、行政事務の一端を担う活動等もしていたが、合併後、新自治体の事務委託方針が変わり、活動できなくなった。 ・周辺部の旧自治体のキャラクターが、観光施設のキャラクターに格下げられ、新自治体のキャラクターは別のものになった。周辺部住民は残念がっている。 ・公民館のトイレ整備について中心部と周辺部で格差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所の職員が減少したことで、祭り等のイベントに対応できる人員が減少し、加えて予算も縮小されたため、結果としてイベント自体が縮小した。 ・高齢者の相談等に対して、支所に対応できず本庁へ回されることがあり、高齢者は交通の便も悪いため大変困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会としての会合等は中心部で開催しており、路線バスの廃止によって公共交通機関がなくなったことで、周辺部の方は当該会合等への参加が困難となった。 ・会合等への出席も大変であるため、旧自治体単位で分かれて活動したほうが良いとの意見もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性部と市町が直接関係することはないが、商工会への補助金が減り、女性部への助成も減っている。
	(3) 市町課に 対して	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の行事の際には、行政のバスを利用できるので、引き続きお願いしたい。合併前は、バスが1台しかなかったため、思うように利用できないこともあったが、現在はバスが2台ある。経済的な面でも非常に助かっている。 ・インフラの整備をお願いしたい。公民館のトイレの改修や歩道が凸凹になっている箇所があるので整備をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本所所管の業務であっても、可能な限り支所の職員が取り次ぐなど、住民の利便性を考えた対応をしてほしい。(支所の職員減はある程度はやむを得ない) 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併したのだから、旧自治体間を繋ぐために地域の足である公共交通機関は必要であり、対策を講じて欲しい。 ・周辺部では若い住民が地域外へ流出しており、活気がなくなっている。周辺部の土地や空き家を活用して、地域を活性化する対策を講じて欲しい。 	
2 今後市町に望むこと	1位	5	7	7	12
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・地区懇談会等、住民の声を聞く機会を設けて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色を生かした産業の振興 ・地域の特色である森林や木材を活用した事業をもっと実施すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部には野菜栽培や林業など、特色があるので、現状で存在する資源を活かして、活性化を図ってほしい 	
	2位	9	10	2	
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が働く場があれば、人口流出を食い止めることができるのではないかと考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ・支所機能を充実させてもらいたい。 	
3位	6	9	9		
具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・旧自治体ごとの意識がまだ完全に取り払われている訳ではないので、もう少しそれらの意識を取り払うことが必要なのではないか。団体でも役員を旧自治体ごとに出しているようなところもあると聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場の確保、雇用の創出 ・老人保健施設や有料老人ホームを誘致し、自治体外の入居者を受け入れてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺部で若い人が働ける職場を作り、雇用の確保に努め、若い人の定住を図って欲しい。 		
3 自由意見		<ul style="list-style-type: none"> ・学校の統廃合を見越して、役場職員も自治体外の都市部へ転居していると聞く。役場の職員が地元に住んでいないことには大いに疑問を感じている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・合併とは直接関係ないが、商工会の事務職員の異動が頻繁にあり、相談しづらくなった。他の商工会の人もそのように言っている。 	

団体	女性団体-13	女性団体-14	女性団体-15	女性団体-16	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・避難路、通学路、道路等、旧市町村ではできなかった整備ができるようになった。	・市町村合併して、良くなったのか疑問。合併しなかった自治体の方が元気に見える。	・市町村合併により、他の地区との交流が深まった側面がある。(他の地区の夜市等イベントに参加。)	・連合婦人会ができたことで、いろんな人と出会えた。
	(2) 合併の課題	・活動範囲が広がり、遠くに行くのが大変となった。 ・支所職員に顔見知りが少なくなった。	・役場は、正職員を減らした代わりに、臨時職員を増やしている。 ・空きの公共施設が増え、有効利用できていない。	・交流は深まったが、融和できていない部分もある。ある地域のイベントで他地域に出展を募っても他地域からの出展はない。	
	(3) 市町課題に望むこと		・若者に住みついてもらいたいので、公務員から率先して正職員を増やしてほしい。 ・若者が外へ出て行ってしまっても、Iターン・Uターンで地域に帰ってきやすい政策を考えてほしい。 ・これ以上、公的施設を減らすことは望まない。		
2 今後市町に望むこと	1位	8	9	5	9
	具体的な提言		・1(3)と同様		・働く場の確保
	2位	7	8	7	7
	具体的な提言	・特徴のある地形を活かしたまちづくりを推進する。	・農林業が基幹産業であり、後継者づくりも課題である。		・一次産業の振興 ・水産業を振興するためには、海をきれいにすること。 ・耕作放棄地の有効活用を図ること。
3位		5	9	8	
具体的な提言		・住民と行政が同じ目的に向かっていくことが必要である。		・重点目標の実現 ・子育て支援の充実を図ってほしい。	
3 自由意見	・合併後も、婦人会の活動を十分助成してもらっている。	・財政面で考えると、合併は仕方がなかったのかもしれない。 ・医療面では、合併したことにより、特に不便は感じていない。	・中心部は、バイパスができて大型スーパーが立ち並んだために廃れてしまった。方策は思い浮かばないが、中心部が盛り上がる施策を考えてほしい。	・地域活性化のヒントになるので、Uターン者の意見を聞くべき。 ・合併前をお願いしていた実現できていない事項だが、廃校を活用して図書館を設置してほしい。 ・豊かな自然環境を発信していくべき。 ・校区制が廃止され、地域外へ通学することは容易になったが、残された児童は益々寂しい思いをしている。 ・専門職員は、適正に採用すべき。 ・合併しなかった方がよかったのではないかとこの声も聴くので、旧自治体ごとにもっと目を向けてほしい。 ・婦人会で活動している人を優先的に民生委員にすべき。	

団体	女性団体-17	女性団体-18	女性団体-19	女性団体-20	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・少子高齢化が進む中で、勉強会などが活発化し視野が広がった。 ・会員が増え、年齢層が広がった。	・経費削減が目的だったと思うので、そういう意味での合併効果はあったと思うが、それ以外の合併して良かったことは思い浮かばない。	・旧市町村ではなかったサービス(子育て支援等)が受けられるようになった。 ・合併により、活動範囲が広がった。	・農協の活動において、特に合併のメリット、デメリットは感じない。普段の生活では、買い物などで中心部へ出かけることが多くなった。そちらの情報が入りやすく、目も向くようになった。 ・農業関係の補助金の窓口が一本化された。合併前は各自体ごとの手続きが必要であった。
	(2) 合併の課題	・旧自治体単位で、組織の構成が異なっており、運営に戸惑うことも多かった。(区長制を採用しているか否か等で行政との関わり方が違った。) ・周辺部の旧自治体では、公民館に自治体職員がいて行政との連携を担っていたが、合併して中心部に合わせて公民館制が導入され、専門化が必要になるなど負担が増えた。 ・合併後ゴミ袋の価格が変動を繰り返したのには戸惑った。 ・会議開催場所は、交代制にしているが従来より遠くなった。 ・役職の専門性が進む一方で、出身地域のバランスを意識すると、本当に就いてほしい方に就いてもらえない。	・昔は各連絡所に主事、嘱託職員、保健師が必ずいた。顔見知りでしたので、利用しやすかったが、今は保健センターで一括となったため利用しにくくなった。 ・合併して職員が減り、仕事が増えて大変だと思う。	・公共施設が中心部に集まり、中心部だけ良くなったと感じる。 ・合併前は支所に顔見知りだったが、今は少なくなった。	・合併前は、役場で健康診断を受ける場合、事前申し込みが必要なかった。合併後は、法律改正等の影響かもしれないが、事前申し込みが必要となった。最寄の支所以外でも、健康診断が受けられるようになったのは良いが、移動手段のない高齢者にとっては、デメリットのほうが大きいように思う。 ・総合支所ごとに農林関係の部署はあるが、決定権は本所にあるため、総合支所、本所にそれぞれ説明しなければならず、手間が増えたと感じる。自治体内の地域を半分に分け、権限を支所に移譲する組織改正が行われたが、まだ職員の意識改革が十分でなく、本所へも説明しなければならない。
	(3) 市町題に望むこと	・会議等の開催に対する支援(公営バスの手配)の継続してほしい。			・組織が大きくなったため、同じ説明を違う部署(箇所)にしなければならないことも多い。相談事があった場合、ワンストップで受け付けてくれる窓口があれば、さらに行政に相談がしやすくなる。また、地域のことについて、いろいろなことを自由に提言できるような組織(若手でフットワークも軽く、自由に発言できる雰囲気のある10人程度の組織)を作してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	5 ・公民館と社会福祉協議会を充実させてほしい。	9 生産量が多い作物や観光等、PR不足で認知されていないことが多いので、もっと宣伝・PRしてほしい。	10 ・公共施設が中心部に集まってしまい、周辺部が忘れられる。バランス良く発展するための取組みをしてほしい。	8 ・子育て支援策を積極的に推進してほしい。子育て世代が地域に定着するだけでなく、子育て世代を助ける親の世代が、地域活動などに積極的にいかかわっていくことができると思う。
	2位 具体的な提言	6 ・高速道路を外れているので、特色を再発見できる取組みができないか。	5 自分たちの知らないところで話が進んでいる。いろいろな団体を集め、まず、自治体の考えを伝え、団体の意見を聞いてほしい。そうすれば、団体のアイデアが出せる。	8 ・子育て施策をさらに充実させてほしい。	10 ・たまたま目につくだけかもしれないが、道路などのハード面において、中心部のほうが優遇されているように思うし、そういう意見をよく聞く。
	3位 具体的な提言	11 ・まちおこしに女性パワーを活用してほしい。 ・地元で出来る体験型の地域おこしをしてほしい。	7	9 ・土地はあるので、企業誘致を積極的に進めてほしい。	7 ・しまなみ海道のように、サイクリングに適した風景などをPRしたら、サイクリング客の誘客もできるのでは。
3 自由意見	・道が狭いので、自転車で回って自治体内の観光めぐりができないか。 ・子育て医療支援(医療費無償化など)の拡充はありがたいが、やり過ぎは良くないと思う。	・目に見える合併効果はわからない。 ・コンビニやドラッグストアの出店により廃業が増え、後継者も少なく空き店舗が増えているので、有効策を市や県が実施してほしい。 ・天下りが多いので、天下りを減らして働ける人に働いてほしい。 ・来年度の入学者が少ないの小学校を統合してほしい。 ・3人目の子どもの保育料が無料なのは納得していない人が多いと思う。 ・買い物に不便なので、移動販売をしてほしい。	・団体としての合併の実感はない。 ・合併を待っていた。会社としてはメリットの方が大きいですが、個人としてはデメリットの方が大きいと感じる。	・駅前を、もう少し利用者の視点に立ち、駐車場の整備などを検討してほしい。 ・IT環境の整備を図ってほしい。いくつかの通信事業者の中で選択できるようになるのが理想である。	

団体	女性団体-21	女性団体-22	女性団体-23	女性団体-24	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併自治体の広報などを通じて、各地域の情報がよく入るようになった。支所単位で実施しているデイサービスで、楽しめるイベントも実施され、利用者に好評であった。 ・農協の女性部長になると、自治体の会議に出席することが増えた。周辺部でも会議が開催され、いろいろなところに行くことができた。いろいろな人と交流もできた。	・他地域との交流が広がった。	・市町村合併後に合併自治体内の商工会議所が合併した。合併後、各種行事は増えたが、合併したから事業や活動が活発になったとは一概に言えない。 ・出身の違いによる性格の違いがあるが、会員の性格の違いで反発しあうことはなく、お互いを認めつつ活動している。	
	(2) 合併の課題	・自分としてはあまり感じることはない。各支所の女性部役員の中には、何か意見がある役員もいるかもしれない。		・メリットと同様、はっきりとした不便、不都合はない。中心部の会員に会議の都度、周辺部まで来てもらうことが申し訳ない程度。	・旧市町村の頃にしてもらっていた自治体内での放送をしてもらえなくなった。 ・補助金が人数割になり、一部の地区の補助金が減った。 ・高齢者が無料であったフェリーが有料となった。
	(3) 市町課に望むこと	・農協の女性部長は、自分ひとりであるが、こういった住民の意見を聞きたい時には、各支所の役員が集まった場で聞いてもらえると、いろいろな意見が聞けるのではないかと。		・はっきりとした課題の認識がないので、課題に対して望むことも明確にない。あえて言うなら、本庁舎など、自治体の基幹施設の建て替え予定がはっきり決まっていないので、早急に決定し、実行してほしい。 ・文化ホールも早急に建設してほしい。	・フェリー料金を高齢者と子どもは無料にしてほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	11	10	1	8
	具体的な提言	・自分の地元では自治会活動に参加する人(特に若い人)が少ない。自治会活動に若い人も参加できるような取り組みができないか。	・住民の意見を取り入れて、まちづくりをしてほしい。 ・田舎の方も同じようにバランスよく発展してほしい。	・議会議員は合併して3分の1程度となった。職員も大変だと思うが、今後人口も減少傾向にあるので、少数精鋭で頑張してほしい。	・売りになる特産物を作ってほしい。
	2位	5	7	2	5
	具体的な提言	・最近、降雨による災害が増えているが、地元自治会内には高齢者が多く、防災の観点から非常に心配している。いざというときの連絡網の整備(高齢者と別居する子どもの連絡先の確認)など、行政と住民が協力して非常時に備えられないか。	・地元の人しか知らない行事をもっとPRしてほしい。	・支所の機能を充実してほしい。本庁舎は、住民窓口を毎日19時まで開けているが、総合支所やほかの支所も窓口をもう少し遅くまで開けてほしい。	・旧市町村時代は実行委員会形式だったイベントがなくなり、様々なイベントが行政主体に移行している。連携してイベントをしたい。
3位	12	9	8	9	
具体的な提言		・若い人が帰ってこないのが、働く場を確保してほしい。	・子育て支援策として、特色ある取り組みを行っていると思う。さらに積極的な取り組みを望む。	・大学に進学すると地元に戻ってこない。地元で大学を作してほしい。	
3 自由意見	・地元では、下水道が整備され、水路がきれいになった。感謝している。 ・近くの往路工事の際、騒音の苦情を自治会長を通じて行ったところ、きちんと対応してもらった。ありがたい。	・さらに近隣自治体と合併してほしい。 ・合併していなかったら、もっと寂れていたかもしれない。 ・旧地域ごとに行事(花火大会)をしている。 ・買物物が不便なので、移動販売してほしい。	・花火大会を地域ごとでそれぞれ行っているが、ひとつひとつの大会は花火の数も少なく、さびしく感じる。合わせて年1回の開催とし、場所を持ち回りにすれば、にぎやかな大会となるのでは？ ・公営プールが修繕されないまま休止している。できれば再開してほしい。 ・市町村合併で議会議員は激減した。国会議員や県議会議員も減らしてもよいのではないかと。	・団体活動で役場とのやりとりはないので、合併による影響は感じない。 ・自転車の航送料金が無料となる制度があるが、住民は対象外。住民の優遇を考えてもらいたい。 ・合併したから他地域との交流を行っているが、地元の人からすれば、他地域の人が行ってもおもしろくない。 ・役場職員はやるべき仕事をし、草刈りなどはグリーンキーパー等ボランティアに任せたい方が安いし適切だと思う。 ・今の生活に不満があるわけではなく、地域でやりづらいこともない。	

団体	女性団体-25	女性団体-26	女性団体-27	女性団体-28	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・市町村合併に併せ、連合婦人会も組織が大きくなり、会員も増え人材が豊富になった。 ・合併したことにより交流の機会が増え、組織が活性化した。	・合併することにより、今までより広域の意見等を聞くことができるようになり、良い刺激になった。	・女性会としては、特に効果は感じていない。(商工会議所は合併していないため) ・一次産業の産地としては、合併によりブランド力・情報発信力が向上した。	・会員が減少する中、市町村合併を契機に、商工会も広域化を行い、規模が大きくなったことで、従来どおりの活動を行うことができている。
	(2) 合併の課題	・連合会の会議に出席するため、遠方から来てもらうこととなり、負担(特に交通費)が生じることとなった。 ・支所業務が本所に一部集約され、わざわざ本所まで行かないといけなくなった。 ・支所に職員が少なくなった。	・合併をすることで、地域性の違い等の差異が浮き彫りになり、当初は、互いに思いやることで軋轢を生まずにやってきたが、今後は統一された意見を以て何事にも望んでいく必要がある。 ・統一するとどうしても中心部が優位になり、周辺部が弱くなるため、そこも解決すべき課題である。	・市町村合併後も商工会議所組織はそのままであったため、周辺部の商工会女性部との交流が少ない。大きなイベントも控えており、交流・連携の必要性は感じている。	・役所に顔見知りの職員がいなくなり、気軽に相談がしにくくなった。
	(3) 市町村課に題にむくこと	・自治体内の移動に必須となる道路の通行料を軽減してほしい。 ・支所機能を拡充して、サービスの向上に努めてほしい。 ・合併により重複した施設の整理を行うと聞いたが、有効活用してほしい。	・活動しやすい環境・機会を作ってもらいたい。(勉強会・研修等) ・活動費の補助がないため考えてもらいたい。(合併により活動費増)	・組織としては特になし。 ・個人的には合併後、周辺部からの声が十分行政に反映されていないのではと思うところがあり(予算の配分等)。周辺部の事業が少なくなっている。周辺部にまで目が行き届く政策をお願いしたい。	
2 今後市町に望むこと	1位	8	10	7	9
	具体的な提言	・教育や医療面などを考慮して、人の集まるまちづくりをしてほしい。 ・イベントを実施しても、地域の協力が得られていないと感ずることがある。もっとみんなが協力できるような取り組み方法を考慮してほしい。	・中心部で多くの物事が進む一方、周辺部は不便になった。周辺部の整備及び活性化を望む。	・地域の特徴・資源を生かした産業振興 ・旧市町村それぞれに特色があり(特産、祭り等)、それを生かし伝えていってもらえるような施策をお願いしたい。 ・地産地消の推進。	
	2位	9	8	9	7
具体的な提言	・若い世代が定着しやすいような雇用を創出し、子育てのしやすい環境を整備してほしい。	・基幹産業である第一次産業の振興と後継者の育成の支援を望む。	・働く場の確保 ・子供が都会に出て、帰ってスキルを生かせる場がない。		
3位	5	2	11		
具体的な提言	・住民と連携したまちづくりを行うにあたり、女性のアイデアを反映させてほしい。	・支所に決定権がなく、問題が発生しても対応が遅い。また年々支所の職員数が減少しているため、支所の機能の充実を望む。	・役所職員のサービス改善 ・住民の視点に立ったサービスを心掛けてもらいたい。 ・書類上の話だけでなく、実際に現場を見て実情を知ってもらいたい。		
3 自由意見	・婦人会の活動は、イベントの下請け的なことが多く、会員の高齢化が進み、活動に限界を感じている。活動の範囲や今後の婦人会のあり方について、自治体とよく話をしたい。 ・婦人会会員を対象に、自治体の職員が自治体の財政状況を説明する研修会を実施した。非常にわかりやすく、自治体の状況がよくわかった。今後も継続して実施したいので、協力をお願いしたい。	・役所が縦割り化され、横の繋がりが希薄になっている。また、職員の勉強不足により役所に行っても、たらい回しにされることがある。	・高齢者が安心して暮らせるまちづくりをお願いしたい。(高齢者向け施設の充実。施設等が増えれば就労の場も増えて良い。)		

団体	女性団体-29	女性団体-30	女性団体-31	女性団体-32	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・特になし(表面上のことしかわからず、行政の詳しいことはわからないため)	・特になし(女性部の活動は行政との関わりがなく、合併による効果や課題は感じづらいとのこと。)	・特になし(商工会議所自体は合併しておらず影響がなく、また合併後も合同で何かをする機会がほとんどなかったため)	
	(2) 合併の課題	・すべてのことにおいて中心部中心に行い過ぎである。(合併することで、中心部は大きくなったが、周辺部は逆に小さくなった。) ・すべてを中心部とするのではなく、適材適所で何事もする必要がある。			
	(3) 市町課題に望むこと	・各支所にも権限をある程度与え、地域ごとにもっと力を入れてほしい。 ・補助金等については、小さいものから無くなっていった。大小で判断するのではなく必要性で判断してほしい。			・職員の削減をするだけでなく、住民の目線に立って仕事のできる人材を育成してもらいたい。(上司の指導力の向上、適材適所の配置等)
2 今後市町に望むこと	1位	10	7	6	9
	具体的な提言		・主要農作物の加工場を整備してほしい。 ・被害が深刻であり、対策を講じてほしい。		・企業はあるが、正職員として働ける場所が少ない。(求人はパートが大半) ・企業誘致等により、正職員として若い人が働ける場所を作ってほしい。
	2位	6	9	8	
	具体的な提言				
3 自由意見	3位	7	10		
	具体的な提言		・上下水道の未普及の解消を行ってほしい。		
		・支所等の職員数が少ないとこそしっかりとした人材を置いてほしい。	・学校がなくなると地域の過疎化が一層進んでしまうので、学校は残してほしい。 ・既に廃校となった学校の校舎を有効活用してほしい。	・旧市町村ごとにお祭りがあるが、学校はそれぞれの地区の祭りの日にしか休みにならないため、合併したのに子供たちがどちらか一方のお祭りにしか参加できない。	・公立病院を整えてほしい。

団体	女性団体-33	女性団体-34	女性団体-35	女性団体-36	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・特になし(合併以前と変わらず、中心部の各地区の会員で構成されているため合併により変化なし)	・自治体のイベントの実行委員会などで、中心部以外の他の団体と一緒に活動するようになり、交流が広がった。 ・住所と勤務地が違う自治体だった時はわざわざ住所地の役場に行く必要があったが、今は勤務地近くの総合支所でも手続きができるようになった。保育園なども、住所の近いか、勤務地の近いかで選択肢が増えた。	・合併により交流の範囲が広がった。	・交流の範囲が広がった。
	(2) 合併の課題	・合併して自治体が大きくなったが、婦人会の会員は合併前から変化がない(他地域の団体が加入してくれない)。せっかく合併したのだから合併後の自治体全体で活動をするべきである。	・担当課が総合支所にしかない場合など、遠くまで足を運ばなければならなくなった。 ・合併した周辺部地域のことはよくわからないし、情報が入ってきにくい。もっと情報を提供してほしい。	・合併しエリアが広がったからといって遠方の地域の仕事を受けることは難しい。 ・合併により公共施設の料金が均一化され、これまで無料だったものが有料になったものがあった。また、使用についても不便になった。	・本所のある地域の一極化が顕著になった。 ・中心部で大半の会議等を行うので遠方の地域は時間とお金がかかるようになった。 ・本部での活動が中心になることで、各支部内の部員同士の交流が減った。
	(3) 市町課に 課題を 対峙し て	・現状では、中心部の会員のみで活動をしており、その他の地域との交流の機会が少なく、会員を増員することができない。そこで周辺部と交流できるように機会を作ってもらいたい。 ・合併により地元以外の地域の職員が増えたことにより、行事・活動内容を理解していない職員が増えた。最低限の知識は持ってってもらいたい。	・メリット、デメリットは表裏一体であり、やむを得ないと思っている。 ・自治体とはまちづくり活動で協働しており、関係は良いと思っている。	・予算の都合もあり、公共工事が固まった時期にあるため、資金繰りに苦労している。定期的に仕事があるのが望ましい。	・人材不足で困っているため、人を雇えるような体制を作ってもらいたい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な 提言	6 ・旧市町村間の交流を促す催しを開催してもらいたい。	8 ・自分も子育て中であるので、子育て支援策を充実させ、若い世代が定着するような地域づくりをしてほしい。	9	9 ・働く場がないため雇用の創出をしてもらいたい。
	2位 具体的な 提言	3 ・一部地域で料金が低い。(現在統一料金について協議中)	6 ・普段の生活の中で、つつい旧市町村を意識してしまうことが多い。なるべくそういったことがないよう、一体感を持てるような取り組みをしてほしい。	8	5 ・大企業の誘致
	3位 具体的な 提言	9 ・パート職の求人はあるが、正職員の求人がない。また大きな企業がないためそもそも求人が少ない。	7 ・地域の特性を生かしたまちづくりに取り組んでほしい。	1	10 ・まずは自分たちが地域を知ることから始めるべきである。
3 自由意見		・イベントなどの実行委員会に各種団体のメンバーが加わり、住民と行政の協働によるまちづくりが行われていると思う。今後もこの良い関係を続けていきたい。	・合併により旧自治体の役所であったところが支所になり、人がいなくなった。それにより、能美会等、役所周辺で職員が落としていたお金がなくなり、飲食店等が潰れ、活気がなくなっている。	・この聞き取りもそうだが、言葉がわかりづらく、質問の意味がわからないところがある。もっとわかりやすい言葉を使ってもらいたい。	

団体	女性団体-37	女性団体-38	女性団体-39	女性団体-40	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併により交流の範囲が広がった。 ・母体が大きくなったことにより発信力が強くなり、発信の機会も増加した。	・特になし(所属する団体が異なるため交流がない)	・特になし(個人としては、交流の機会が増加した。いろいろな案内も届くようになった)	・行政の規模が大きくなったことにより、施設(特に教育施設)が充実したように感じる。
	(2) 合併の課題	・地域間に差が生じてきた。(僻地は人がいなくなっている)	・団体と自治体の合併エリアが異なっているため、同じ自治体内でありながら違う団体の部員との交流がほとんどない。 ・合併前は団体女性部＝婦人会であったが、合併により婦人会が解散され、女性部の部員数が大幅に減少した。	・合併したのだから自治体内で別々の農協に所属するのではなく、一緒に活動すべき。 ・合併により自治体が大きくなったことにより、寄付金(祭り等の寄付)を集める回数が増加した。	
	(3) 市町課題に 対して	・幅広い情報を持っている行政が主となって対話の場を設けてほしい。 ・若い人、多種多様な職種の人など、普段交わることがない人同士が話し合える場を作ることによって、自治体全域が一体となって成長できる。	・支所の職員数が減少したことにより、地域の活気がなくなった。最低限必要な人数は残してもらいたい。		
2 今後市町に望むこと	1位	10	10	10	12
	具体的な提言	・各地域の特徴を活かし、中心部だけでなく全体で発展する必要がある。	・まずは人口の増やす必要がある。そのためには、移住者に思い切った特典等を用意して外部から人を呼ぶべきである。		・現状、役場の機能には満足している。
	2位	7	9	9	
3 自由意見	具体的な提言	・最低限その地域のことをわかっている職員を配置してもらいたい。	・現在は衰退しているが林業のまちである周辺部に昔のように活気を取り戻してもらいたい。そのためにまずは後継者の育成等に力を入れる必要がある。		
	自由意見	・合併したことによって、旧自治体では実現できなかったイベントができた。	・同じ自治体内で同種の団体が複数あるが、1つになることが望ましい。(県主催の会議等に呼ばれた時も、周辺部の一部地域だけ違う団体だと疎外感がある)		・全体として市町村合併をしてよかったと感じている。ただし、これ以上の合併は逆効果かもしれない。 ・周辺部の農協は現在支所となっているが、機能が十分でなく不便を感じている。 ・(自治体への要望)行政に対し、団体としての意見を述べる機会が少ないと感じている。 ・(自治会長としての立場から)自治会への未加入者への対応に苦慮している。

団体	女性団体-41	女性団体-42	女性団体-43	青年団体-1	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・新団体となり、他地域の商工会との交流が生まれた。 ・旧団体では、それぞれの団体が行う事業が固定化されており、偏りもあったが、新団体では広域的な視点で事業を行うことができるようになり、活動に広がりが見えた。 ・旧団体が合併前から行っていた事業を新団体でも実施しており、旧団体同士がお互いの活動を支援しあう仕組みができた。	・グループの事業として、特産林産物の消費促進を行っているが、市町村合併により活動の範囲が広がった。	・中心部と周辺部とで別々に商工団体が存続しているため、一緒になっていないが、イベント等で協力しあっている。	・団体自体が合併していないので、特にない。 ・強いて挙げるとすると、行政エリアが広がったので、関係大会等において紹介できる観光施設等が増えた。
	(2) 合併の課題	・現在は特になし。(団体の合併当初は補助金の使い方等で意見が分かれていたが、配分方法を工夫する等により、現在は問題なく運営できている。)		・周辺部の高齢化が進み人口が減少している。商店街も後継者不足となっている。	・中心部には大型商業施設が増えたが、その影響で小売業が衰退しているせいから団体メンバーに小売業者が少なくなった。 ・行政エリアと商工会議所の管轄エリアにずれが生じているため活動等に若干弊害が出ている。(祭りなどの中心部で開催されるイベントには商工会議所は参加するが、周辺部で行われるイベント等には参加していない。)
	(3) 市町に望むこと				・商工会議所メンバーの増加のためにも、地元小売業者が盛り上がるような施策をお願いしたい。
2 今後市町に望むこと	1位 具体的な提言	9 ・地域の技術を活かした事業に対する支援(起業支援や県外出品への支援等)を行い、雇用創出を図る。	8 ・若年者の定住促進のため、子育て支援が重要である。	7 ・食べ物がおいしいと人が集まってくる。各地域の特産物を生かして発展していかないか。	7 ・より一層新自治体をPRするためにも、特色のあるものを中心に据えた施策を打ち出してほしい。
	2位 具体的な提言	5 ・学校給食について、現在の自校方式からセンター方式への移行を予定しているが、反対である。食育等の観点から、地域住民には自校方式のほうがよいという意見が多い。 ・既存の給食センターについては、高齢者向け食事配達サービスの施設として活用してはどうか。	9	10 ・周辺部の人が合併してよかったといえるようなまちづくりをしてほしい。	
	3位 具体的な提言	8 ・産業振興・子育て支援	10	3 ・上下水道の料金安定が、人口増につながるのではないか。	
	3 自由意見		・助成金は現在の額で維持してほしい。	・合併してよかったという点を具体的にかたちにする。数値化してみるのがよいのではないか。	・中心部は交通等は便利になっていると感じるが、周辺部は年々寂れていっている(人口減、産業衰退)ように感じるので、どうにかしないとけない。 ・今後、道州制が導入された場合、より大きな自治体との合併に向かい吸収される形になるのではないかと思っているので、故郷が失われてしまうように感じる。今、周辺部の人がそう感じているはずなので今後が非常に心配である。

団体	青年団体-2	青年団体-3	青年団体-4	青年団体-5	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・道路が整備され、建物が増えた。 ・旧市町村では無かった子育て支援(発達支援)が充実した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体合併後に商工会も1つの団体に合併したが、合併によるギャップ等は、特に感じていない。 ・合併して一緒になったことにより、会員間の交流の場が広がったため、各種イベント(産業まつり等)が合同で実施することができるようになる等、むしろ活動しやすくなったのではないかと感じる。(合併前は交流と呼べるようなものは、ほとんどなかった。)会員数も合併により増加した。 ・事務所が中心部に集約されたことにより組織運営の合理化も図られたのではないかと感じる。比較的距離があるので、地理的障壁もそれほど感じていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に伴い翌年に旧自治体単位であった商工会が合併したことで、青年部の会員数が増加し、会員同士でも横のつながりができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村合併に併せて商工会も合併したことにより、部員が増え活動範囲が広がった。これに伴い、部員自身の営業範囲も拡大し、合併前には縁がなかった地域からも注文が入るきっかけとなった。 ・合併までは地域振興は役場がやってくれるものと思っていたが、地域を見直すきっかけになり行政に頼らなくなった。 ・合併前は異なる自治体であり校区外からの通学は困難であったが、同一自治体内になったことにより校区内となり、幅広く友達ができるとともに、少人数ではできなかった部活動が行えるようになった。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・本庁が遠くなり、不便になった。旧自治体内のことは旧自治体内で完結したい。 ・人事異動で他地域の人が支所で勤務すると、やり取りがしづらい。 ・入札での競争相手が増え、受注が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合併により自治体内の事業所数が増加し、各事業所がどのような仕事をしているのか詳細を把握しにくくなったと感じる。 ・事業所数は、中心部と周辺部で6対4ぐらいの比率であると思うが、青年部については、周辺部の会員が少なく、もう少し増えてほしいというのが本音。事業所数もあるし、息子が継業を継承するためにUターンしているようなところがあると聞いており、潜在的な対象者は存在しているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会の支所も無くなってしまい、経営相談等の業務のために本所まで出向く必要があり不便さがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年部と市町が直接関係することはないが、商工会への補助金が減り、青年部への助成も減っている。
	(3) 市町課題に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の人を支所に配置してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員を増やすため、合併自治体の経済を盛り上げるため、商業だけでなく、農業なども含めた交流の場(機会)があればいいと思う。既存の行事とかではなく、新たに地元の人のような方たちが集まる場を設けることができれば、何か新しいアイデア等が生まれるのではないかと感じる。 		
2 今後市町に望むこと	1位	5	8	11	7
	具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> ・立地条件は整っているため、企業誘致をしてほしい。 ・高齢化が進んでいるので、若者が集まるような施策を実施してほしい。 ・新自治体に住むわかりやすいメリットを作してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私立、公立保育園・幼稚園を充実させてほしい。 ・総合病院等の医療機関は、非常に充実していると思うが、小児科については予約が取りづらく、充実が望まれる。 ・千葉県流山市(母になるなら流山市)のように、各種子育て施策を充実させていただき、子育てするならここだと言われるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の移住に力を入れてほしい。 ・地域自体のイメージを変えるような施策を実施し、人口を増やしてほしい。 ・現在、移住促進のための宅地販売を行っているが、トンネルが開通したといっても、遠いイメージが強いためか、思うように売れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興を図るため、作り手主導の価格形成ができるよう、様々な分野で、商売の仕方や物の売り方について指導を行う。
	2位	10	10	7	5
具体的提言		<ul style="list-style-type: none"> 中心部以外の魅力を発掘するために、他所で開催されていたようなロゲニング大会(史跡巡り、オリエンテーリングに似た野外スポーツ)を実施し、住民だけでなく他所の人にも魅力を知ってもらい、子どもたちの郷土愛も育みたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域を盛り上げるため、自治体職員がもっとイベントや現場に出る。 ・もっと役場の職員との交流を増やす。 	
3位	11	11		11	
具体的提言		<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を多くの方に知ってもらうため、電車やバス等の車内で観光の名所・人・歴史等の情報を流してほしい。 また、マイクロバスでもいいので、ほとんどのバスのような観光バスを作り、地元の子どもや老人等にも乗ってもらい地域をPRするのはどうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進のため、保育時間等の子育て環境を改善する。隣接市町の方が子育て環境が優れているため、子育て世代が流出していると聞く。 	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> ・合併の影響と聞いてもピンとこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の検証は大変有意義で面白い取組みだと思う。集計後でもいいので、寄せられた意見等を教えてほしい。 ・医療機関は充実しているので、子育て施策を充実させ、子育てするならここ、と言われる地域になってほしい。 ・人口流出を食い止める施策を望む。人口が増えれば、事業者も潤うこととなり、地域の経済も活性化される。 ・商工会の職員は、以前より人事交流が盛んになった。 ・人事交流は、職員を通じて他の自治体の状況を知ることができる等、良いきっかけになると思っている。 ・自治体内の昔からの流れを知っている人がいなくなるのは非常に困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光ファイバー整備を進めてほしい。将来的な企業誘致には必要不可欠でないか。(県内市町で唯一未整備) 		

団体	青年団体-6	青年団体-7	青年団体-8	青年団体-9	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・活動範囲が広がることにより、他地域との交流が増えた。	・市町村合併により、他の地区との交流が深まった側面がある。(商工会としては、旧自治体単位であった商工会ごとで、それまで分かれてイベントを実施していたが、市町村合併により帰属意識が生まれ、相互交流が盛んになった。) ・消防については、それまでの分署であったのが、合併新自治体とその周辺地域をカバーする消防署となった。	・自治体規模が広がったので、周辺部からも青年部に参加する人が増えた。 ・共通の名物などでの地域おこしに一体的な取組みができる。	・農協の地物野菜の部会長もしている。合併後に自治体内の小中学校35校の給食に、部会で扱う野菜を出してもらえた。子どもに地元の特産品を認識してもらえ、食べてもらえることはありがたい。 ・出荷時期には、高校生のアルバイトを雇用している。最近では、合併以前は違う自治体だった地域の高校からもアルバイトに来てくれる。また、教育委員会にお願いして、中学生の職場体験も受け入れ、お手伝いをしてもらっている。非常に感謝している。
	(2) 合併の課題	・支所に職員が少なくなり、相談がしにくくなった。 ・合併前は職員がイベント等に協力してくれていたが、支所となり職員が少なくなり、協力が得られにくくなった。 ・旧市町村の頃はあった定期バスがなくなり、デマンドバスとなったが、使いにくく、不便となった。 ・支所職員の減少、学校の統廃合による教職員の減少により、売上が減った。	・商工会としては、合併前は郡の括りの会合等で集まる機会があったが、合併により違う自治体に統合された旧町村とは交流が薄れた。 ・警察については、新自治体の警察署が隣の自治体警察署に統合され、交番となったことに伴い、各種許可を隣の自治体まで取りに行かなければならず、不便になった。 ・役場については、本庁勤務となった場合、どれだけその地域を把握できているのか疑問。例えば、災害発生時の誘導については、適切に対応できるかという問題がある。	・周辺部には、商工会が残っているもので、一体感がない。 ・周辺部会員は、商工会と商工会議所に入るとそれぞれ会費負担があり、金銭的に厳しい。 ・中心部で懇親会があることが多く、周辺部のメンバーは参加しない場合が多い。 ・地域の祭りは、旧市町村主体で開催するため、もともと違う自治体だった住民は参加し難い。	
	(3) 市町に望むこと	・定期バスを運行してほしい。		・中心部では、合併しても余り変わったと感じないが、周辺部では行政との関わり方を含め良く分らないので、フォローしてほしい。	
2 今後市町に望むこと	1位	10	7	10	7
	具体的な提言	・デマンドバスでなく、定期バスを運行する。	・特産品の売り方が下手だと感じる。販路・広報等をしっかり考えてほしい。	・中心部の観光施設には人が集まっているので、その人を周辺部にどう呼び込むのか取組んでほしい。 ・中心部にばかり施設ができていとの不満がある。 ・歩道が狭いところが多い。	・自治体には販売促進で大変お世話になっている。さらなるアピールとして、ゆるきゃらを使ったPRや合併10周年記念イベントを大々的に行うなど、積極的な情報発信を期待する。
	2位	11	9	6	9
	具体的な提言	・福祉施設を整備し、働く場を作り、外部から人を集め、地域を活性化させる。また、施設の食事等に地元産品を使い、地産地消を進める。 ・空き家を活用した移住対策を進める。	・移住者を呼び込むためにも、働く場所が必要。農産業加工等で雇用を創出できないか。	・既に取り組んで頂いているが、更に、一体感を生み出す取組みをしてほしい。	・農家、農業の担い手不足は深刻である。特産品を生産するための資材や施設などの初期投資は、農家にとっては大きな出費となる。現状でも補助制度はあるが、さらに拡充してほしい。
3位	9	8	9	12	
具体的な提言	・若者の流出を防ぐため、雇用の場を創出する。		・働く場所が少ない。 ・学校跡地などを企業誘致などにも有効活用してほしい。		
3 自由意見	・合併して良かった部分は見えにくい。 ・合併していなかったら、もっと悪くなっていたかもしれない。	・大きな自治体と合併していたら、もっと寂れていたと思う。小さい合併で済んで良かった。	・まちおこしの核を探した際に、農作物や海産物では、一体として取り組めないで、住民が昔から馴染みのある食事をメインにすることとなった経緯がある。	・近隣の河川の河床に土砂が堆積し、オーバーフローしやすくなっている。河床掘削を行ってほしい。(自治体の河川担当課に確認。改めて回答をもらう予定。) ・農地に関する小作料について、地区によって異なるのか。ある程度統一、均一化したほうがよいのではないかと。(農業委員会に要望として伝達する予定。)	

団体	青年団体-10	青年団体-11	青年団体-12	青年団体-13	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> 合併に伴い会員数が増加するとともに、活動範囲が広がった。ただし、周辺部にある商工会青年部との一体感はまだない。 活動に対する行政の後援手続きが一本になった。 会員個々としては参加できる入札の範囲が広がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村合併により、商工会議所も遅れて合併した。合併後は会員が増え、予算も増加したので事業がやりやすくなった。 もともと違う商工会議所だった人とも交流が持てるようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 青年会議所は、市町村合併に先駆けて合併していた。青年会議所の現在のメンバーは、市町村合併後に会員となった者が多く、旧市町村単位の意識が薄くなり、全体で行事を行う際にスムーズな活動ができるようになってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 合併により新自治体の単位で特産物の売り出しを行なえるようになったことで、商工会議所として売り出せる品数が増え、競争力が高まった。 合併を契機に周辺部の商工会と、人員の相互派遣をはじめとした協力関係が築けた。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> 合併後、周辺部の飲食店では売り上げが落ちたと聞く。新築住宅も、中心部などが多く、周辺部でも旧自治体の中心部ではなく、インター付近に新築住宅が多い。周辺部の旧自治体の中心部がさびれているような気がする。 各地域で同じようなイベントが多い。もう少し集約してもよいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 花火大会やイベントなど、旧市町村単位でバラバラに実施している。それぞれが盛大に開催できているのであればよいが、一つにまとめたほうがよいと思うイベントが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> イベント等が中心部に集中する一方、周辺部の活動は縮小しており、格差が広がっている。 	
	(3) 市町に望むこと	<ul style="list-style-type: none"> イベントなどでいろいろと協力してもらっている。良い関係にあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体といっしょに活動することが多く、何か要望があればその都度伝えていく。できれば、事業活動の予算(補助)を多くしてもらえればありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺部の活動が維持できるよう、支援を行なってほしい。(中心部と周辺部の格差是正) 	
2 今後市町に望むこと	1位	7	10	5	
	具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> 温泉地を活性化させたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺部がさびれていると感じる。高齢化が進むと心配である。若い世代が定着するような雇用対策などに配慮してほしい。周辺部の商工会が残っており、商工会議所としては地域活性化の取り組みをしにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民を巻き込んだイベントを一緒に企画したい。現在も各種イベントを開催しているが、最近マンネリ化している。企画段階から住民を巻き込んで、協働した街づくりに取り組みたい。 	
	2位	9	3	7	
	具体的提言	<ul style="list-style-type: none"> 若者がいないので、若者が増えるように雇用の場を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道の料金が、地域によって大きく違う。不平等を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元の産業を盛り上げてほしい。地域を代表するような、全国的な知名度のある特産品を生み出すような取り組みができないかと思っている。 	
3位		7	8	9	
具体的提言		<ul style="list-style-type: none"> 産業で強みのある製品があるが、それだけしかないイメージ。ほかの観光資源の掘り起こしができないか。もう少し地域が元気になるような取り組みをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援策を充実してほしい。青年会議所としても若い世代が定着するようなまちづくりをしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致 	
3 自由意見	<ul style="list-style-type: none"> 中心部の街中が元気がない。不景気であった10年前の方が元気があった。 人材不足の中で、高校新卒者が2~3年で退職する者が多く、長続きしないため、困っている。 周辺部では現在別の自治体となってしまった部分も合わせて同じ郡部で合併した方が良かったのではないかとの声あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化が進んでおり、地元の小学校も、学年に1クラスの学校が多い。子ども間の競争意識を植え付けることや、学校行事、クラブ活動が円滑に行えるためには2クラス程度が理想と考える。小学校の統廃合を検討できないか。 青年部は事業者の集まり。会(部)員からは、将来の不安をよく聞く。若い人が地元に残るような魅力ある地域づくりをしてほしい。新産業創出や地域活性化をしてほしい。 企業としては将来的な人材確保が懸案事項。人材育成をしながら仕事ができる仕組み(研修に対する補助制度など)を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治体と協力して地域産業の振興や子育てしやすいまちづくりなど、地域の発展に寄与できるような事業に取り組みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民が今後の地方自治体の在り方を考えるうえで、行政側から合併の意義付けを行い、住民へ発信することが必要であると感じている。今回の合併検証は有意義な取組みだと思う。 	

団体	青年団体-14	青年団体-15	青年団体-16	青年団体-17	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果		・特になし(青年部の活動は行政との関わりがなく、合併による効果や課題は感じづらいとのこと。)		
	(2) 合併の課題	・周辺部の人口流出が顕著であり、将来的には消防団活動の維持が難しくなる等の問題が起こるのではないかと。 ・中心部に集中しているため、働く場所等が減少している。それに伴い、就労人口が減少している。(高齢化の影響もある。) ・行政手続き等合併して、よくわからないことが増えた。		・合併前まであった祭り等の補助金が減り、地域の活気がなくなった。	
	(3) 市町課に望むこと	・新自治体として全体で取り組むような施策を行なってほしい。 ・周辺部の定住者確保のため、周辺部の事業者に対する支援を行なってほしい。			
2 今後市町に望むこと	1位	10	10	11	6
	具体的な提言		・中心部で多くの物事が進む一方、周辺部は不便になった。周辺部の整備及び活性化を望む	・第1次産業従事者の1ターン・Uターンを促進するため、住居の提供や研修実施の体制を充実させ、PRしてほしい。 ・廃校を活用し、宿泊施設等にできないか。	
	2位	9	9		
	具体的な提言		・人が集まる施設等を作るべきである。		
3 自由意見	3位	7	8		
	具体的な提言		・子育て支援等については、他自治体の成功例をまねるべきである。	・自治体主導で、観光商業施設の更なる有効活用を検討してほしい。 ・使われなくなった自治体の施設を取り壊すのではなく、有効活用できないか。	

団体	青年団体-18	青年団体-19	青年団体-20	青年団体-21	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併先の異なる文化に触れることができた。	・効果は特になし(支部単位で動くことが大半であり、全体で動くことがほとんどないため)	・はっきりと実感はない(合併まえに掲げていたメリットが全く実感できないため。) ・自治体規模が大きくなり、いろいろな可能性は広がった。	・新団体として行っている講演会やスポーツ大会等の事業を通じて、他地域の商工会と交流の機会が生まれた。 ・合併前から旧団体がそれぞれ行っていた行事を新団体の事業として実施しており、人員や機材を融通しあえるようになった。全体の動きとして商工会の会員が減っていく中、お互いが支援しあうことによって、旧団体の活動を維持できていると感じる。
	(2) 合併の課題	・支所に地域の状況をわかっていない職員が配属されることがあり、対応に時間がかかったり、本所まで行かないといけないことが増えた。	・役場が支所になり職員が落としていたお金が無くなった。 ・周辺部の旧自治体の役所周辺に活気がなくなった。	・行政(自治体)と農協(青年部)で、組織の管轄地域が異なるため、色々なところで問題が出てきている。 ・何をすることも旧自治体単位で動くことが多く、新自治体としてまとまって活動することがほとんどない。	・効果と表裏一体であるが、商工会の活動が拡大したことにより、各会員の負担が増えた。 ・ある地域の商工会では、ほぼ自己財源(主に寄付)で活動を行っていたことから、合併後は新団体としてその例に合わせたため、自治体全体で補助金が減額となった。しかし、他の地域には寄付の文化がないため、自己財源の確保が難しく、今後、現在の補助金の額では活動を維持できなくなる可能性がある。
	(3) 市町課に題を対して	・若い人が働ける環境を作ってもらいたい。(人の流失が止まらず人材の確保が難しい) ・地域格差はそんなに感じないが、どちらかというと中心部が元気がない。まずは中心部を盛り上げてもらいたい。(地域の差はあるがそれは合併によって生じたものではなく、もともとある差である)	・卒業する部員数に対して、入部する人数が少ないため、いままでできたことができなくなってきている。できることからでいいので、行政にも手伝いをしてもらいたい。	・合併したことにより、予算規模が拡大し、補助事業等が拡大されたが、ほとんどの事業に継続性がなく、使いづらい。旧自治体毎に地域性や主力作物が異なるため、平等に対応することは難しいが、もう少し使いやす制度にしてほしい。 ・未だに旧自治体の壁があるため、その壁を壊し、引き合わせる役目をしてもらいたい。そのために、まずは話し合いができる場を作ってもらいたい。(他業種や若い人が意見交換できる場) ・若い人が行政に対して発言しやすくしてほしい。(議員等に頼らなくていい)	・今後、現在の活動が維持できなかった場合は、自治体からの財政的な支援をお願いしたい。
2 今後市町に望むこと	1位	9	10	8	8
	具体的な提言	・まずは地域で働いてもらえる環境を確保すること必要。		・合併時に掲げたメリットを実感できるようにしてほしい。	・(産業振興について)商工業に関する相談窓口がどこにあるのか明確にしてほしい。補助金の手続き等は商工業者単独で行うことは難しいので、その窓口を通じて支援してほしい。
	2位	8	2	6	5
	具体的な提言	・次世代を担う若者への手厚い支援(中学まで医療費無料等)		・対話があまりできていない今の状況で新自治体として1つになるのではなく、時間をかけてもしっかりと話し合っただけで自治体として一体感を出していくべき。	・行政によるイベントの支援 ・自治体事業に住民の声を反映しやすくする仕組み
3位	2	6	9	9	
具体的な提言	・本庁でしかできないことが増えて不便になったため			・Uターン・Iターンに対する支援 ・新規事業者の初期投資に対する補助(起業支援)	
3 自由意見				・農業団体と商工団体の交流が少ないので、自治体が交流の機会を作ってほしい。	

団体	高齢者団体-1	高齢者団体-2	社会福祉団体-1	社会福祉団体-2	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・合併前は、旧市町村ごとに団体が存在していたが、合併を機に一緒となった。 ・合併する前から、異なる市町村の団体で総会・運動会・野球大会等、一緒に行事をすることも多く、合併について、特に違和感はなかった。 ・合併当初から、旧自治体単位による分け方をしないという考え方の基で運営してきた。役員もそれぞれから出すということはなかった。 ・合併できてよかったと皆感している。旧市町村時代は、会員間の交流があまりなかったが、現在はスポーツ分野等をはじめとして各種分野での交流が進んでいる。	・合併後、団体として共同で実施している事業があり、交流の機会が増えた。	・合併によって、旧市町村間での人の交流が盛んになった。 ・市町村合併を受けて団体も合併した。その結果、団体の規模が大きくなり、財政状況がよくなった。また、全域で統一的なサービスが提供できるようになった。さらに、介護士などの職員間で情報交換ができ、効率的な運営も可能となった。	・周辺部にしかなかった補助事業が中心部でもできるようになった。 ・合併したことにより全域でできるようになったサービスがある。
	(2) 合併の課題	・旧市町村ごとで、補助金に対する考え方が違った。一方は年間で一定額の補助金(10万円/年)をもらっており、一方は何か事業等をする際に、その都度自治体に言えばもらえるという考え方であり、これを統一する作業が大変であった。	・自治体及び団体の合併後も、一体感がない。 ・ある地域では、団体で旅行事業を実施し、旧自治体の職員が準備や随行をしてくれていたが、合併後に廃止となった。	・合併とは直接関係ないかもしれないが、フェリーがどんどん減便されている。高齢者は病院への通院もままならない。 ・地域の対抗意識が抜けない。合併前の旧市町村という意識が変わるまで時間がかかると思う。 ・現在、中心部となっている場所より、都市部との地理的状況を見ると、周辺部の地域に救急施設などを整備したほうが便利ではないかと思う。(社会福祉協議会は、本所を周辺部にした。)	・若い人が中心部に集中し、周辺部にいなくなっている。 ・合併により面積が大きくなり、また、周辺部の人が少なくなり、団体の業務の効率が悪くなった。 ・支所職員が減り、対応しきれなくなった相談が、団体に来ている。
	(3) 市町課題に望むこと		・新自治体においても旅行事業に職員の協力が欲しい。	・合併したから全部同じにしなくてもよいのではないか。旧市町村の制度を他の地域で実施していないからといって、制度を廃止してしまうことはない。地域の特性も考慮してほしい。(有線による各戸放送など) ・住民にとって、そこを通る以外に外へ出る方法のない交通路については住民割引を適用してほしい。 ・議会議員の選挙で、旧市町村単位での選挙区はやめるべきである。	・新市町の面積が広く、遠方に業務に行くこととなるので、補助してほしい。 ・法人は自立すべきで、補助金をあてにすべきでないのは分かっているが、サービス維持のため協力してほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	8	6	7	5
	具体的な提言	・これといった目玉となる特産物がない。これを見つけて、PRしていただきたい。 ・農業者が年々減少しているが、潜在的に農業をやりたいという人間は沢山いるような気がする。		・基幹産業である農業、漁業の振興に尽力してほしい。販路を確立できれば産業として成り立つ。直販所の様な、農協等に気兼ねせず、気軽に利用できる施設が欲しい。農業、漁業で生計が立てば、雇用も生まれ、若い世代も定着できる。高齢者も生き生きと生活できると思う。	・行政だけに任せるのではなく、地域のことは地域の人で協力して行う、新市町ならではの見守り制度を作る。
	2位	9	9	9	7
具体的な提言	・都会に出たまま帰ってこない若者が多い。特に女性にその傾向があるように感じている。Uターンのための施策を何か打つべきではないか。	・企業誘致	・基幹産業である農業、漁業の振興に尽力してほしい。販路を確立できれば産業として成り立つ。直販所の様な、JA等に気兼ねせず、気軽に利用できる施設が欲しい。農業、漁業で生計が立てば、雇用も生まれ、若い世代も定着できる。高齢者も生き生きと生活できると思う。	・森林財産を有効活用してほしい。	
3位	11	10	12	9	
具体的な提言	・国民年金だけでも入所できる老人ホームを建設してほしい。 ・医療施設の建て替えも予定されているようなので、敷地内に建設することができれば良い。			・他市町に働きに出ている人が地元で働けるよう、雇用の場を作ってほしい。	
3 自由意見	・山間部等への交通手段の確保が必要。(デマンドタクシーの活用等) ・今後も行政と協力しながら活動をやっていきたいと考えているので、引き続き支援をお願いしたい。	・老人クラブの活動支援等、行政の取組みには概ね満足している。 ・分庁の機能にも満足しており、不便はない。	・合併とは直接関係ないかもしれないが、役場に臨時職員が目立つ。経費節減や雇用確保のためやむを得ないかもしれないが、住民サービスの低下につながらないか心配である。	・メリットよりもデメリットの方が大きいと感じる。 ・今後、中心部にある本所を周辺部に移し、現在の本所に支所を置く。 ・合併はせざるを得なかったと思う。合併していなかったらもっと大きな問題が起こっていたかもしれない。旧市町村を維持できていたかわからない。 ・住民が合併のメリット、デメリットをわかっている。 ・行政が背負いきれない部分を外部に委託しようとしている。行政と委託先の役割分担をしっかりとしてほしい。 ・住民が様々な担当課とやりとりしなければならなくなっている。横断的な連携ができれば、もっとよくなると思う。	

団体	まちづくり団体-1	まちづくり団体-2	コミュニティ団体-1	コミュニティ団体-2	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	・旧市町村では予算の制約でできなかった工事ができるようになった。 ・建設計画で約束したことが、予想以上に着実にできている。 ・学校、診療所、病院、救急艇、水道等が整備された。 ・合併したことにより、大規模なイベントを実施することができた。	・下水道や砂防工事などのインフラ整備が進んだ。以前は地元負担を求められることが多かったが、今は求められるない。 ・人口が減少した。 ・林道整備が進んでおらず、この10年間でわずかしかできていない。林道がないところは効率よく木材の搬出ができないので、利益が上がらない。大手企業の下請けに3組ほど入っているが、効率が良くないため、利益があまり出ないようである。	・旧市町村がそれぞれ持っていた施設が使えるようになった。 ・例えば歴史上の人物など、アピールできる材料が増えた。	
	(2) 合併の課題	・旧市町村の頃よりも時間がかかる。(本所に伺わないといけない) ・若い人が本所に異動し、地域の活気がなくなった。 ・人の交流が生まれたが、近所に知らない人が増え、コミュニケーション、地域活動(地区の運動会等)が少なくなった。 ・旧市町村内に、合併前に急いで整備したごみ焼却施設があるが、今は使われていない。	・農協や自治体の本所がなくなり、入札や夜の飲み会など、周辺部での会合がなくなるなど経済的な課題が多い。 ・合併により事業所税が課税されるようになり、企業の負担が相当増えた。 ・合併前は商工会や観光協会、JA、PTA、社協等の団体がイベントを実施していたが、多くが中心部に移転し、イベント実施団体が減少した。 ・合併だけが原因ではないが、地域の商工会員がかなり減少した。 ・時代の変化もあるが、税務徴収等の事務を請け負い、還付金を受けるといった自治体との関係の持ち方がなくなった。	・新自治体としての一体感がなく、未だに旧市町村時代の感覚が残っており、中心部・周辺部で足並みが揃わない場面が多い。	
	(3) 市町課に題にむくこと	・若い世代を地域に残す方法を検討してほしい。	・合併前にお祭りやイベントの実施団体であった観光協会が廃止され、イベントがバラバラになっている。観光協会の受け皿となる団体の創設を要望している。 ・旧自治体内でも地区ごとの「お祭り」に特徴がある。いつ、どこで、どのようなお祭りをやっているかわかりやすいマップのようなものを作ればよい。	・行政事業で建てた住宅を増やし、無料で貸し出してほしい。 ・学校の存続は地域の活力に関わる。中心部へ通学する者がいるのだから、逆に自然豊かな周辺部へ通学する者もいるのではないかと。希望者を募ってほしい。 ・農林業の振興、特に林道整備に力を入れてほしい。当地域の山林の6割を所有する大手企業と連携するなど、効率よく整備すればいい。隣の自治体ではかなり林道整備が進んでいる。 ・地域おこし協力隊が現在1名いるが、もう1名はほしい。また、任期後に定住してもらおうための方策が必要である。	・イベント等、自治体全体で取り組むような動きを支援し、新自治体としての一体感の醸成を図ってほしい。
2 今後市町に望むこと	1位	9	9	11	※当団体は「5 住民と行政が共に協力・連携したまちづくり」を推進する団体であり、提言を行う立場にないとのこと。
	具体的な提言	・定住促進や新規就農者の助成金は、後継者にとって不利となるので、新規の者だけでなく、やる気のある人へ助成してほしい。	・若い人の働き場所を作ってほしい。店舗経営は老人ばかりで、子どもは都市部に家を建て、地域に帰ってこない。空き家だらけになっている。	・若者の移住対策に力を入れてほしい。活性化住宅の増築等に取り組んでもらいたい。 ・廃屋をはじめとする空き家対策にも力を入れてほしい。倒壊し、道路をふさぐ可能性がある。	
	2位	5	7	9	
3 自由意見	具体的な提言	・合併後は人と人の付き合いができたので、今後も今までと同じように連携・協力してほしい。	・特に観光に力を入れてほしい。地域資源はたくさんあるため、発掘して磨く必要がある。	・働く場の確保が必要。第三セクターでは10名程度の雇用を生んでいるが、もっと雇用できるよう対策を講じてほしい。	
	具体的な提言	・農林水産物のブランド化だけでなく、啓蒙を行う。	・合併以前は駅西側が中心となっていたが、現在は公共施設も分散し、中心地と呼べる地域がない。駅から近くの観光地の中に、土産物屋すらない。周辺部の中でも中核となる地域が発展しないと魅力が生まれない。 ・どのようなまちにするか見えてこず、模索中。退職した住人も多いため、そういった人が充実した生活を送れるような「静かな取り組み」も必要ではないか。 ・観光協会の存続については、合併協議会でしっかり明記しておくべきであった。観光協会がなくなり、イベント実施団体がなくなったことにより、地域がバラバラになってしまっている。	・観光振興を図るため、大型バスが通行できるよう全線2車線化してほしい。 ・現在も行っている花でのまちづくり活動を続けて、もっと沿道全てに花を植えることができるよう取り組んでほしい。(沿道の草刈りは、自治会へ助成金をもらっているため、年中地元で管理している。) ・民間とも連携して、産業遺産を活用してもっと交流人口を増やしてほしい。	

団体	その他-1	その他-2	
1 合併の影響について	(1) 合併の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・合併前は、旧市町村ごとの団体が存在していたが、合併と同じタイミングで、自治体の主導により合併した。 ・合併により、会員が増加したことで活動の場が広がったと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体が合併しても協会の体質はあまり変わっていない。 ・従来から、自治体の職員にほとんどの事務等は行っていたので、自治体の補助金等で運営されている。 ・合併したことによりスポーツ人口が増えたことが良い点である。 ・地域のスポーツチームに入る人も減ってきており、単独であれば、存続自体が難しかった競技もあるのではないかと。例えば、ソフトボールであれば、現在も合併前と同じようにリーグ運営ができています。
	(2) 合併の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会員が増え、会全体の運営が難しくなった。元々、俳句・伝統芸能等々、多種多様な趣味団体の上部機関であるため、意識統一が非常に困難である。 ・団体の会長、副会長を旧自治体ごとに均等に出したり、文化祭についても、旧自治体ごとに別々の日程でやったり、本来の意味で合併できておらず、まだまだ時間を要すると思う。 ・会員が毎年100人のペースで減少している。原因は、高齢化や新規会員が増えないことにある。特に若い層との融合がうまくいっていないと感じる。 ・会長から、違う地域出身だと気質が合わないという旨の発言もあった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の支援についても、財政面の支援が減ってきている。ただ、自治体の財政状況を考えればやむを得ないことであるとは思っている。
	(3) 市町課に課題を対峙して	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は、それぞれの地域の公民館を現在も利用することが多く、合併の際、統一的なホールを建設する等の施策を打たないまま、合併したことが、現在の状況を生んでいる一因となっているのではないかと。 ・スポーツ面では、総合運動公園を整備したことにより、住民運動会を合同開催する等、比較的うまくいっている印象がある。 ・文化面もこのような統一的な施策が、必要だったのではないかと。 	
2 今後市町に望むこと	1位	12	1
	具体的な提言	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、自治体に望むことは特にない。案があったとしても実現できるかどうか不透明。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所を廃止してほしい。支所・本庁の距離も近く、今の支所の規模であれば存続させる必要はないと思う。
	2位		10
	具体的な提言		<ul style="list-style-type: none"> ・中心部については、ある程度の方針を示しておけば、行政の手厚い支援は必要なのではないかと。 ・それよりは、地域の端々に目を光らせ、光を当てるのが行政の役目である。
3位		7	
具体的な提言		<ul style="list-style-type: none"> ・チャンスはどの地域にも等しく平等にある。要はそれに気づくことができる人がいるかどうか。 ・特色のある、核となる産業があれば良いと思う。 	
3 自由意見			<ul style="list-style-type: none"> ・協会として国体運営に懸念を感じている。 ・地域の住民にも、行政職員にも国体運営を経験している人がいないので、ノウハウがない。

市町村合併に関する各種団体聞き取り調査実施要領

1 調査目的

本県における平成の合併についての検証の基礎資料とするため、合併後の各種団体の意識や今後のまちづくりに向けたニーズを調査する。

2 調査項目

- (1) 団体の属性
- (2) 合併が与えた影響
 - ①合併が与えた効果
 - ②合併により生じた課題
 - ③課題に対して市町に望むこと
- (3) 今後市町に望むこと
- (4) 合併に対する自由意見

3 調査対象

商工会議所（商工会）、農協等、市町において意見を聴取する必要があると判断した団体（1市町5団体以上）

4 調査方法

団体の活動における合併の影響について、原則、県及び市町職員が現地を訪問し、当該団体の長等に対して聞き取り調査を行う。

5 調査スケジュール

- | | |
|----------------------|-------------|
| ①調査様式の作成（県） | 5月下旬 |
| ②現地調査の日程調整（市町において調整） | 6月から |
| ③聞き取り調査（県・市町が共同して実施） | 7月上旬から10月まで |
| ④調査結果の取りまとめ・分析 | 随時（10月まで） |

市町村合併に関する各種団体聞き取り調査

～合併の効果と課題～

平成26年7月
県・市町連携推進本部 市町村合併検証部会

◆調査の目的

人口減少や少子高齢化など社会経済情勢が変化していく中、地方分権の担い手となる基礎自治体にふさわしい行財政基盤の確立を目的として、全国で平成の合併が行われ、愛媛県では、平成15年の新居浜市と別子山村の合併を皮切りに、70あった市町村が20市町になりました。

今年度、その多くの合併市町において節目とされる10年目を迎えることを機に、県と市町が連携して合併の効果と課題について検証を行うこととしました。

そこで、このアンケートは、各種団体の皆様から合併に関するご意見をお聞きし、市町の今後のまちづくりに生かすことを目的として実施するものでありますので、率直に回答いただきますようよろしくお願い申し上げます。

市町名

団体の名称等

◆ 団体の名称

◆ 所在地

1 役所(役場)の本所がある旧市町 2 1以外の旧市町村

問1 貴団体に市町村合併が与えた影響について

(1) 合併が与えた効果はありますか。

(2) 逆に、合併により生じた課題はありますか。

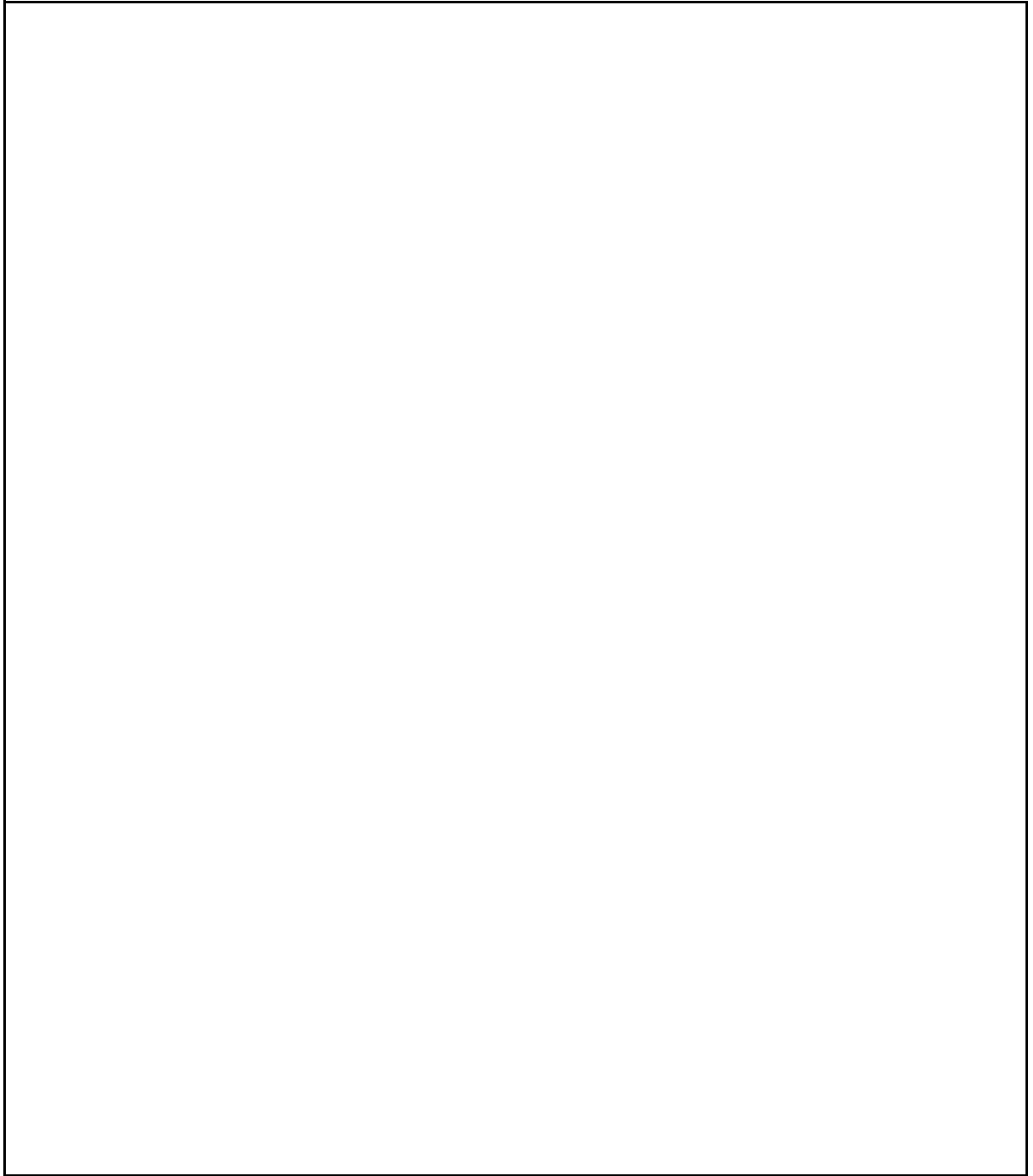
(3) 課題に対して市町にどのようなことを望みますか。

問2 今後市町に望むことは何ですか。上位3つまで選んで、その番号を記入するとともに、それぞれについて具体的な提言がありましたら記入してください。なお、「特にない」場合には、12に○を付けてください。

- 1 職員数の削減や施設の統廃合などによる一層の行政・財政の効率化
- 2 支所などの機能の拡充
- 3 上下水道料金の公共料金や公共施設等の使用料などを統一するなど住民の負担の適正化
- 4 合併前の旧市町村ごとに異なる住民サービス(基準)の調整
- 5 住民と行政が共に協力・連携したまちづくり
- 6 合併市町としての一体感を生み出すための取組み
- 7 地域の特色、資源を活かした産業の振興
- 8 合併市町が掲げている重点目標(産業振興・子育て支援など)への取組み
- 9 地域経済の活性化による働く場の確保、雇用の創出
- 10 中心部だけでなく、合併市町全体でバランス良く発展するための取組み
- 11 その他
- 12 特にない

	番号	具体的な提言
1位		
2位		
3位		

問3 市町村合併や合併の検証に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。



※ ご協力ありがとうございました。